

平成 15 年度

三重県埋蔵文化財年報

2004・12

三重県埋蔵文化財センター

はじめに

三重県埋蔵文化財センターは、美術館・博物館・図書館など県内の文化関係施設の中では、唯一専用の公開施設を持たず、もっぱら各種開発事業に伴う発掘調査や出土品の整理・保管を担う、県教育委員会の地域機関として事業の円滑に資することが最大の使命として求められてきました。しかしながら、本来県立埋蔵文化財センターの最大の役割である埋蔵文化財の保護・調査研究・公開と学校教育や生涯学習などでの活用は、職員が常々業務の中でも意識しているところであり、これまで行ってきた様々な活動の多くは職員一同の日常業務と併せた努力と工夫に負うところが大きいことは否めません。

近年、多くの人々からは地域の様々な文化財に関する親しみや知識を通じて、郷土への愛着心や誇りと地域の振興につながるものとして理解されつつあります。そのような多くの方々のご理解が当埋蔵文化財センターの様々な活動にとって一層の後押しになることは言うまでもなく、さらに多くの方々に理解を深めていただけるよう努めなければならないと感じております。

ここに年報として刊行させていただくにあたり、三重県埋蔵文化財センターが実施した発掘調査のほか、県内各市町村教育委員会の協力を得て各教委で実施された発掘調査についても含めさせていただきました。その他、平成15年度に実施した当埋蔵文化財センターの行政活動として普及・公開事業、研究・研修事業や資料の保存・管理・活用といった諸事業の概要です。

今後の三重県における埋蔵文化財の保護行政と研究・活用がさらに充実してゆくために、過年度の埋蔵文化財年報と同様に基礎資料となるよう願っております。

平成16年12月

三重県埋蔵文化財センター
所長 吉水 康夫

例 言

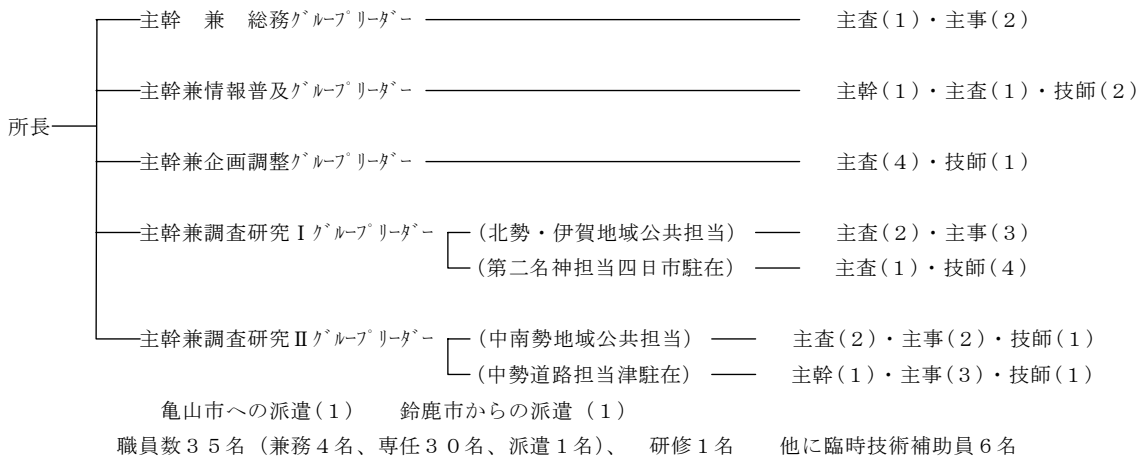
- 1 この冊子は、平成15年度における三重県内の発掘調査の概要と三重県埋蔵文化財センターの事業概要をまとめたものである。
- 2 「IV 平成15年度の発掘調査」では、平成15年度の三重県下における発掘調査の概要として、三重県埋蔵文化財センター・斎宮歴史博物館担当の発掘調査成果および、県内市町村担当の発掘調査成果もあわせて収録した。
なお、各遺跡の発掘調査の概要については、それぞれの発掘調査担当者の協力を得た。
- 3 本冊子の編集は、関係機関及び各位の協力を得て、情報普及グループが行った。

目 次

I 組織及び業務体系	1
II 資料の整理・保管・活用	3
1 発掘資料の整理・保管（出土量・保管数）	3
2 科学的保存処理	3
3 発掘資料活用事業	4
(1) 展覧会事業（常設展示・企画展ほか）	4
庁舎ロビー常設展・第2回夏休みこども展・第23回埋蔵文化財展ほか	4
(2) 総合学習支援事業	5
出前講座・バックヤードツアー・体験発掘など	5
(3) 生涯学習支援事業	7
現地説明会・歴史教室など	7
発掘資料閲覧申請応諾実績	7
発掘資料貸出、写真撮影及び掲載申請応諾実績	8
物品及び考古資料の長期貸出・展示件数等	10
出版物の刊行、ホームページの開設	10
III 埋蔵文化財保護体制の充実	12
1 各種会議・研修会（三重県埋蔵文化財専門担当者会議・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会・文化財行政講座・その他研修会）	12
2 埋蔵文化財技術者養成（職員研修・教員研修・市町村職員研修）	13
3 埋蔵文化財保護等に関する支援・協力（埋蔵文化財行政基礎講座・市町村支援・協力）	15
付：平成15年度文化財保護指導委員（文化財パトロール員）名簿	18
平成16年度埋蔵文化財教職員研修実施要項・平成16年度年間計画表	19
市町村職員研修実施要項	21
IV 平成15年度発掘調査	24
1 発掘調査一覧	24
2 発掘調査の概要	28
V 行政資料	58
1 県内埋蔵文化財数	58
2 県・市町村別の発掘調査件数及び面積の実績	59

I 組織及び業務体系

〔組織〕



〔分掌事務〕

総務グループ

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 公印の管理に関する事 | 6 施設、設備の保守管理に関する事 |
| 2 職員の身分及び服務に関する事 | 7 文書の収発に関する事 |
| 3 予算及び経理に関する事 | 8 職員の健康、福利厚生に関する事 |
| 4 給与及び旅費等の支給に関する事 | 9 防災管理に関する事 |
| 5 契約及び入札事務に関する事 | 10 その他、他のグループに属さない事 |

情報普及グループ

- 1 整理済み出土品の収蔵及び保管に関する事
- 2 遺跡及び遺物の実測図・写真等の整理及び保管に関する事
- 3 関係図書等の整理及び保管に関する事
- 4 遺跡台帳・遺跡地図・遺跡地図情報(GIS)の整備及び保管に関する事
- 5 出土品の洗浄・注記・接合・復元等に関する事
- 6 埋蔵文化財展・県庁展・県民局展・夏休み展等各種展示に関する事
- 7 遺跡及び調査情報の閲覧・貸出・掲載許可等に関する事
- 8 センター通信「みえ」・『埋蔵文化財年報』等の編集刊行に関する事
- 9 各種講座等埋蔵文化財保護の普及啓発に関する事
- 10 「埋蔵文化財専門担当者会議」に関する事

企画調整グループ

- 1 埋蔵文化財保護にかかる文化財保護チームならびに関係部局との連絡調整に関する事
- 2 国土交通省、農林水産省、日本道路公団他との調整協議と事務処理に関する事
- 3 各種積算、並びに各種業務の管理に関する事
- 4 「全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会」等、センター内外の各種会議に関する事
- 5 市町村支援並びに「埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修」に関する事
- 6 埋蔵文化財行政基礎講座開催に関する事

調査研究Ⅰ・Ⅱグループ

- 1 県関係公共事業における埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 2 一般国道475号東海環状自動車道に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 3 一般国道23号中勢道路に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 4 国営宮川用水第二期土地改良事業に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 5 近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 6 近畿自動車道尾鷲勢和線(紀勢勢和)に関する埋蔵文化財の発掘調査及び保護に関する事
- 7 出土品の実測・トレースに関する事
- 8 教員研修に関する事
- 9 『研究紀要』の編集と刊行に関する事

〔職 員〕

所 長	吉水 康夫		
総務グループ	主幹 (G L) 主査	牧野 明 (齋宮歴史博物館本務) 福井夏美 (齋宮歴史博物館本務)	主事 石井善文 (齋宮歴史博物館本務) 主事 向井 桂 (齋宮歴史博物館本務)
情報普及グループ	主幹 (G L) 主幹 主査	田阪 仁 野原宏司 筒井正明	技師 大川 操 技師 原田恵理子
企画調整グループ	主幹 (G L) 主査 主査 主査	河北秀実 森川幸雄 田中久生 森山直樹	主査 竹田憲治 技師 新名 強
調査研究 I グループ	主幹 (G L) 主査 主査 主事	山田 猛 松田珠美 山口聡嗣 船越重伸	主事 水本龍治 主事 小倉 整 臨時技術補助員 豊田祥三 臨時技術補助員 酒井巳紀子
	四日市市駐在 (四日市整理所)		
	主査	服部芳人 (第二名神担当)	技師 金子智子 (第二名神担当)
	技師	穂積裕昌 (第二名神担当)	技師 角正淳子 (第二名神担当)
	技師	萩原義彦 (第二名神担当)	
調査研究 II グループ	主幹 (G L) 主査 主査 主事	新田 洋 辻本泰宏 中川 明 奥野 実	主事 小山憲一 技師 池本浩弥 臨時技術補助員 川崎志乃 臨時技術補助員 浅生卓司
	津市駐在 (中勢道路整理所)		
	主幹	五嶋史佳	主事 福島伸孝
	主事	東 敬義	技師 川畑由紀子
	主事	柴山圭子	臨時技術補助員 瀬野弥知世 臨時技術補助員 坂 佳彦

〔施 設〕

三重県埋蔵文化財センター

所在地 多気郡明和町竹川 503 番地 TEL 0596-52-1732 (代表) FAX 0596-52-7035
HP アドレス <http://www.museum.pref.mie.jp/maibun/>
面積 敷地面積 18,000 m² 建築面積 4,573 m² 延床面積 5,077 m²
構造 鉄筋コンクリート造 1 階 (一部 2 階) 建 * 建物は齋宮歴史博物館と共用

遺物収蔵庫

桜橋収蔵庫 津市桜橋 2 丁目 126 TEL 059-227-2465
藤方収蔵庫 津市藤方 2283-1 TEL 059-224-4560
高茶屋収蔵庫 津市高茶屋 7 丁目 3 番 46 号 TEL 059-235-4343
上野収蔵庫 上野市丸之内 117 TEL 0595-24-0079
朝明倉庫 四日市市中野町 2216 番地 TEL 0593-39-3553
玉城倉庫 度会郡玉城町岡村 281-1 TEL 0596-58-5904

現場整理所

四日市整理所
四日市市伊坂町 126-1 TEL 0593-66-2688 FAX 0593-66-2689
一般国道 23 号中勢道路整理所
津市安東町 1213-5 TEL 059-229-2770 FAX 059-229-2771

II 資料の整理・保管・活用

1 発掘資料の整理・保管

出土遺物は、学術的価値が高く・活用頻度の高いもの（区分A類遺物）を齋宮歴史博物館収蔵庫に、比較的活用頻度の低いもの（区分B類遺物）を各地の収蔵庫（下表参照）に分散保管している。平成10年度から進めてきた遺物の再整理・圧縮作業は桜橋本棟の約12,000箱を除き全て終了し、収蔵箱数の約4割強の削減を達成すると共に、今年度は作業終了後の遺物基本台帳のデータ入力（エクセル・アクセス）を完了した。16年度はひきつづき桜橋本棟収蔵遺物にも着手する計画である。

一方、記録保存資料である遺構・遺物の実測図面・写真フィルム類も上記博物館収蔵庫に整理・保管しているが、既に許容量は超過しており、30,000冊を超える受領図書同様に収納場所や方法の抜本的な見直しに迫られている。このうち、大半の書籍については新たに嬉野収蔵庫での公開を含む移転・整備計画を検討している。

〔平成15年度出土品量（概数）〕

事業名		今年度出土量
県事業関係		886
受託事業関係	東海環状建設関係	0
	中勢道路建設関係	272
	第二名神建設関係	0
	近道紀勢線建設関係	0
	宮川用水建設関係	0
	近道名古屋神戸線	0
埋蔵文化財センター分計		1,158
齋宮歴史博物館分		242
合計		1,400

〔収蔵庫保管出土遺物箱数 平成16年3月末現在〕

施設名	出土品保管量	
	各地収蔵庫	桜橋収蔵庫
	藤方収蔵庫	2,509
	上野収蔵庫	0
	高茶屋収蔵庫	8,121
受託現場整理所 (一時保管)	第二名神整理所	1,673
	朝明倉庫	1,231
	中勢道路整理所	3,382
	玉城整理所	(閉鎖)
埋蔵文化財センター内	収蔵庫1	336
	収蔵庫2	3,293
	仮設収蔵庫	3,048
埋蔵文化財センター分計		43,393
齋宮歴史博物館	収蔵庫2	11,661
合計		55,054

- * 数量は、平成15年度末時点の量をコンテナパット（60cm×40cm×16cm）に収納した場合の箱数である。
- * 各年度ごとに正式収蔵時に圧縮・再整理するため、平均して約45パーセントの箱数が実質削減される。
- * 年度の実調査面積は34,065㎡、遺物箱数1,158箱、重量にして3,481.8kgで、100㎡当たり10.2kgであった。

2 科学的保存処理

科学的保存処理のための専任職員は配置されていないが、保存科学室1（木製品専用）にPEG樹脂含浸装置2基、保存科学室2（金属製品専用）には減圧樹脂含浸装置1基が設置されている。また、中勢道路整理所にもPEG含浸装置1基が設置されている。現状では、簡易な処理作業には当該技術研修を終了した職員があたり、本格的な鉄器・木器の保存処理は、国庫補助制度等も活用して専門処理機関に委託している。

木製品においては、今年度処理対象となる397点の中から、中勢道路に伴う発掘調査により出土した木製品238点中149点の保存処理を中勢道路において実施中で、平成16年秋に樹脂含浸の終了、平成16年度末には樹脂乾燥を終え完了の予定である。このほかの公共事業に伴う発掘調査により出土した159点と受託事業の残る89点については各事業部局から執行委任を受け専門機関へ保存処理を委託した。

また金属製品については、第二名神に伴う発掘調査で出土した15点および公共事業に伴う発掘調査で出土した242点については1次クリーニング（泥土除去と洗浄）として自主処理を行った。このうち今年度処理対象として受託事業（第二名神）の15点、公共事業の58点、さらに国庫補助金により処理を行う11点の計84点について、X線透過撮影および2次クリーニング以降の保存処理を木製品と同様に各事業部局から執行委任を受け、また国庫補助金を受けて専門機関へ保存処理を委託した。

3 発掘資料活用事業

(1) 展覧会事業（常設展示・企画展ほか）

〔県庁舎県民ホール・県民局庁舎ロビー常設展〕（通年）

より広範囲な県民の皆様に郷土の文化財への興味・関心を深めていただくことを目標に、県庁舎県民ホールと松阪・上野の県民局総合庁舎で常設展示をしている。前者では平成10年度から、また後者では平成13年度から、それぞれの地域性や話題性のある資料、テーマによりサテライト展示を継続している。

今年度の県民ホールでは「津以北にある遺跡から」、松阪庁舎では「松阪地方の遺跡紹介」、上野庁舎では「伊賀地方の遺跡から」をテーマにし、それぞれ代表的な遺跡とその出土遺物の一部を一般公開した。不特定多数の来庁者が対象であるため入館者数の正確な把握は困難だが、多くの県民の方々の目に止まっているはずである。

〔企画展・第2回夏休みこども展〕

- テーマ 「土器のもよういっぱい」
- 開催期間 平成15年7月19日～同8月31日 38日間
- 開催場所 斎宮歴史博物館 特別展示室
- 入館者総数 3,485名
- 展示資料 縄文土器深鉢（嬉野町堀之内遺跡）、縄文土器無頸壺（嬉野町天白遺跡）、弥生土器双脚壺（津市亀井遺跡）、須恵器杯（津市高茶屋大垣内遺跡）、石製品（津市安濃津遺跡群）、木製品・古式土師器（津市六大A遺跡）、瓦（松阪市伊勢寺遺跡）ほか80件。
- 概要 日常生活で何気なく使っている食器や花瓶などに描かれた「さまざまなデザインの模様」を、昔のひとびとは、どんな道具を使って描いていたのだろうか。縄文時代から何千年もの長い歴史の中で形作られた様々な土器類の「不思議な模様」を実物を通して学び、施文体験する企画で、夏休み中の小学校・中学校の児童・生徒を対象に上記の日程で開催した。
会場には実物大の模造土器に、各種のスタンプやヘラなどを使って、家族でも楽しむことのできる体験コーナーも設置し、会期中の関連行事としては、応募者による下記三種類の参加体験講座を実施し、夏休みの自由研究にも役立ててもらえるように配慮した。
 - ① 「考古学者になってみよう講座」 7月26日、8月23日 いずれも午前・午後 各30名ずつ。
 - ② 「模様を写し取ってみよう講座」 8月9日 午前・午後 各20名ずつ。
 - ③ 「勾玉つくり教室」 7月31日 午後のみ 計60名参加。

〔企画展・第23回三重県埋蔵文化財展〕

- テーマ 「三重の優品展」
- 開催期間 平成15年9月28日～同11月3日 37日間
- 開催場所 松阪市文化財センター はにわ館第二展示室
- 展示趣旨 過去に三重県内で出土した考古遺物の中には、国宝・重要文化財クラスの優品も多くあるが、資料によっては普段なかなか目にすることの出来ないものもある。松阪市に新しい展示施設が開設されたことを記念し、そういう資料を一同に集めて一般公開し、三重県の歴史・文化について再認識していただく場を提供するものである。併せて文化財保護の重要性を認識してもらおう機会としたい。
- 入場者総数 3,680名
- 展示資料 灰釉長頸瓶（鳥羽市蟹穴古墳）・垂飾付耳飾一対（鈴鹿市保子里古墳）・車輪石（嬉野町向山古墳）・金銅装頭椎太刀（明和町坂本一古墳）・舍利容器ほか（朝日町繩生廃寺）・画文帯神獸鏡（鳥羽市神島）・伯牙彈琴鏡（鳥羽市神島）・鉄獅噛文金象嵌鍬形（鳥羽市神島）・線刻阿弥陀三尊来迎鏡像（伊勢市朝熊山経塚群）・袈裟褌文銅鐸（青山町柏尾・津市高茶屋）・水晶製舍利塔（白山町高田廃寺）・馬形埴輪（鈴鹿市石薬師東古墳群）など38件。

〔イベント広場M祭〕（平成15年8月3日 協賛展示）

三重県総合文化センターが企画開催したM祭に協賛展示事業として参加した。出土した土器類の「土器に触ってみよう」コーナーのほか、「模様を写してみよう」コーナーでは拓本道具で土器の文様を写す挑戦、また「火を起こしてみよう」コーナーでは、昔の人が使っていた道具で実際に火を起こす体験をしてもらった。便利な生活に慣れてしまっている現代の子ども達に古代人の生活を想像してもらうきっかけづくりの場を提供した。親子・家族づれ約1,200名の入場・参加者があり、再三長蛇の列ができるほど人気が高く、好評のうちに終了。

(2) 総合学習支援事業（出前講座・バックヤードツアー・体験発掘など）

平成3（1991）年に、開館間もない斎宮歴史博物館の普及集客活動の目玉商品として、全国に先駆け創始された「出前講座」は今や本来の趣旨を離れて全国津々浦々にまで浸透したが、最近では総合学習などの新しい学校教育活動の展開にともない、多様化する教育現場のニーズに対応することも求められている。一般化した「出前講座」はむしろその一形態にすぎなくなって来ている。われわれが力を入れて取り組んだ実績は下表のとおりである。

1	出前講座(歴史教室)	4月25日	桑名市立久米小学校	6年生 104名 +3名	社会科総合学習：歴史学習の始めにあたり校区内の南浦遺跡を題材に郷土の歴史に興味関心をもたせるきっかけづくりに協力。
2	出前講座(歴史教室)	5月 1日	津市立雲出小学校	6年生 72名 +2名	社会科総合学習：地元の遺跡を教材に歴史学習の入門講座とし、子どもたちに地域の歴史に対する関心を高める授業に協力。
3	出前講座(歴史教室)	5月15日	河芸町立黒田小学校	6年生 26名 +4名	社会科総合学習：中勢地域の旧石器から古墳時代について地元の遺跡を教材とし地域に密着した学習を展開。
4	出前講座(体験教室)	6月 1日	四日市市立博物館	一般児童 20名	こども博物館教室に参加の児童を対象に土器製作と窯焼きを実際に体験指導、個人参加の総合学習支援。
5	出前講座(歴史教室)	6月 3日	松阪地方県民局	松阪管内小中学校関係者 80名	県民局管内の小中学校の先生方を対象とした「総合学習支援事業」の具体的な説明会。ポスターセッション。
6	出前講座(体験教室)	6月22日	芸濃町立明小学校	3年生 20名 +15名	社会科総合学習：古墳時代の装飾品のひとつである勾玉を親子で実際に作る歴史体験教室、衣食住テーマ学習への協力。
7	出前講座(体験教室)	7月18日	飯南町立波瀬小学校	高学年 10名 +7名	学校の夏休みキャンプで火起こし古代体験。起こした火種をそのあと使う生きた総合学習。
8	出前講座(体験教室)	7月19日	飯南町立波瀬小学校	高学年 13名 +7名	キャンプ二日目に衣食住学習の一環で勾玉づくりを体験し、古代人の装飾品製作の一端に触れる。
9	出前講座(体験教室)	7月23日	磯部町中央公民館	町内の中学一年生 15名	町教育委員会主催のジュニアリーダー研修の一環で古代の火起こしを体験し歴史に触れる総合学習に協力、文化財保護啓発の一環と位置付ける。
10	出前講座(体験教室)	8月11日	玉城町立玉城中学校	3年生 19名	社会科総合学習：神宮土器製作所が近く、歴史風土に恵まれた地域社会を知る学習の一環として実際に土器を製作してみる。
11	出前講座(歴史教室)	8月22日	上野市労働会館	伊賀管内社会科教員 28名	教師のための総合学習研修：進行中の天童山古墳群の発掘成果を題材に、教材研究に協力。
12	出前講座(体験教室)	9月18日	玉城町立玉城中学校	3年生 19名	社会科総合学習：神宮土器製作所が近く、歴史風土に恵まれた地域社会を知る学習の一環として実際に製作した土器を自分たちで焼いてみる。
13	出前講座(体験教室)	10月26日	上野市依那古地区市民センター	地域住民 100名	依那古文化祭で、地元の天童山古墳群で出土した遺物を展示し、併せて展示解説会を実施。地域の文化祭への認識を深めてもらう機会を提供。
14	出前講座(体験教室)	10月26日	上野市上郡地区市民センター	地域住民 40名	上郡地区文化祭で、地元の天童山古墳群で出土した遺物を展示し、併せて展示解説会を実施。地域の文化祭への認識を深めてもらう機会を提供（夜間開催）。
15	出前講座(歴史教室)	11月21日	阿児町マリーナベイホール	鳥羽・志摩郡・南勢町文化財調査保護委員ほか 40名	平成15年度志摩文化財調査保護委員協議会の総会・研修会で、長尾遺跡の出土遺物を展示し、埋蔵文化財保護行政の重要性について講演。
16	出前講座(体験教室)	12月11日	津市立橋南中学校	総合学習選択の2年生 40名	総合学習のなかで、歴史や考古学に興味や関心のある生徒を対象にしたリクエスト出前講座。古代中世の土器と現代の生活雑器との比較対象を中心にした実物に触れる講座。
17	出前講座(体験談講話)	12月17日	センター整理室ほか	東京都埋蔵文化財センター職員 1名	夏休み子ども展「土器のもよういっぱい」の具体的な手法等当方が実施した展示のノウハウについてのベンチマーキングに対応、支援。
18	出前講座(歴史教室)	2月 1日	アスト津研修室	三重郷土会 40名	先方からの要請で三重県の文化財保護と行政、埋蔵文化財発掘調査の現状と課題などについて本課と共同で対応。
19	出前講座(歴史教室)	2月10日	大内山村中央公民館	五箇町村文化財保護委員研修会 25名	大台町、宮川村、大宮町、紀勢町、大内山村の各文化財保護委員の研修会で文化財保護をめぐる課題などを講演。

1	バックヤードツアー体験学習	4月22日	博物館・センター講堂	松阪市立徳和小学校 6年生 141名+6名	社会科総合学習：班編成によるグループ体験学習「土器を詳しく観察してみよう」に協力・支援。
2	バックヤードツアー体験学習	4月23日	博物館・センター講堂	大宮町立大宮中学校 3年生 43名+4名	社会科総合学習：班編成によるグループ体験学習「土器の特徴と変遷」に協力・支援。
3	バックヤードツアー体験学習	7月10日	博物館・センター講堂	鳥羽市立加茂小学校 6年生 41名+3名	総合学習：塚山古墳実地測量のほか、発掘資料の洗浄注記等整理作業の見学体験。
4	バックヤードツアー体験学習	8月 1日	博物館・センター講堂	津市歴史教室参加者 40名	博物館見学に併せて発掘資料の室内整理作業を見学体験し、センター業務の実際を学習。
5	バックヤードツアー体験学習	8月 8日	中勢道路整理所ほか	県立津東高校生徒 4名+1名	社会科校外総合学習：歴史クラブの生徒が発掘現場での体験発掘後に、発掘資料の整理作業を実際に学ぶ。
6	バックヤードツアー体験学習	9月26日	センター整理室ほか	勢和村立勢和中学校 3年生 4名+1名	総合調査学習：1年生から続けてきた学習の最終年として村外施設に出て社会人と同じ仕事を体験する。
7	バックヤードツアー体験学習	10月17日	センター整理室ほか	南島町立南島小学校 5・6年生 65名	社会科総合学習の一環で、斎宮の歴史や三重県内の遺跡などについて、具体的な出土遺物を見ながら学ぶ。
8	バックヤードツアー体験学習	11月15日	センター整理室ほか	皇學館高校 123名	社会科総合学習の一環で、斎宮の歴史や三重県内の遺跡などについて、具体的な出土遺物を見ながら学ぶ。
9	バックヤードツアー体験学習	12月 2日	センター整理室ほか	東京都立鷺宮高校 進路指導部教諭 1名	行き詰まっている総合学習を新たに再構築するために実績や方法論を参考にして、生かす目的で研修。
10	バックヤードツアー体験学習	1月14日	センター整理室ほか	県立松阪高校 40名	進路決定コースの生徒40名による地域学習。地域の歴史や文化と、その発掘調査等について実地に学習する。
11	バックヤードツアー体験学習	2月21日	センター整理室ほか	伊賀伝統産業館 7名	伊賀焼き工芸家後継者育成事業の一環として、埋文センターに保管の「弥助窯」出土遺物を見学。
1	発掘体験教室	8月 4日	津市 替田遺跡	社会科教員 8名	安芸郡社会科教員による体験発掘。社会科総合学習への教材研究の一環を支援。
2	発掘体験教室	8月 5日	三雲町 小津遺跡	親子参加者 100名	国土交通省に協力して一般公募による参加者に現地で体験発掘をしてもらう。
3	発掘体験教室	8月 7日	津市 替田遺跡	県立津東高校生徒 5名	日本史校外学習の一環として身近にある遺跡の体験発掘、文化財保護の学習を通じて歴史・考古学への認識を高めるために協力。
4	発掘体験教室	8月 8日	津市 替田遺跡	県立津東高校生徒 6名	日本史校外学習の一環として身近にある遺跡の体験発掘、文化財保護の学習を通じて歴史・考古学への認識を高めるために協力。
5	発掘体験教室	8月19日	松阪市 戸井口遺跡	社会科教員 11名	多気町教育研究会社会科部会の教員研修の一環として発掘調査を体験、総合学習教材研究の場を提供。
6	発掘体験教室	8月20日	松阪市 天王山遺跡	県立宇治山田高校生徒 3名	日本史校外学習の一環として身近にある遺跡の体験発掘、文化財保護の学習を通じて歴史・考古学への認識を高めるために協力。
7	発掘体験教室	8月21日	津市 替田遺跡	県立津東高校生徒 3名	日本史校外学習の一環として身近にある遺跡の体験発掘、文化財保護の学習を通じて歴史・考古学への認識を高めるために協力。
8	発掘体験教室	8月22日	三雲町 小津遺跡	三雲町立天白小学校児童 42名	社会科総合学習：校区内にある遺跡の発掘調査を体験し、地域の歴史や文化財保護の大切さを学ぶ。
9	発掘体験教室	9月 3日	亀山市 三寺遺跡	三重大学学生他 4名	三重県農林商工部にインターンシップで研修中の大学生に、業務との関係が深い埋蔵文化財についての認識を深める目的で現地研修に協力、提供。
10	発掘体験教室	10月28～30日	松阪市 戸井口遺跡	町市学校組合立多気中学校生徒 4名	総合学習の一環としての職場体験学習に取り組んでもらう場を提供。併せて文化財保護の大切さを知ってもらう。
1	遺跡見学探検	7月 2日	松阪市 天王山遺跡	小学校教員 10名	松阪市内社会科部会で地元の古墳群や建物跡の発掘作業を見学、発掘資料を実見して総合学習教材研究に生かす。
2	遺跡見学探検	7月17日	上野市 天童山古墳群	上野市立丸山中学校 1年生 60名	社会科総合学習：地域にある遺跡の発掘現場で、文化財に直に触れる体験学習をする。
3	遺跡見学探検	8月 8日	津市 替田遺跡	社会科教員 8名	津市内社会科研究サークルとして地元の遺跡を見学体験し、社会科総合学習への教材研究に生かす。

4	遺跡見学探検	11月12日	上野市 宮ノ前遺跡ほか	社会科教員 7名	名張市内社会科研究サークルとして地元の遺跡を見学体験し、社会科総合学習への教材研究に生かす。
5	遺跡見学探検	11月14日	桑名市 志知南浦遺跡	桑名市立久米小学校 6年生 7名	総合学習の一環で、児童自身による調べ学習をグループで行うにあたり、地元の遺跡を知り、出土遺物についての取り扱い等を体験学習。
6	遺跡見学探検	1月21日	桑名市 志知南浦遺跡	桑名市立久米小学校 6年生 104名+3名	総合学習の一環として、地域内の遺跡を見学し、地域の歴史などに興味関心をもつ端緒とする。

(3) 生涯学習支援事業（現地説明会・資料閲覧・貸出・刊行物・ホームページなど）

〔現地説明会・歴史教室など〕

遠い祖先たちの生活の跡を目の当たりにでき、あるいはその現場に立って歴史に想像を馳せることの出来る数少ない場所が遺跡の発掘調査現場である。そこで行う一回限りの説明会は遺跡を通してそれぞれの地域の歴史・文化に触れるまたとない機会である。今年度は下記の5遺跡で現地説明会を実施し、計530名に及ぶ参加者があった。特に桑名市志知南浦遺跡では積雪悪天候で中止にもかかわらず、なお75名にも及ぶ熱心な考古学ファンが押しかけ、係員の説明に熱心に聞き入っていた。

1	現地説明会	9月20日	上野市 天童山古墳群	一般 160名	発掘調査の成果に基づき、遺構・遺物を現地で説明、文化財保護の大切さ、地域社会の歴史への認識を深める。
2	現地説明会	11月 8日	松阪市 天王山古墳群	一般 130名	発掘調査の成果に基づき、遺構・遺物を現地で説明、文化財保護の大切さ、地域社会の歴史への認識を深める。
3	現地説明会	11月15日	松阪市 戸井口遺跡	一般 40名	発掘調査の成果に基づき、遺構・遺物を現地で説明、文化財保護の大切さ、地域社会の歴史への認識を深める。
4	現地説明会	1月10日	三雲町 中林・中道遺跡(C地区)、小津遺跡(B地区)	一般 140名	発掘調査の成果に基づき、遺構・遺物を現地で説明、文化財保護の大切さ、地域社会の歴史への認識を深める。
5	現地説明会	1月17日	桑名市 志知南浦遺跡	一般 75名	発掘調査の成果に基づき、遺構・遺物を現地で説明、文化財保護の大切さ、地域社会の歴史への認識を深める。積雪悪天候に関わらず75名もの参加者があり、急遽方法を変えて要望に応えた。

〔発掘資料閲覧申請応諾実績〕

個人、団体を問わず、研究もしくは展示借用等の理由で収蔵資料の実見申請に対して許可した件数は下記のとおりである。

資料名	申請者	目的	期間	許可日
山添遺跡出土縄文土器一式	個人	個人研究（卒論）		4/11
下川遺跡出土中世土器一式ほか	個人	個人研究	4/12	4/11
替田遺跡樹種鑑定報告書ほか	京都大学木質科学研究所	データ作成のため		4/16
上惣作遺跡出土遺物ほか	個人	個人研究	4/25	4/25
権現坂遺跡出土縄文土器深鉢ほか	鈴鹿市考古博物館	企画展のための資料調査および図録等掲載写真の撮影	5/21	5/13
位田遺跡出土遺物ほか	個人	個人研究	6/16	6/12
六大B遺跡出土石帯	津市教育委員会	『津市政だより』に掲載のための写真撮影	6/30	6/24
試掘調査報告（松阪市）	皇學館大學考古学研究会	資料調査	7/7～8	7/ 7
『多気遺跡群発掘調査報告』掲載遺物ほか	美杉村教育委員会	村内遺跡発掘調査報告書作成および美杉村ふるさと資料館企画展にかかる資料調査	7/11	7/11
鴻ノ木遺跡出土石器ほか	個人	個人研究	7/13	7/11
伊賀国府跡4次ほか出土硯類	個人	原稿作成	7/22	7/17
宮山遺跡出土弥生時代石器類	個人	個人研究	7/23	7/23
納所遺跡出土弥生時代手焙形線刻土器	愛知県埋蔵文化財センター	国立歴史民俗博物館紀要執筆のための資料調査	8/11	8/ 4
山添遺跡4次出土石器一式	個人	個人研究	8/ 7	8/ 7
七和2号窯跡出土土器	個人	個人研究	8/14	8/14
太岡寺古墳群出土土器一式・装身具一式	個人	個人研究	8/20・27	8/20
権現坂遺跡ほか出土弥生時代石斧・石包丁類	個人	個人研究	8/25	8/25
北堀池遺跡出土縄文土器	上野市市史編纂室	上野市史執筆のための資料調査	8/25	8/25

金塚遺跡出土銅鐸片ほか 15点	鈴鹿市考古博物館	特別展にかかかる資料調査および図録等掲載写真の撮影のため	9/ 4	9/ 1
市場A遺跡ほか試掘結果報告	三重大学考古学研究室	白山町分布調査報告書作成のため	9/11	9/ 1
城山古墳調査写真・遺物写真アルバム	亀山市教育委員会	亀山市文化財調査展示での使用写真資料調査	9/ 8	9/ 8
大原堀遺跡出土土器棺	個人	個人研究	9/17	9/11
小津遺跡関連資料	個人	個人研究	9/17	9/17
橋垣内遺跡ほか土器	個人	個人研究（卒論）	9/18	9/17
山添遺跡 4次出土土器・石器一式	個人	個人研究	9/23	9/19
納所遺跡出土琴形木製品ほか	個人	個人研究	10/14	9/19
前田町屋遺跡出土石杵ほか	個人	個人研究	12/10	10/ 8
納所遺跡出土遺物	株式会社Z T V	『焦点2 1～安濃津紀行』の映像撮影のため	10/10	10/10
浜島町埋蔵文化財包蔵地調査カード	個人	個人研究	10/20	10/20
納所遺跡ほか出土の堅櫛・横櫛	個人	個人研究（卒論）	10/22	10/22
朝倉氏遺跡発掘調査報告書ほか	個人	個人研究	10/22	10/22
伊勢寺遺跡・下川遺跡発掘調査報告書ほか	個人	個人研究（卒論）	10/27	10/23
堀田遺跡3～5次出土遺物ほか	榎原考古学研究所 附属博物館	平成16年度春季特別展の展示に伴う資料調査	11/13	11/ 4
長者屋敷遺跡出土文字瓦ほか	個人	個人研究	11/18	11/12
神ノ木館跡出土下駄ほか	個人	個人研究（卒論）	12/ 1	11/25
西出遺跡写真一式	美里村教育委員会	美里ふるさと資料館展示資料調査	12/22	12/22
宝塚古墳関連埋蔵文化財包蔵地カード	個人	個人研究	1/ 5	1/ 5
八幡遺跡出土磨石ほか	個人	個人研究	1/28	1/27
上ノ垣内遺跡の縄文土器ほか	鹿児島県立埋蔵文化財センター	県内事例との類例調査	2/19	2/16
納所遺跡出土環状石斧	浜松市博物館	県内事例との類例調査	3/ 8	2/20
菟上遺跡出土祭祀関係遺物ほか	静岡県立登呂博物館	平成16年度特別展に伴う展示資料の事例調査	2/25	2/20
稲生窯跡出土須恵器ほか	鈴鹿市考古博物館	報告書作成のための資料調査	2/27	2/24
若宮遺跡出土収蔵資料一式	個人	個人研究	3/15～3/16	2/27
納所遺跡出土土器ほか	個人	個人研究	3/23	3/17
西肥留遺跡出土木製品	個人	個人研究	3/18	3/18
北野遺跡出土焼成粘土塊ほか	個人	個人研究	3/23	3/23

【発掘資料貸出、写真撮影及び掲載申請応諾実績】

資料名	申請者	目的	期間	許可日
安濃津遺跡出土の山茶碗写真	株式会社吉川弘文館	日本の時代史 12『戦国の地域国家』に掲載		4/11
茶臼山古墳出土装飾付台付壺写真	株式会社小学館	『考古資料大観第3巻弥生・古墳時代土器Ⅲ』に掲載	4/10～12/31	4/10
安濃津遺構写真	旅行読売出版社	出版物に掲載	4/11～ 5/10	4/11
六大A遺跡横鋳写真ほか	株式会社小学館	『考古資料大観第8巻弥生・古墳時代木・繊維製品』に掲載		4/21
粥見井尻遺跡出土土偶写真	島根県仁多町教育委員会	町広報誌に掲載		5/ 6
阿形遺跡出土鉢ほか	松阪市埋蔵文化財センター	企画展に出展と写真パネル展示	5/16～ 9/24	5/15
勝地大坪古墳群ほかスライド写真	青山町教育委員会	上津小学校6年生地域学習のため	5/19～ 5/29	5/19
南谷遺跡鉄鏃写真	株式会社小学館	『考古資料大観第7巻弥生・古墳時代鉄・金銅製品』に掲載		5/22
前田町屋1号墳二重口縁壺形埴輪ほか	四日市市立博物館	特別展に出展と関連印刷物への写真の掲載	6/ 4～ 9/15	6/ 3
筋違遺跡はたけ遺構写真ほか	鈴鹿市考古博物館	企画展に展示・冊子への掲載	6/18～ 7/18	6/10
権現坂遺跡縄文土器深鉢ほか	鈴鹿市考古博物館	企画展に展示・冊子への掲載	7/ 7～ 9/12	6/17
鴻ノ木遺跡報告書巻頭写真	名古屋博物館	特別展にパネル展示・図録掲載	7/15～12/ 9	6/23
六大B遺跡出土石帯写真	津市教育委員会	『津市政だより』に掲載のため	6/30	6/24
伊賀国府土器ほか	津東高等学校	公開授業にて教材として使用	8/22～ 8/28	8/12

鴻ノ木遺跡出土縄文土器深鉢写真	松阪市立射和公民館	公民館たよりに掲載		8/12
納所遺跡出土勾玉ほか	可児郷土歴史館	特別展に出展・関連印刷物等への掲載	10/ 1～12/15	8/20
亀井遺跡出土双脚壺写真	津市埋蔵文化財センター	市政だよりへの掲載		9/ 1
金塚遺跡全景写真ほか	鈴鹿市考古博物館	特別展への出展・関連印刷物への写真掲載	9/ 4～10/ 3	9/ 1
志知南浦遺跡遺構写真	個人	刊行物への掲載	9/ 8	9/ 8
高茶屋大垣内遺跡遺物出土状況写真ほか	津市教育委員会	埋文センターニュースに掲載	9/11～ 9/30	9/11
石膏土器模型・施文原体	宇治山田高等学校	文化祭でのクラブ活動の展示	9/17～ 9/25	9/17
石薬師東古墳群出土馬形埴輪写真ほか	株式会社小学館	『考古資料大観第4巻弥生・古墳時代埴輪』に掲載	9/17～ 4/30	9/ 5
天白遺跡土偶ほか	栗東歴史民俗博物館	企画展への出展と関連印刷物への写真掲載	9/10～12/31	9/10
金塚遺跡出土銅鐸片ほか	鈴鹿市教育委員会	特別展への展示	10/15～12/10	10/ 2
石薬師東古墳群出土馬形埴輪写真	可児郷土歴史館	特別展への展示・図録に掲載	10/ 2～10/24	10/ 2
菟上遺跡空撮全景写真	国際航業株式会社	ホームページに掲載	10/15～11/28	10/ 7
多気遺跡群出土遺物ほか	美杉村教育委員会	企画展への展示およびパネル展示	9/22～11/14	9/22
城山古墳遺構写真	亀山市教育委員会	テーマ展示に展示のため	10/ 1～12/23	9/30
井田川茶白山古墳群出土金銅製馬具	個人	卒論に掲載		10/20
山添遺跡4次出土土器・石器一式	個人	雑誌に実測図掲載		10/28
北堀池遺跡出土土面硯ほか	個人	論文に実測図掲載		11/12
石膏土器模型ほか	津市埋蔵文化財センター	親子歴史教室での教材	11/19～11/26	11/19
城之越遺跡報告書掲載写真	個人	刊行物への掲載	11/28～12/26	11/25
六大A遺跡出土琴写真	株式会社春秋社	『埋もれた楽器—音楽考古学の現場から』に掲載		11/28
里前遺跡遺構写真ほか	津市埋蔵文化財センター	内部研修の資料	12/ 1～ 2/29	11/28
山添遺跡4次出土遺物一式	個人	出土遺物の展示	12/6・7	11/28
鴻ノ木遺跡出土縄文土器深鉢写真	株式会社夕刊三重新聞社	『夕刊三重』新年号への掲載		12/10
北堀池遺跡ほか遺構・遺物写真	上野市史編纂室	上野市史への掲載		12/26
石薬師東古墳群出土家形埴輪写真ほか	株式会社小学館	『考古資料大観第4巻弥生・古墳時代埴輪』に掲載	1/16	1/13
深長古墳出土壺形埴輪写真ほか	株式会社小学館	『考古資料大観第4巻弥生・古墳時代埴輪』に掲載		1/13
石薬師東古墳群全景写真ほか	株式会社小学館	『考古資料大観第4巻弥生・古墳時代埴輪』に掲載	1/13～ 4/30	1/13
高茶屋大垣内遺跡大型掘立柱建物跡写真ほか	津市教育委員会	リーフレット『津市の遺跡シリーズ③』への掲載		1/16
替田遺跡出土横瓶ほか	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所	国土交通省事業の広報	12/17～ 3/31	1/22
雲出島貫遺跡全景写真ほか	津市埋蔵文化財センター	『埋文センターニュース第19号』への掲載		1/27
野田浦遺跡出土遺物ほか	三重大学人文学部考古学研究室	研究	1/28～ 4/30	1/30
堀田遺跡出土土師器ほか	橿原考古学研究所附属博物館	特別展への資料出展および関連印刷物への写真掲載	2/ 3～ 6/18	1/30
柏木遺跡遺構実測図ほか	嬉野町教育委員会	柏木遺跡報告書作成関連資料	2/12～ 3/23	2/ 9
宮ノ腰1次調査区全景写真	三雲町教育委員会	文化財周知パンフレットに写真掲載		2/ 9
城之越遺跡図版	学校法人日本放送協会学園	『考古学入門』講座テキストへの掲載		2/16
小津遺跡出土サイコロ写真	三雲町企画振興課	歴史街道ウォーキング用看板への写真掲載		3/ 2
納所遺跡出土土器写真ほか	津市教育委員会	津市ホームページ上で公開掲載		3/ 2
西ヶ広遺跡出土土面硯	四日市市教育委員会	パンフレット『遺跡が語る四日市の歴史』への写真掲載		3/ 2
菟上遺跡調査区全景写真	四日市市教育委員会	パンフレット『遺跡が語る四日市の歴史』への写真掲載		3/ 2
切山瓦窯跡出土軒丸瓦写真	個人	刊行物へ掲載		3/ 8
国分北遺跡全景写真	鈴鹿市教育委員会	速報展へのパネル展示・関連冊子への写真掲載	3/ 9～ 7/ 4	3/ 9

六大A遺跡出土横櫛写真 納所遺跡出土環状石斧実測図	個人 浜松市博物館	卒論に掲載 発掘調査報告書ほかに掲載	1/7 3/17
------------------------------	--------------	-----------------------	-------------

【物品及び考古資料の長期貸出・展示件数等（貸出期間平成15年4月1日～16年3月31日）】

番号	資料名	申請書	目的
1 2 3	展示ケース 14点 展示ケース 2点 展示ケース 2点	青山町教育委員会 津市教育委員会 美杉村教育委員会	普及啓発事業で町内の資料を展示公開 文化財保護の普及啓発事業で展示公開 速報展など普及啓発事業で展示公開
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23	山王遺跡出土遺物一括 落川原遺跡出土石帯1点 丹生川上城跡出土白磁小壺ほか23点 起A遺跡出土弥生土器壺・炭化米一式 双ツ塚遺跡遺構写真ほか16点 東庄内A遺跡出土縄文土器ほか43点 勢武谷遺跡・野元坂館址の遺物・写真・図 面等保存記録一式 大鼻遺跡出土品599点、城山古墳出土遺物 49箱ほか 大石遺跡・赤坂遺跡出土土器 8点 安濃津柳山遺跡全景写真 森山東遺跡全景写真ほか 62点 宮出遺跡出土信楽焼壺、古銭155点ほか 多気遺跡群出土瓦・墨書土器等20点 鴻ノ木遺跡出土縄文土器深鉢ほか5点 井尻遺跡・若宮遺跡出土土器27点 寺垣内遺跡出土弥生土器5点 北野遺跡出土椀・皿・甕など4点 城之越遺跡出土小型丸底壺ほか15点 近代古墳出土土器等19点 浮田遺跡B地区出土土器等 納所遺跡他出土遺物 中ノ庄遺跡ほか出土遺物 椋本南方遺跡ほか出土遺物	桑名市教育委員会 四日市市立博物館 朝日町歴史博物館 鈴鹿市教育委員会 鈴鹿市教育委員会 鈴鹿市考古博物館 亀山市歴史博物館 亀山市歴史博物館 芸濃町教育委員会 津市教育委員会 津市教育委員会 地方職員共済組合三重県支 部 美杉村教育委員会 松阪市教育委員会 勢和村ふるさと交流館 明和町教育委員会 斎宮歴史博物館 上野市教育委員会 上野市教育委員会 上野市教育委員会 三重県庁 松阪地方民局 伊賀地方民局	桑名市民へ資料公開 同博物館常設展示室で展示公開 同博物館常設展示室で展示公開 鈴鹿市稲生民俗資料館で展示公開 「鈴鹿の遺跡百撰」Web公開 同博物館常設展示で展示公開 亀山市歴史博物館で収蔵・展示公開 同館の展示資料として活用 同町総合文化センターで展示公開 同市ホームページ上で公開 同市埋蔵文化財センターの展示解説用 榊原保養所神湯館内で常設展示公開 美杉村ふるさと資料館で展示公開 同市文化財センターで常設展示公開 勢和村立資料館で常設展示公開 同町ふるさと会館で常設展示公開 同博物館常設展示室で展示公開 城之越遺跡 城之越学習館で展示公開 上野市歴史民俗資料館で展示公開 上野市歴史民俗資料館で展示公開 一階県民ロビーで常設展示公開 一階ロビーで常設展示公開 二階ロビーで常設展示公開

【出版物の刊行】

今年度は、「発掘調査報告書」と「発掘調査概報」を併せて19件のほかに『平成14年度三重県埋蔵文化財年報』や『三重県埋蔵文化財センター研究紀要13』、さらには「埋蔵文化財展パンフレット」、『三重県埋蔵文化財センター通信みえ』No.36・No.37、受託事業関係の調査ニュース等、計5件の印刷物を刊行し、県内外の関係機関等へ配布した。それらを以下に掲げると次のとおりである。

平成15年度刊行物一覧（報告書名・報告対象遺跡の所在地・シリーズ番号・総頁数・CD・刊行年月）

①	『丸野・中谷遺跡発掘調査報告』（松阪市）	シリーズNo.246、	78P.	120.5MB	2003年8月
②	『城ノ谷遺跡発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.227-3、	38P.	23.0MB	2004年2月
③	『替田遺跡第4次発掘調査報告』（津市）	シリーズNo.252、	78P.	44.9MB	2004年3月
④	『伊坂遺跡発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.227-4、	72P.	74.6MB	2004年3月
⑤	『北門遺跡第3次発掘調査報告』（上野市）	シリーズNo.237、	72P.	21.1MB	2004年3月
⑥	『山村遺跡第2次発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.244、	160P.	153.1MB	2004年3月
⑦	『重地遺跡発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.227-5、	28P.	18.3MB	2004年2月
⑧	『庄屋田遺跡発掘調査報告』（美杉村）	シリーズNo.248、	28P.	9.7MB	2004年3月
⑨	『辻子遺跡発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.227-6、	402P.	478.0MB	2004年3月
⑩	『河曲の遺跡』（鈴鹿市）	シリーズNo.247、	320P.	226.5MB	2004年3月
⑪	『金剛坂里中遺跡発掘調査報告』（明和町）	シリーズNo.251、	23P.	12.5MB	2004年3月
⑫	『茂福城跡ほか発掘調査報告』（四日市市）	シリーズNo.249、	18P.	11.3MB	2004年3月
⑬	『筋違遺跡発掘調査報告』（嬉野町）	シリーズNo.115-19、	148P.	97.3MB	2004年3月
⑭	『高ノ御前遺跡第2次発掘調査報告』（伊勢市）	シリーズNo.253、	136P.	109.8MB	2004年3月

⑮	『東前遺跡発掘調査報告』（大台町）	シリーズ№238 - 2、	42P.	31.3MB	2004年3月
⑯	『川島遺跡(第2次)ほか発掘調査報告』（松阪市）	シリーズ№250、	124P.	43.1MB	2004年3月
⑰	『丹生水銀遺跡発掘調査報告』（勢和村）	シリーズ№238 - 3、	78P.	54.9MB	2004年3月
⑱	『梁瀬遺跡発掘調査報告』（津市）	シリーズ№115 - 21、	54P.	102.0MB	2004年3月
⑲	『平成14年度三重県埋蔵文化財年報』		60P.	2.53MB	2003年8月
⑳	『研究紀要第13号－弥生時代小特集・伊賀国府跡第六次調査報告－』	ISSN0918 - 9904、	142P.	55.5MB	2003年9月
㉑	『中勢道路発掘調査概報X V』（三雲町）		30P.	21.2MB	2003年12月
㉒	『センター通信』	36号・37号			2004年1月・2004年3月
㉓	『中勢道路ニュース』	№42			2004年1月
㉔	第23回三重県埋蔵文化財展『三重の優品展－めったに見られない考古遺物－』		12P.		2003年9月

【ホームページの開設】

当センターの各種事業内容や、発掘調査・現地説明会の情報、収蔵品の紹介等をインターネットを介して多くの人々に公開して、埋蔵文化財に対する理解と文化財保護意識を高めてもらうために、ホームページを開設し、平成13年4月1日から運用を開始している。平成15年度中の利用アクセスは8,012件あり、運用開始以来平成16年3月31日現在までの利用アクセス件数は累計で15,459件に達している。今後とも、環境の変化や利用状況を勘案しながらより充実した内容を構築していきたい。

年 度	年間のアクセス件数	アクセス件数の累計
平成13年度	2,647 件	2,647 件
平成14年度	4,800 件	7,447 件
平成15年度	8,012 件	15,459 件

ホームページの主な内容

- センターの紹介 主に内部のこと（役割・仕事、内容・組織、発掘、整理、保存、研修）
みなさんに直接関係すること（案内地図、施設紹介、普及・公開）
- 発掘最前線（発掘情報、現地説明会、遺跡位置図）
- ご利用方法と手続き（資料の閲覧申請、資料の借用・掲載許可申請、遺跡・施設見学申請）
- 収蔵品ギャラリー
- お知らせ（現地説明会の案内、展示会等についての案内）

◆ **アドレス名** <http://www.museum.pref.mie.jp/maibun/>

Ⅲ 埋蔵文化財保護体制の充実

1 各種会議・研修会

〔三重県埋蔵文化財専門担当者会議〕

当埋蔵文化財センターのほか、県教育委員会生涯学習分野文化財保護チーム・斎宮歴史博物館及び市町村の埋蔵文化財専門担当者が、文化財保護・遺跡発掘状況・現場管理・専門的技術、民間委託等の問題について意見・情報交換、研修等を目的に開催するもので、平成15年度は下記3回の開催であった。

	開催日	場所	内容
第1回	平成15年5月8日	斎宮歴史博物館	・平成15年度事業予定 ・各組織と事務分掌 ・斎宮歴史博物館春季展示および新映像展示視察
第2回	平成15年10月24日	松阪市はにわ館 斎宮歴史博物館	・第23回三重県埋蔵文化財展視察 ・天王山遺跡・天王山古墳の見学 ・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・斎宮歴史博物館特別展視察
第3回	平成16年2月27日	斎宮歴史博物館	・埋蔵文化財調査の現状と課題 ・「埋蔵文化財専門担当者」の位置付けと当会議の今後のありかた ・民間開発に伴う調査における積算基準と報告書作成基準

〔全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会〕

同協議会が主催する各種会議・研修会に職員を派遣し、他機関との交流や技術研修を行っている。平成15年度から会長県を務めており、平成15年度の会議等参加・出席実績は下記ようになった。

名称	内容	期日	場所	出席者
平成15年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会総会・第1回役員会	平成14年度事業報告収支決算 その他	平成15年 5月29・30日	富山県富山市 パレプラン高志会館ほか	吉水 康夫 河北 秀実 田中 久生 石井 善文
平成15年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会東海・北陸ブロック会議	市町村合併に伴う埋蔵文化財センターのあり方、保存した遺跡の利用・活用にかかる現状と課題ほか	平成15年 10月30・31日	三重県飯南郡飯南町 リバーサイド茶舎 三重県松阪市 松阪市文化財センター はにわ館	吉水 康夫 河北 秀実 田中 久生 筒井 正明 中川 明 萩原 義彦
全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第16回研修会	研修テーマ『古墳時代終末期の墓制にみる地域性』	平成15年 11月13・14日	宮崎県宮崎市 ホテルプラザ宮崎	吉水 康夫 服部 芳人
平成15年度全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会第2回役員会	平成15・16年度役員選出、総会、研修会等の計画ほか	平成15年 11月20・21日	岩手県水沢市 プラザイン水沢	吉水 康夫 河北 秀実 田中 久生

その他の事業 平成15年8月26日「文化庁への要望書提出」 : 所長(会長) 吉水康夫・田中久生
平成15年12月11日「発掘された日本列島2003」実行委員会出席 : 所長(会長) 吉水康夫
平成16年3月16日「発掘された日本列島展」実行委員会出席 : 所長(会長) 吉水康夫

〔文化財行政講座〕

文化庁等主催の講座等に職員を派遣し、広く文化財行政研修の一環としている。

名称	内容	期間	場所	出席者
埋蔵文化財担当職員等講習会	文化財保護行政の各地事例報告、埋蔵文化財保護行政の現状と史跡の活用	平成15年 9月4・5日	奈良女子大学講堂	新田 洋 服部 芳人

〔埋蔵文化財写真技術研究会〕

当センターも組織・機関会員になっている埋蔵文化財写真技術研究協議会が主催する総会および研修会に、最新の専門技術的情報等を収集し、日常業務に反映させるために出席した。

名 称	内 容	期 間	場 所	受 講 者
埋蔵文化財写真技術研究会総会	会計報告、講演会：「文化財写真に求められるもの」「銀塩写真の保存性」、実技：遺物撮影	平成15年 7月4・5日	奈良市二条町 奈良国立文化財研究所 平城京跡資料館講堂	萩原 義彦 柴山 圭子

〔文化財取り扱い及び保存等研修会〕

文化財のおかれている環境からの盗難等の被害からの保護対策、また各種発掘資料の保存・保管のための環境条件等を科学的な観点から学ぶために参加した。

名 称	内 容	期 間	場 所	受 講 者
第21回三重県文化財講習会	仏像等盗難にかかる防止対策ほか	平成16年 1月27日	三重県津市 アスト津	新名 強 萩原 義彦 東 敬義
文化財保存修復研究協議会	古墳や洞窟内の水分影響と保存対策	平成16年 1月23日	東京都台東区 東京文化財研究所	角正 淳子
保存科学研究集会2003	日中における古代壁画の保存修復	平成16年 2月6日	奈良文化財研究所講堂	角正 淳子
DNA分析研修	DNA分析の講義とDNA分析作業ほか	平成15年 11月10～18日	三重大学生命科学研究 支援センター	角正 淳子 東 敬義

〔平成15年度古代庭園研究会〕

全国各地の遺跡発掘によって、従来はよく解らなかつた古代の庭園の実体が出土例の増加に伴って徐々に明らかになりつつある。同時に、未解決の新しい課題にも注目が集まっており、城之越遺跡で我が国最古の庭園遺構を調査した当センターとしては、担当者を派遣して最新情報の検討にも加わっている。

名 称	内 容	期 間	場 所	受 講 者
平成15年度古代庭園研究会	奈良時代庭園の成立と系譜	平成15年 12月18・19日	奈良市西大寺 奈良文化財研究所小講堂	穂積 裕昌

〔その他類例調査・会議〕

上記以外にも、遺物の保存や報告書作成にあたり、生産地等他府県への類例調査を行い、視野・見聞を拓けている。

名 称	内 容	期 間	場 所	受 講 者
出土遺物類例調査	小津遺跡出土サイコロ・双六駒等の調査	平成16年 2月25日 平成16年 2月27日 平成16年 2月27日	福井県立一乗谷朝倉氏 遺跡資料館 神奈川県鎌倉市(有) 鎌倉遺跡調査会 広島県立博物館	福島 伸孝 瀬野弥知世 柴山 圭子 瀬野弥知世 福島 伸孝 川畑由紀子

2 埋蔵文化財技術者養成

〔職員研修〕

職員の技術的・行政的向上を目的に、奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センターが実施する埋蔵文化財発掘調査技術者専門研修を随時受講させている。

内 容	期 間	受 講 者
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『写真基礎課程』	平成15年5月7日～5月15日	奥野 実 柴山 圭子
埋蔵文化財発掘技術者専門研修『遺跡環境調査課程』	平成15年10月16日～10月31日	

〔埋蔵文化財発掘技術者研修（教員研修）〕

昭和42年度以来、県下の学校教員を対象として、埋蔵文化財の発掘調査等についての専門的知識と技術の習得を目的とする研修事業を実施している。平成15年度は次の1名が県埋蔵文化財センター及び県内発掘調査現場において研修を行った。昭和54年度から平成14年度までに91名が研修を終了した。

平成15年度研修員

大村伸一(町市学校組合立多気中学校)

平成15年度研修内容

月	研修内容
4	研修ガイダンス、室内講義Ⅰ・Ⅱ、基本実習「遺物実測・拓本・土器復元」、遺跡研修、分布調査実習
5	基本実習「遺物実測・拓本・土器復元」「測量機材の扱い」「撮影機材の扱い」、試掘調査実習(城堀遺跡)
6	発掘調査実習(小津遺跡・大原堀遺跡)
7	発掘調査実習(大原堀遺跡・戸井口遺跡)
8	発掘調査実習(大原堀遺跡・戸井口遺跡)
9	発掘調査実習(戸井口遺跡)
10	発掘調査実習(戸井口遺跡)
11	発掘調査実習(戸井口遺跡・佐田南浦遺跡)、室内講義Ⅲ
12	発掘調査実習(佐田南浦遺跡)、報告書作成実習(戸井口遺跡)、室内講義Ⅱ・Ⅲ
1	発掘調査実習(佐田南浦遺跡)、報告書作成実習(戸井口遺跡)
2	報告書作成実習(戸井口遺跡)
3	発掘調査実習(岩出地区内遺跡群ケカノ辻地区)、室内講義Ⅲ

室内講義内容

月 日	区分	内 容	担 当 者
4月1日		ガイダンス	新田 洋
4月2日	I	文化財保護行政	新田 洋
4月3日	II	最近の発掘調査	中川 明
4月4日	II	第一次遺物整理・第二次遺物整理	奥野 実
4月7日	II	時代概論「旧石器・縄文」	小山憲一
4月8日	II	時代概論「古墳」	服部芳人
4月9日	II	時代概論「弥生」	穂積裕昌
4月10日	II	時代概論「古代」	新名 強
4月11日	II	時代概論「中世」	竹田憲治
4月25日	II	斎宮跡	伊藤裕偉 小浜 学
11月17日	III	遺物各論①「中世の土器」	竹田憲治
11月28日	III	遺物各論②「奈良・平安の土器」	新名 強
12月15日	III	遺物各論③④「木製品」・「埴輪」	穂積裕昌
12月16日	III	遺物各論⑤⑥「弥生土器」・「須恵器」	服部芳人
12月16日	II	保存処理	角正淳子
3月9日	III	遺物各論⑦「古墳時代の土師器」	川畑由紀子
3月9日	III	遺物各論⑧「縄文土器」	小山憲一
3月17日	III	遺物各論⑨「中・近世の陶器」	竹田憲治

〔埋蔵文化財発掘技術市町村職員研修〕

市町村教育委員会の職員を対象として埋蔵文化財発掘技術を研修し、文化財保護行政に資するための研修を実施している。平成14年度は次の1件1名を実施した。

所属・氏名	種 別	内 容	期 間
中西 秀貴 (玉城町教育委員会)	講座Ⅳ	報告書作成作業の実習	平成16年2月1日～3月31日

3 埋蔵文化財保護等に関する支援・協力

〔埋蔵文化財行政基礎講座〕

地方分権一括法が平成12年4月から施行されたことを受け、別添「実施要項」に基づき、平成12年度から市町村の埋蔵文化財保護行政の担当職員を対象として実施している。平成15年度は、6月4日と12月10日の計2回実施し、玉城町教育委員会生涯学習グループ中西秀貴氏の講演をはじめ各講座に延べ46市町村の参加を得た。

会場 埋蔵文化財センター

月 日	内 容	講 師
6月4日	講座Ⅰ「埋蔵文化財保護の基礎」	山田 猛(センター職員)
	講座Ⅱ「埋蔵文化財保護の実務」	筒井正明(センター職員)
	講演「埋蔵文化財の保護に携わって」	中西秀貴(玉城町教育委員会生涯学習グループ)
	講座Ⅲ「埋蔵文化財保護体制の充実」	森川幸雄(センター職員)
	講座Ⅳ「埋蔵文化財保護行政に係る諸法規と補助制度」	杉谷政樹(保護チーム)
12月10日	講座Ⅰ「埋蔵文化財保護の基礎」	山田 猛(センター職員)
	講座Ⅱ「埋蔵文化財保護体制の充実」	森川幸雄(センター職員)
	「埋蔵文化財の保護に携わるケーススタディ」	河北秀実・森山直樹(センター職員)
	講座Ⅲ「埋蔵文化財保護行政に係る諸法規と補助制度」	杉谷政樹(保護チーム)

《三重県埋蔵文化財行政基礎講座実施要項》

1 講座の目的

この講座は、各市町村において埋蔵文化財保護行政を担当する者が必要と思われる事務手続等の基礎的な業務を習得するために行う。

2 講座の主催者

三重県埋蔵文化財センター

3 講座の場所

三重県埋蔵文化財センターなど

4 講座の対象

講座の対象者（以下「受講者」という）は、以下の者とする

- (1) 市町村の埋蔵文化財専門担当者以外で、埋蔵文化財保護に携わる職員
- (2) 埋蔵文化財保護の実務経験が2年以内の埋蔵文化財専門担当者
- (3) 上記以外で参加を希望する者（文化財保護委員など）

5 講座の内容

- ・ 関連法令や通知、補助制度等の概要
- ・ 調整協議の流れと各種書類の作成
- ・ 遺跡台帳の整備

6 実施時期・期間

実施時期 春季と秋季に各1回

実施期間 1日

7 講座に要する費用

- (1) 受講者の旅費は、派遣機関が負担する。
- (2) 講座に必要な資料等の経費について、派遣機関に実費負担を求めることができる。

8 その他

前各項に定めるもののほか、講座の実施について必要な事項は、三重県埋蔵文化財センター所長が別途定める。

(附則)

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

この要項は、平成15年5月1日から改正する。

〔市町村支援・協力〕

各市町村教育委員会からの依頼・要請に応じ、当該市町村教育委員会が直面する埋蔵文化財保護に関する各種の問題に関して、その調整会議等に参加・協力したり作業への支援を実施している。平成15年度は下記の事案等に対応した。

依頼者	内容	期日
二見町教育委員会	安養寺跡発掘調査報告書作成に関する支援	平成15年4月～
青山町教育委員会	川上ダム建設事業に伴う埋蔵文化財調査に関する協力	平成15年4月1日～
二見町教育委員会	荘遺跡の範囲確認調査に関する支援	平成15年4月1日
紀和町教育委員会	史跡赤木城跡保存整備に伴う埋蔵文化財調査に関する支援	平成15年4月7日～
大山田村教育委員会	大山田村統合小学校建設にかかる米野氏城の取り扱いに関する協議	平成15年4月10日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する支援	平成15年4月10日
青山町教育委員会	第1回川上ダム建設事業に伴う埋蔵文化財協議への出席	平成15年4月11日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する支援	平成15年4月16日
朝日町教育委員会	名谷遺跡（伝森有節竈跡）の保護に関する協議	平成15年4月22日
安濃町教育委員会	長谷山群集墳（細山田支群・丸岡A支群・同B支群・坂本A支群）の測量調査に関する支援	平成15年4月22日～24日
阿児町教育委員会	長尾遺跡発掘調査に関する支援	平成15年4月23日～
阿児町教育委員会	志摩カントリークラブ跡地利用に関する協議	平成15年4月25日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する支援	平成15年4月30日
玉城町教育委員会	県指定史跡田丸城跡発掘調査・史跡整備に関する協議	平成15年5月1日
安濃町教育委員会	長谷山群集墳測量に関する機材貸与支援	平成15年5月8日～15日
大山田村教育委員会	大山田村統合小学校建設にかかる米野氏城の範囲確認調査に関する協議	平成15年5月14日
河芸町教育委員会	三行城跡の遺跡範囲確認に関する支援	平成15年5月15日
磯部町教育委員会	磯部町新庁舎建設予定地の分布調査に関する支援	平成15年5月15・21日
小俣町教育委員会	大場遺跡の範囲確認調査に関する支援	平成15年5月16日
鈴鹿市教育委員会	長者屋敷遺跡（伊勢国府跡）調査指導委員会出席	平成15年5月16日
玉城町教育委員会	県指定史跡田丸城跡発掘調査に関する支援	平成15年5月16日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する支援	平成15年5月23日
美杉村教育委員会	多気北畠氏遺跡発掘調査に関する支援	平成15年6月～
玉城町教育委員会	県指定史跡田丸城跡発掘調査に関する支援	平成15年6月2日～
四日市市教育委員会	久留倍遺跡の取り扱いに関する協議	平成15年6月4日
美杉村教育委員会	多気北畠氏遺跡北畠氏館跡発掘調査に関する協議	平成15年6月6日
玉城町教育委員会	田丸道遺跡発掘調査に関する支援	平成15年7月1日～
いなべ市	員弁地区4町合併文化財保護担当者会への出席	平成15年7月2日
阿児町教育委員会	天神遺跡の保護に関する協議	平成15年7月7日
青山町教育委員会	第2回川上ダム建設事業に伴う埋蔵文化財協議への出席	平成15年7月29日
二見町教育委員会	野中遺跡の保護に関する協議	平成15年7月31日
松阪市教育委員会	第14回史跡宝塚古墳保存整備指導委員会出席	平成15年8月4日
紀和町教育委員会	平成15年度赤木城跡整備指導委員会出席	平成15年8月7・8日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する協議	平成15年8月12日
玉城町教育委員会	県指定史跡田丸城跡整備検討委員会出席	平成15年8月27日
松阪市教育委員会	松阪市遺跡詳細分布調査に関する支援	平成15年9月1日～
美杉村教育委員会	多気北畠氏遺跡北畠氏館跡発掘調査指導委員会出席	平成15年9月30日
鈴鹿市教育委員会	一般国道23号線中勢道路関連埋蔵文化財発掘調査に関する支援	平成15年10月1日～
紀和町教育委員会	赤木城跡の発掘調査・史跡整備に関する支援	平成15年10月1・2日
上野市教育委員会	第14回史跡上野城跡保存整備指導委員会への出席	平成15年10月22日
青山町教育委員会	川上ダム建設事業に伴う埋蔵文化財協議への出席	平成15年10月28日
玉城町教育委員会	県指定史跡田丸城跡整備に関する協議	平成15年11月10日
美杉村教育委員会	多気北畠氏遺跡発掘調査に関する協議	平成15年11月13日
河芸町教育委員会	三行城跡の工事立会調査に関する指導・支援	平成15年11月20日
松阪市教育委員会	第15回史跡宝塚古墳保存整備指導委員会出席	平成15年11月25日

磯部町教育委員会	磯部町新庁舎建設予定地の分布調査に関する支援	平成15年12月2日
紀和町教育委員会	赤木城跡の史跡整備に関する協議	平成15年12月8日
関町教育委員会	関町内の埋蔵文化財に関する協議	平成15年12月15日
紀和町教育委員会	赤木城跡の史跡整備に関する支援	平成15年12月22日
関町教育委員会	関神社周辺遺跡の範囲確認調査に関する支援	平成16年1月～
大山田村教育委員会	大山田村統合小学校建設にかかる米野氏城の発掘調査に関する協議	平成16年1月6日
大山田村教育委員会	大山田村統合小学校建設にかかる米野氏城の発掘調査に関する支援	平成16年1月13日～
楠町	楠城跡緑地公園整備計画に関する協議	平成16年1月13日
関町教育委員会	関町内の埋蔵文化財に関する協議	平成16年1月14日
紀和町教育委員会	赤木城跡発掘調査・史跡整備に関する支援	平成16年1月14・15日
関町教育委員会	関町内の埋蔵文化財の工事立会に関する支援	平成16年1月16日
磯部町教育委員会	磯部町山田地区内開発にかかる文化財保護に関する支援	平成16年1月29日
上野市教育委員会	史跡上野城跡保存整備に関する支援	平成16年2月3・19・24日
関町教育委員会	関町内の埋蔵文化財の範囲確認調査等に関する支援	平成16年2月5日
紀和町教育委員会	赤木城完成セレモニー、赤木城跡史跡整備に関する協議	平成16年2月16日
白山町教育委員会	詳細分布調査に関する支援	平成16年3月
多気町教育委員会	池ノ下遺跡範囲確認調査に関する支援	平成16年3月3日
紀和町教育委員会	赤木城跡の発掘調査・史跡整備に関する支援	平成16年3月8日
嬉野町教育委員会	国史跡天白遺跡指導員会議出席	平成16年3月10日
上野市教育委員会	前塚古墳群12号墳の調査に関する支援	平成16年3月22日
鳥羽市教育委員会	鳥羽城跡の試掘調査に関する支援	平成16年3月22日
一志町教育委員会	出土鉄製品の保存処理に関する支援	平成16年3月24日

【付】 平成 15 年度 文化財保護指導委員（文化財パトロール員）名簿

地区	氏 名	専門分野	備 考（主たる担当地域）
北勢	清水弘之	埋蔵文化財	いなべ市・東員町
	渡辺尚登	埋蔵文化財	桑名市・多度町・長島町・木曾岬町
	鎌田雅生	埋蔵文化財	四日市市・菰野町・朝日町・楠町・川越町
	浅尾 悟	埋蔵文化財	鈴鹿市・亀山市・関町
	川添 護	天然記念物	いなべ市・多度町・菰野町（北勢地区全般の天然記念物）
	桐生定巳	天然記念物	四日市市・鈴鹿市
	鈴木伸治	天然記念物	亀山市・関町（ネコギギ）
	嶋村明彦	建造物	北勢地区全般
	采尺真澄	彫刻	北勢地区全般
中勢	本堂弘之	埋蔵文化財	久居市・芸濃町・安濃町・美里村
	浅生悦生	埋蔵文化財	津市・河芸町・香良洲町
	宮田勝功	埋蔵文化財	嬉野町・一志町・白山町・美杉村
	下村純也	天然記念物	芸濃町・美里村・久居市
	東 永司	天然記念物	一志町・美杉村（中勢地区全般の天然記念物）
	大城哲也	建造物	中勢地区全般
	園田純子	彫刻	中勢地区全般
松阪	榎本義讓	埋蔵文化財	松阪市・三雲町
	前川嘉宏	埋蔵文化財	明和町・多気町・勢和村・玉城町
	増田安生	埋蔵文化財	飯南町・飯高町
	三井弘之	天然記念物	松阪市・多気町・明和町（松阪地区全般の天然記念物）
	高松隆吉	天然記念物	宮川村・飯高町
	松月久和	建造物	松阪地区全般（南志地区兼務）
	藤田直信	彫刻	松阪地区全般（南志地区兼務）
南勢志摩	大西素行	埋蔵文化財	伊勢市・二見町・御菌村・小俣町
	村上喜雄	埋蔵文化財	鳥羽市・磯部町
	田村陽一	埋蔵文化財	阿児町・志摩町・大王町・浜島町
	奥 義次	埋蔵文化財	大台町・大宮町・度会町・宮川村
	北島充生	埋蔵文化財	南勢町・南島町・紀勢町・大内山村
	橋本 清	天然記念物	伊勢市・二見町・南勢町
	坂部元宏	天然記念物	南島町・大宮町・度会町
	岡 與一	天然記念物	鳥羽市・浜島町・志摩町（南志地区全般の天然記念物）
	松月久和	建造物	南勢志摩地区全般（松阪地区と兼務）
藤田直信	彫刻	南勢志摩地区全般（松阪地区と兼務）	
上野	寺岡光三	埋蔵文化財	伊賀町・阿山町・大山田村
	市田進一	埋蔵文化財	上野市・島ヶ原村
	水口昌也	埋蔵文化財	名張市・青山町
	松月茂明	天然記念物	（オオサンショウウオ）
	杉澤 学	天然記念物	上野市・名張市・伊賀町・青山町（上野地区全般の天然記念物）
	滝井利彰	建造物	上野地区全般
	滝川和也	彫刻	上野地区全般
尾鷲	津田雄一郎	埋蔵文化財	尾鷲市・紀伊長島町・海山町
	山本和彦	天然記念物	尾鷲市・紀伊長島町・海山町
	田崎通雅	建造物・彫刻など	尾鷲地区全般
	吉田金好	熊野参詣路	大内山村・尾鷲市・紀伊長島町・海山町
熊野	福村直人	埋蔵文化財	熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町・鶴殿村
	林 伸行	天然記念物	熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町（熊野地区全般の天然記念物）
	岩本直樹	建造物・彫刻など	熊野地区全般
	花尻 薫	熊野参詣道	熊野市・御浜町・紀宝町・紀和町

平成16年度 埋蔵文化財教職員研修実施要項

1 目的

三重県の公立学校の教職員において、埋蔵文化財の発掘調査及び保存についての専門的知識と技術の習得に務めようとする者を対象として、三重県埋蔵文化財センターにおいて研修を実施することにより、埋蔵文化財保護行政の強化に資することを目的とする。

2 主催

三重県教育委員会

3 担当

三重県埋蔵文化財センター

4 期間

平成16年4月1日～平成17年3月31日

5 場所

- ・三重県埋蔵文化財センター 多気郡明和町竹川503
- ・県内各発掘調査現場等

6 人員

原則3名（県立学校教職員1名、小中学校教職員2名）

7 参加資格

- ① 県内の公立の小学校、中学校、高等学校、盲・聾・養護学校の教職員の内で、原則として大学において考古学・歴史学を専攻、もしくは発掘調査の経験のある者。
- ② 健康で現場作業に従事できる者で、原則として昭和43年4月以降生まれである者。

8 研修内容

① 講義

- 総論 ・文化財の保護
 - 各論 ・文化財保護法
 - ・史跡及び埋蔵文化財保護の現状
 - ・発掘調査方法
 - 調査計画、集落・墳墓・生産所・窯・宮殿・官衙・寺院跡の調査
 - ・遺物調査方法
 - 実測原理、土器・土製品・石器・木製品・瓦の観察と整理
 - 人骨・動植物遺体の調査
 - ・関係学概説
 - 建築構造、測量、保存科学、文献史学
 - ・報告書作成方法等
- ② 実習 ・発掘調査実習、測量実習、遺構実測実習、写真撮影実習、遺物保存処理実習

9 講師

三重県埋蔵文化財センター職員ほか

10 その他

- ① 研修者の出張旅費は、県の旅費規定にしたがって支給する。
- ② 研修期間中は、当該学校に対して常勤講師の補充がなされる予定である。
- ③ 研修を終了した者は、修了証書を交付する。

平成16年度 埋蔵文化財教職員研修 年間計画表

三重県埋蔵文化財センター

内容	月												
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
室内講義Ⅰ	—												
室内講義Ⅱ	—												
基本実習	—	—											
発掘調査実習													
分布調査実習	—												
試掘調査実習													
室内講義Ⅲ													
報告書作成実習													
研修場所	センター ほか	県下各発掘調査現場・センターほか										センターほか	

〔市町村職員研修実施要項〕

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修実施要項

1 目的

この研修は、各市町村において文化財保護行政を担当する者が、埋蔵文化財の保護実務と調査に関する知識や技術を習得し、文化財保護体制を強化することを目的とする。

2 主催

三重県埋蔵文化財センター

3 対象者

研修の対象者（以下「研修員」という）は、原則として市町村教育委員会の文化財保護行政の担当職員とする。

4 場所

三重県埋蔵文化財センター及び県内各地の埋蔵文化財発掘調査現場等

5 実施時期

実施時期（各講座の履修方法）は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する（別表〔受講例参照〕）。

6 研修の内容

研修の内容は、別表「研修内容」のとおりとする。

7 研修員の決定

(1) 市町村教育委員会教育長は、職員に研修を受けさせようとするときは、別紙様式の「研修希望調書」を三重県埋蔵文化財センター所長（以下「所長」という）に提出するものとする。

(2) 所長は、「研修希望調書」を受けた場合、その受け入れの可否を定め、研修を希望する市町村教育長に通知するものとする。

8 修了者

所長は、研修員が全研修課程を修了し、発掘調査を担当する技術を習得したと認める時は、修了証書を交付する。

9 研修に要する費用

(1) 研修員の旅費は、研修員派遣機関において負担するものとする。

(2) 所長は、研修に必要な資料等の経費について、研修員派遣機関に実費負担を求めることができる。

10 その他

前各項に定めるもののほか、研修の実施について必要な事項は、所長が別に定める。

(附則)

この要項は、平成12年7月3日から実施する。

この要項は、平成15年2月1日から改定する。

(別 表)

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修 研修内容

講座名	期 間	研 修 内 容
講座 I	30日間程度	関連法令や調査手順等の実習 ・関連法令等の概要 ・分布調査 ・範囲確認調査 ※研修期間中に実施できなかった場合は、その後随時研修をおこなう。 ・遺跡台帳の整備等
講座 II a	2 ヶ 月 間程度	本調査実習 ・基準測量や地区設定等 ・調査前や調査作業の撮影 ・土層の判断や遺構の検出 ・遺構の掘削 ・出土遺物の取り上げ方等 ・土層の判断や遺構の検出 ・遺構の掘削 ・出土遺物の取り上げ方 ・遺構の実測や撮影 ・遺物出土状況の実測や撮影等
講座 II b	2 ヶ 月 間程度	基本的には講座 II a と同じ内容であるが、市町村職員が主体的に発掘調査をおこなう。
講座 III	2 ヶ 月 間程度	発掘調査資料の整理や保管の実習 ・遺構図面や写真等の整理 ・出土遺物の分類整理 ・遺物実測等
講座 IV	2 ヶ 月 間程度	報告書作成作業の実習 ・遺物写真撮影 ・遺構や遺物の図版作成 ・原稿執筆 ・レイアウト等

【注】

- ① 講座 I は、基本的に研修の当初に受講するものとするが、講座修了者と同等の知識と技術を有すると認める者については省略することができる。
- ② 各講座の取得方法及び実施時期および期間は、研修員派遣機関と協議のうえ決定する。

【参 考】

受講例

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
例1		I		II a		II b		III		IV									
例2		I				II a		II b							III				IV

平成 15 年 2 月 1 日
三重県埋蔵文化財センター

(別紙様式)

〇〇〇第〇〇〇号
平成〇年〇月〇日

三重県埋蔵文化財センター所長 様

〇〇市町村教育委員会教育長

印

研 修 希 望 調 書

三重県埋蔵文化財発掘調査市町村職員研修を次のとおり希望します。

希望する講座名				
研修希望期間		年 月 日から 年 月 日まで		
研 修 希 望 職 員	ふりがな 職 氏 名		性別	男・女
	生年月日 (年齢)	(歳)		
	現職年数	年 (年 月以来)		
	最終学歴	学校名 (学部 学科)		
	発掘調査経験 (参加遺跡)	(有 無)		
過去に県埋蔵文化財センター で受けた市町村職員研修		有 無	昭和 平成	年度 講座名
その他希望事項				

IV 平成15年度発掘調査

1 発掘調査一覧

〔全県下の発掘調査〕

調査機関	本調査			範囲確認調査			工事立会			総調査面積(m ²)	
	遺跡数	件数	調査面積(m ²)	遺跡数	件数	調査面積(m ²)	遺跡数	件数	調査面積(m ²)		
県	埋蔵文化財センター	26	17	34,738.00	40	43	2,374.35	11	14	1,338.35	38,450.70
	斎宮歴史博物館	1	21	2,586.30	0	0	0.00	0	0	0.00	2,586.30
市町村教育委員会		41	51	62,091.26	82	100	9,473.20	56	69	20,561.06	92,125.52
	全県計	68	89	99,415.56	122	143	11,847.55	67	83	21,899.41	133,162.52

- * 1 遺跡数について、古墳群は本調査では古墳1基=1遺跡としているが、範囲確認調査及び工事立会では古墳群=1遺跡として数えている。
- * 2 件数は、県(埋蔵文化財センター、斎宮歴史博物館)本調査の場合文化財保護法に定められている所の届出数を、範囲確認調査及び立会調査はそれぞれの結果報告の数を挙げている。市町村教育委員会の件数は、当センターへ報告を受けた数を挙げている。
- * 3 調査面積は、本年報に掲載した数字を足したものである。

〔県埋蔵文化財センター担当の発掘調査〕

事業名	件数			調査面積(m ²)	
	本調査	範囲確認調査	工事立会		
県事業関係	農林水産商工部関係	5	16	2	10,554.89
	県土整備部関係	11	19	6	17,701.35
	その他	0	7	3	667.00
国・公団事業関係	近畿自動車道名古屋神戸線(第二名神)建設事業	0	0	0	0.00
	一般国道23号中勢道路建設事業	2	1	3	9,527.46
	国営宮川用水第2期土地改良事業	0	0	0	0.00
	計	17	43	14	38,450.70

- * 1 件数は、本調査の場合文化財保護法に定められている所の届出数を、範囲確認調査及び立会調査はそれぞれの結果報告の数を挙げている。
- * 2 本調査の件数のうち1件は農林水産商工部関係と県土整備部関係の両事業が重複しているため、双方で各1件ずつとして数えている。従って、各事業毎の本調査件数の和は18となるが、実質は17件である。

〔県埋蔵文化財センター担当の本調査〕

(※は国・県補助事業)

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積(m ²)
1	志知南浦遺跡(第2次)	桑名市志知	(主)桑名大安線緊急地方道路整備事業	県土整備部	2,138
2	国分北遺跡(第3次)	鈴鹿市国分町	(主)四日市鈴鹿環状線地方特定道路整備事業	県土整備部	1,977
3	岩瀬遺跡(第2次)	亀山市三寺町	経営体育成基盤整備事業(三寺地区)	農林水産商工部※	420
4	嶋ノ前遺跡(第2次)	亀山市三寺町	経営体育成基盤整備事業(三寺地区)	農林水産商工部※	330
5	替田遺跡(第7次)	津市南河路	国道163号南河路BP国補道路特殊改良事業	県土整備部	1,403
6	西肥留遺跡	一志郡三雲町	(一)嬉野津線地方特定道路整備事業	県土整備部	1,303
7	中林・中道遺跡 C地区	一志郡三雲町	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	2,190
8	小津遺跡 B地区	一志郡三雲町	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	5,270
9	小津遺跡 東地区	一志郡三雲町	一般国道23号中勢道路建設事業	国土交通省中部地方整備局	1,890
10	天王山1号墳・天王山遺跡	松阪市豊原町	(一)松阪環状線緊急地方道路整備事業	県土整備部	4,520

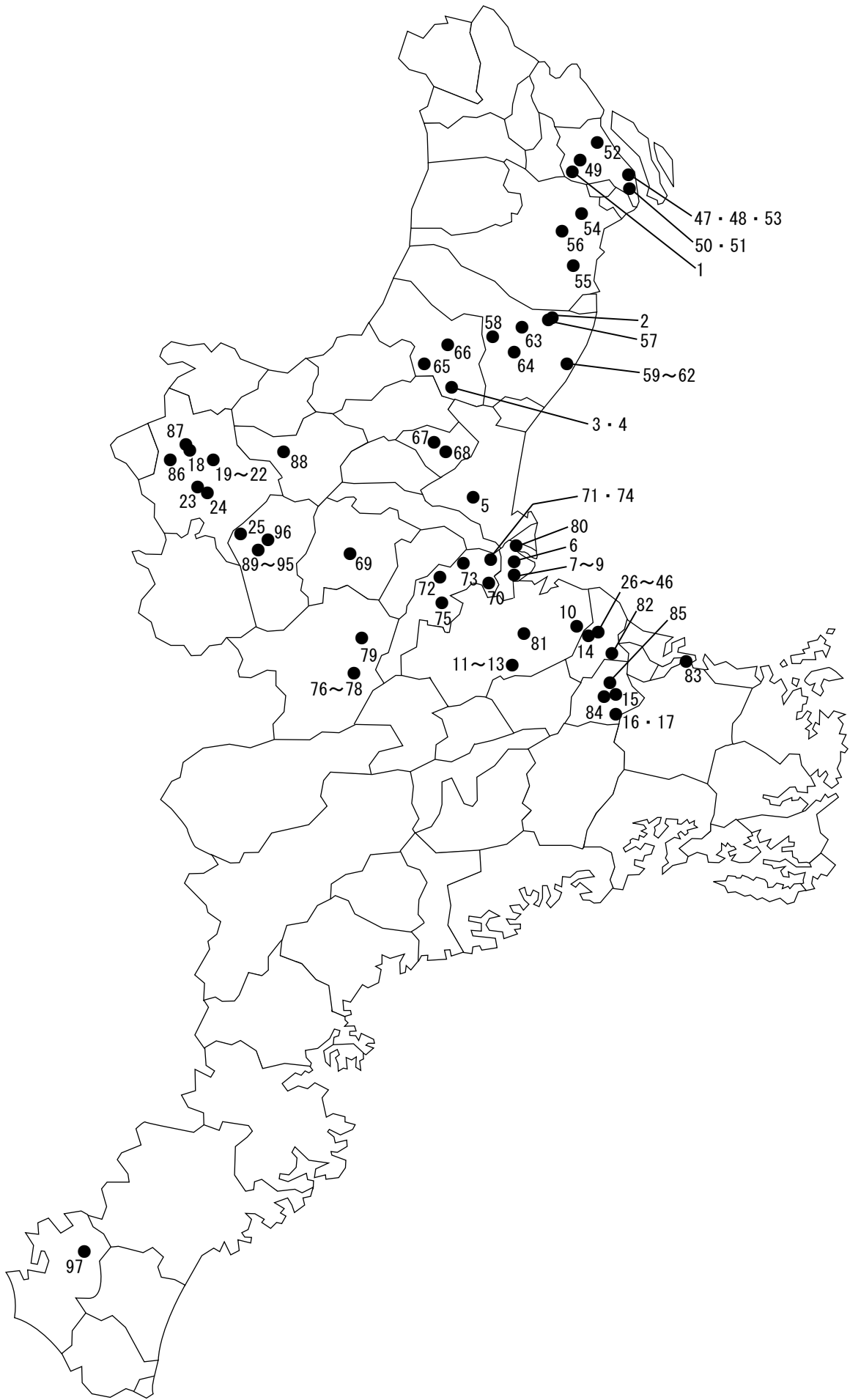
11	大原堀遺跡(第3次)	松阪市広瀬町	県営中山間地域総合整備事業 (茅広江地区)	農林水産商工部※	812
12	スブクリ遺跡	松阪市広瀬町	県営中山間地域総合整備事業 (茅広江地区)	農林水産商工部※	407
13	戸井口遺跡	松阪市広瀬町	県営中山間地域総合整備事業 (茅広江地区)	農林水産商工部※	2,600
14	金剛坂里中遺跡	多気郡明和町	(一)多気(T)斉明線緊急地 方道路整備事業	県土整備部	961
15	佐田南浦遺跡(第2次)	度会郡玉城町	玉城駅前線地方特定道路整備事 業	県土整備部	520
16	岩出遺跡群 清水地区	度会郡玉城町	一般農道整備事業(玉城南部地 区)	農林水産商工部	100
17	岩出遺跡群(第6次)ケカノ辻 地区	度会郡玉城町	一般農道整備事業(玉城南部地 区)	農林水産商工部	65
18	上野城下町遺跡(第3次)	上野市恵美須町	伊賀上野橋新都市線街路(補 修)工事事業	県土整備部	100
19	宮ノ前遺跡(第2次)	上野市荒木	服部川単河川局改良事業、 経営体育成基盤整備事業(中瀬 川南地区)	県土整備部 農林水産商工部※	2,492
20	寺前遺跡(第2次)	上野市荒木	経営体育成基盤整備事業(中瀬 川南地区)	農林水産商工部※	233
21	服部氏館跡	上野市荒木	経営体育成基盤整備事業(中瀬 川南地区)	農林水産商工部※	502
22	荒木氏館跡	上野市荒木	経営体育成基盤整備事業(中瀬 川南地区)	農林水産商工部※	1,680
23	天童山古墳群(8・13号墳)	上野市上郡	(一)上野島ヶ原線緊急地方道 路整備事業	県土整備部	1,389
24	三石代遺跡	上野市下神戸	(一)上野島ヶ原線緊急地方道 路整備事業	県土整備部	776
25	上後瀬遺跡	名賀郡青山町	松阪青山線地方特定道路整備事 業	県土整備部	660

〔斎宮歴史博物館担当の本調査〕

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積 (㎡)
26	斎宮跡第140次計画調査	多気郡明和町	学術調査	三重県※	525
27	斎宮跡第141次計画調査	多気郡明和町	学術調査	三重県※	505
28	斎宮跡第142-1次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	3.5
29	斎宮跡第142-2次調査	多気郡明和町	水道管改修	明和町	33
30	斎宮跡第142-3次調査	多気郡明和町	水道管改修	明和町	30
31	斎宮跡第142-4次調査	多気郡明和町	建物建築	明和町※	136
32	斎宮跡第142-5次調査	多気郡明和町	道路新設	明和町※	236
33	斎宮跡第142-6次調査	多気郡明和町	建物建築	明和町※	33
34	斎宮跡第142-7次調査	多気郡明和町	公民館改修等	明和町※	330
35	斎宮跡第142-8次調査	多気郡明和町	住宅改築等	明和町※	13
36	斎宮跡第142-9次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	5.2
37	斎宮跡第142-10次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	5.8
38	斎宮跡第142-11次調査	多気郡明和町	建物建築	明和町※	154
39	斎宮跡第142-12次調査	多気郡明和町	建物建築	明和町※	8
40	斎宮跡第142-13次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	3
41	斎宮跡第142-14次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	3
42	斎宮跡第142-15次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	2
43	斎宮跡第142-16次調査	多気郡明和町	住宅増築	明和町※	480
44	斎宮跡第142-17次調査	多気郡明和町	建物改築	明和町※	45
45	斎宮跡第142-18次調査	多気郡明和町	建物建築等	明和町※	32
46	斎宮跡第142-19次調査	多気郡明和町	浄化槽設置	明和町※	3.8

[市町村担当の本調査]

No.	遺跡名	所在地	調査原因	費用負担	調査面積 (㎡)
47	桑名城下町遺跡	桑名市元赤須賀	個人住宅	桑名市	47.39
48	桑名城下町遺跡	桑名市一色町	個人住宅	桑名市	75
49	七和廃寺跡	桑名市芳ヶ崎、森忠	宅地開発	事業者	1,118
50	寺跡遺跡	桑名市大福	個人住宅	桑名市	65.41
51	江場貝戸遺跡	桑名市江場	江場安永線街路事業道路拡張工事	桑名市	220
52	西山遺跡	桑名市下深谷部	店舗併用住宅	桑名市	10.46
53	桑名城下町遺跡	桑名市内堀	個人住宅	桑名市	
54	久留倍遺跡(第4次)	四日市市大矢知町	一般国道1号北勢バイパス建設	国土交通省	15,300
55	赤堀城跡(第5次)	四日市市城東町、赤堀二丁目	市道改良	四日市市	516
56	西ヶ谷遺跡(第5次)	四日市市東坂部町	市道改良	四日市市	367
57	伊勢国分寺跡(第29次)	鈴鹿市国分町	学術調査(史跡整備)	鈴鹿市※	2,374
58	伊勢国府跡(第18-1・2次)	鈴鹿市広瀬町・西富田町	学術調査	鈴鹿市※	950
59	天王遺跡(第11-1次)	鈴鹿市岸岡町	病院施設建設	法人・事業者	900
60	天王遺跡(第11-2次)	鈴鹿市岸岡町	病院施設建設	法人・事業者	1,400
61	天王遺跡(第11-3次)	鈴鹿市岸岡町	病院施設建設	法人・事業者	300
62	天王遺跡(第12次)	鈴鹿市岸岡町	寮・福祉ホーム施設建設	法人	803.2
63	加佐登遺跡	鈴鹿市	住宅兼店舗	鈴鹿市※・個人	111.2
64	平野遺跡	鈴鹿市	個人住宅建設	鈴鹿市※	72.6
65	於登志遺跡	亀山市山下町	一般国道1号関バイパス建設	国土交通省	450
66	亀山城跡(第11次)	亀山市本丸町	小学校改築事業	亀山市	4,100
67	小野口遺跡	安芸郡安濃町	宗教法人本部建設事業	法人	1,244
68	ゆふけ遺跡	安芸郡安濃町	幼稚園園舎増築工事	安濃町	260
69	野田浦遺跡(第2次)	一志郡白山町	学術調査	三重大学	400
70	柏木遺跡	一志郡嬉野町	一般国道23号中勢道路建設	国土交通省	2,450
71	赤部遺跡	一志郡嬉野町	一般国道23号中勢道路建設	国土交通省	6,300
72	焼野遺跡	一志郡嬉野町	町道建設	嬉野町	4,500
73	御所垣内遺跡	一志郡嬉野町	学校建設	嬉野町	600
74	赤部遺跡2次調査	一志郡嬉野町	工場建設	嬉野町	200
75	天白遺跡	一志郡嬉野町	史跡整備	嬉野町※	400
76	多気北畠氏遺跡第23次(北畠氏館跡第11次)	一志郡美杉村	学術調査	美杉村※	350
77	多気北畠氏遺跡第25次(六田館跡第2次)	一志郡美杉村	住宅建設	美杉村※	約70
78	多気北畠氏遺跡第24次(小田地区第5次)	一志郡美杉村	防火水槽設置	美杉村	70
79	伝塚原卜伝屋敷跡	一志郡美杉村	公園整備事業	美杉村	約10
80	小野江・甚目遺跡(第2次)	一志郡三雲町	共同住宅造成工事	個人	110
81	宝塚2号墳	松阪市宝塚町	史跡整備	松阪市※	54
82	安養寺跡	多気郡明和町	特別養護老人ホームの建設	法人	4,880
83	大湊中須新田経塚(203-338)隣接地	伊勢市大湊町	公園造成	伊勢市	52
84	田丸城跡	度会郡玉城町	田丸城址遊歩道整備	玉城町	400
85	田丸道遺跡	度会郡玉城町	町道中楽朝久田線および松阪伊勢自転車道の建設	玉城町	865
86	十王下遺跡(2次)	上野市長田	小学校運動場拡張工事	上野市	約800
87	国史跡上野城跡(10次)	上野市丸之内	学術調査(保存整備)	上野市※	約350
88	赤川遺跡A(仮)	阿山郡大山田村	学校建築	大山田村	620
89	川上中縄手遺跡 I地区	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	1,756
90	川上中縄手遺跡 D地区	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	1,743
91	川上中縄手遺跡 E地区	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	1,040
92	川上中縄手遺跡 F地区	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	246
93	川上宮垣内中世墓	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	176
94	川上中縄手遺跡 B地区(3次)	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	2,705
95	川上奥深瀬B炭焼窯	名賀郡青山町	川上ダム建設事業	独立行政法人水資源機構	50
96	老川岡部炭焼窯	名賀郡青山町	川上ダム建設事業に伴う県道松阪青山線新設工事	独立行政法人水資源機構	50
97	赤木城跡及び田平子刑場跡	南牟婁郡紀和町	学術調査(保存整備)	紀和町※	160



2 発掘調査の概要

県（三重県埋蔵文化財センター）担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

No.	1	遺跡名	志知南浦遺跡(第2次)	台帳番号	205-59
所在地	桑名市大字志知字南浦他			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(主)桑名大安線緊急地方道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	水本龍治 酒井巳紀子
調査期間	平成15年9月26日～平成16年2月27日			調査面積	2,138㎡
調査概要	当遺跡は、員弁川中下流の南岸に位置し、沖積地上に立地する。第1次調査で中世の区画溝で囲まれた屋敷地を確認していたが、今回の調査で屋敷地がさらに東方まで広がっていることがわかった。今回確認した屋敷地内では、井戸と掘立柱建物を複数、火葬墓を1基検出した。屋敷地の内法は半町の54mで、区画溝からは、山茶碗、播鉢等の多数の日常雑器と漆碗や天目茶碗、墨書土器、下駄が出土した。墓は建物の隣にあり、1.1m×0.9mの方形土坑で内壁は焼土化し、1体分の火葬骨を炭化物とともに検出した。北首西顔させた熟年男性の右側臥居葬と推定され、胸部付近には布袋に入れられた12枚の銅貨を確認した。				
主な遺構	奈良時代:土坑2基 平安時代:区画溝1条 鎌倉時代から戦国時代:区画溝、溝20余条、井戸9基、掘立柱建物数棟、火葬墓1基、土坑30基				
主な遺物	奈良時代:須恵器、暗文土師器皿、志摩式製塩土器 平安時代:巡方、灰釉陶器、土師器 鎌倉時代から戦国時代:山茶碗、青磁、土師器、土鏝、常滑甕、播鉢、緑釉小皿、卸皿、羽釜、天目茶碗、石鍋、石硯、漆碗、下駄、曲物、銅貨、鹿骨				
関連文献	『桑名市遺跡分布地図』桑名市教育委員会1995 / 『2002年度現地説明会資料』三重県埋蔵文化財センター2002.12.21 / 『2003年度現地説明会資料』三重県埋蔵文化財センター2004.1.17				
No.	2	遺跡名	国分北遺跡(第3次)	台帳番号	207-536
所在地	鈴鹿市国分町			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(主)四日市鈴鹿環状線地方特定道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小倉 整
調査期間	平成15年6月6日～10月8日			調査面積	1,977㎡
調査概要	当遺跡は国史跡伊勢国分寺跡から北東650mに位置する。今回の調査では平安時代後期(10世紀)を中心とする掘立柱建物を計13棟検出した。調査区北側では2条の溝とピット列が5.4～5.6mの間隔で平行して走っており、道路遺構の可能性もある。掘立柱建物のうち1棟は棟方向がこの溝の方向に沿う。調査区南側では鎌倉～室町時代(14世紀)の区画溝を確認した。遺物は主に区画溝や包含層からの出土で、多量の布目瓦や軒丸瓦・軒平瓦の瓦当が少数ながら出土した他、緑釉陶器・灰釉陶器・須恵器・土師器・山茶碗・石帯なども出土した。				
主な遺構	掘立柱建物(10世紀前後)、区画溝(14世紀)、道路、土坑				
主な遺物	瓦、灰釉陶器、緑釉陶器、山茶碗、土師器、須恵器				
関連文献	『鈴鹿市遺跡地図』鈴鹿市教育委員会1986				
No.	3	遺跡名	岩瀬遺跡(第2次)	台帳番号	210-130
所在地	亀山市三寺町岩瀬			事業主体	農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	経営体育成基盤整備事業(三寺地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山口聡嗣 酒井巳紀子
調査期間	平成15年7月22日～9月16日			調査面積	420㎡
調査概要	今回の調査地点は中ノ川右岸にある水田に位置し、多数のピットや溝・土坑・井戸などの遺構を検出した。井戸は岩盤をくりぬいて作ったためか、幅は検出面が最小で最深部が最大の、断面がほぼ台形を呈す。ピット群は粘土と砂が混在して固くしまった地層上に集中して見られ、重複しながら6～7棟の掘立柱建物が建っていたことが想定できる。井戸からは土師器(南伊勢系鍋等を含む)・漆碗・まぐわ・折敷底板などがまとまって出土した他、山茶碗・陶器・磁器・土師器なども出土した。このことから、今回検出した遺構は、鎌倉時代から室町時代にかけてのものと考えられる。				
主な遺構	井戸、掘立柱建物、柵列、溝、土坑				
主な遺物	鎌倉～室町:山茶碗、南伊勢系土師器(鍋・羽釜)、土師器、陶器(播鉢など)、磁器、木製品(漆碗・まぐわ・折敷の底板)				
関連文献					
No.	4	遺跡名	嶋ノ前遺跡(第2次)	台帳番号	210-未登録
所在地	亀山市三寺町嶋ノ前			事業主体	農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	経営体育成基盤整備事業(三寺地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山口聡嗣 酒井巳紀子
調査期間	平成15年7月22日～9月16日			調査面積	330㎡(下層80㎡を含む)
調査概要	今回の調査地点は中ノ川右岸にある水田に立地する。上層ではピット・溝・土坑などの遺構が確認され、これらのピット群からは柱列や掘立柱建物が想定される。出土遺物は、山茶碗・土師器(南伊勢系鍋など)・陶器・磁器などで、このことから上層の遺構は鎌倉時代から室町時代のものと考えられる。下層では土坑数基を確認した。出土遺物は見られなかったものの、平成13年度の調査結果と考え合わせれば、土坑の1基は縄文時代後期のおとし穴と推定される。				
主な遺構	上層:ピット、柱列(掘立柱建物)、溝、土坑 下層:土坑、おとし穴				
主な遺物	鎌倉～室町:山茶碗、土師器(南伊勢系鍋など)、陶器、磁器				
関連文献					

No.	5	遺跡名	替田遺跡(第7次)	台帳番号	201-759
所在地	津市南河路			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	国道163号南河路BP国補道路特殊改良事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松田珠美
調査期間	平成15年5月16日～9月16日			調査面積	1,403㎡
調査概要	調査区は、安濃川右岸に広がる水田地帯に所在し、南河路集落の南側にあたる。今回の調査では、13世紀前半を中心とした中世の遺構を確認した。条里地割に即した東西方向の溝が、坪界付近で南北方向溝と交わる様相を呈している。溝を挟んで北と南に素掘りの井戸があり、このうちの1基から木製品や植物の種子が出土した。また、調査区中央部北側で、底部が割られた常滑産の大甕が出土した。この周囲には土師器皿があり、内部には刀子が内蔵されていたことから、中世墓と判断した。調査区南側には、少なくとも2棟の掘立柱建物が存在したと考えられる。出土した山茶碗には墨書が多く見られ、当遺跡の南側に所在する里前遺跡出土の墨書土器と類似した傾向を示している。				
主な遺構	区画溝、土坑、井戸(素掘り)、掘立柱建物、中世墓				
主な遺物	山茶碗、山皿、土師器皿、土師器鍋、常滑産大甕、木製品(曲物の底部・網代編み物・漆塗り碗など)、漆塗りの鞘入り刀子				
関連文献					
No.	6	遺跡名	西肥留遺跡	台帳番号	407-6
所在地	一志郡三雲町肥留			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(一)嬉野津線地方特定道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	辻本泰宏 川崎志乃
調査期間	平成15年10月10日～平成16年2月10日			調査面積	延べ1,303㎡(下層53㎡含む)
調査概要	当遺跡は、雲出川下流右岸の水田地帯に位置する。今回の調査では、6世紀前半を中心とした古墳時代の遺構が確認された。主な遺構は調査区北部に集中している。調査区中央部付近から以南は土層の堆積が不安定となり、検出した遺構は少なかったが、溝や畦畔状遺構が確認された。				
主な遺構	竪穴住居、井戸、溝、土坑、ピット、水田				
主な遺物	土師器、須恵器、山茶碗、井戸枠(準構造船の船体を転用したものも有)				
関連文献					
No.	7	遺跡名	中林・中道遺跡 C地区	台帳番号	407-14
所在地	三重県一志郡三雲町中林・中道			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業			費用負担	国土交通省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	五嶋史佳 川畑由紀子 坂佳彦
調査期間	平成15年9月16日～平成16年2月6日			調査面積	2,190㎡
調査概要	遺跡は雲出川と三渡川に挟まれた沖積平野にある微高地上に立地する。今回の調査では、平安時代と中世の遺構を確認した。平安時代の遺構は、建物方向を揃えた掘立柱建物10棟以上を検出した。出土遺物には緑釉陶器や製塩土器なども見られることもあり、一般集落とは考えがたい。このほか、横板を方形に組んだ井桁に、一木削り抜きの井筒を持つ井戸を検出した。中世の遺構は15世紀後半～16世紀前半に属し、区画溝により方形に囲まれた区画地内に土坑・井戸が検出された。ピットも多数あることから、掘立柱建物が複数棟建っていたものと思われる。				
主な遺構	平安時代:掘立柱建物10棟以上、井戸、土坑 中世:溝、井戸、土坑				
主な遺物	平安時代:土師器杯・灰釉陶器・緑釉陶器・黒色土器(墨書あり)・製塩土器・漆碗 中世:土師器類(鍋・皿)・陶器類(すり鉢・甕など)・双六駒(陶器転用)				
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XⅢ』三重県埋蔵文化財センター2001 / 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XⅣ』三重県埋蔵文化財センター2002 / 『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XⅤ』三重県埋蔵文化財センター2003 / 『中勢道路調査ニュース No.42』三重県埋蔵文化財センター2004				
No.	8	遺跡名	小津遺跡 B地区	台帳番号	407-21
所在地	三重県一志郡三雲町小津			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業			費用負担	国土交通省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	福島伸孝 瀬野弥知世
調査期間	平成15年5月12日～平成16年2月19日			調査面積	5,270㎡
調査概要	当遺跡は、雲出川と三渡川に挟まれた沖積地に位置する。本調査区の西側、昨年度調査区では区画溝に囲まれた区画地が6区画確認されている。本年度の調査でも区画溝や区画地のつづきを確認した。遺構は調査区の南西部に集中し、井戸2基(石組み・曲物あり、素掘り・竹製のたが)をはじめ掘立柱建物の柱穴、直径1.5m程度の円形土坑を確認した。一方、東西にのびる溝を境に調査区の北部から東部にかけては、遺構が減少する。東西方向にのびる溝が集落の東端であった可能性がある。また、調査区の南西部では昨年に引き続き下層確認調査を実施し検出を行ったが、ピットは浅く、遺物も出土しなかった。				
主な遺構	区画溝(15世紀後半～16世紀前半)、溝、円形土坑、掘立柱建物の柱穴、井戸(石組み・曲物あり、素掘り・竹製のたが)				
主な遺物	土師器(鍋・羽釜・小皿)、ロクロ土師器皿、陶器(碗・甕・こね鉢・すり鉢)、陶器(三足香炉・仏花瓶・卸目大皿・卸小皿)、青磁、土鏝、土師質サイコロ、砥石、五輪塔、木製品(竹製のたが・しゃもじ形・曲物・下駄)、石器				
関連文献	『一般国道23号中勢道路埋蔵文化財発掘調査概報XⅤ』三重県埋蔵文化財センター2003 / 『中勢道路調査ニュース No.42』三重県埋蔵文化財センター2004				

No.	9	遺跡名	小津遺跡 東地区	台帳番号	407-21
所在地	三重県一志郡三雲町小津			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
調査原因	一般国道23号中勢道路建設事業			費用負担	国土交通省
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	柴山圭子 坂 佳彦
調査期間	平成15年5月12日～8月27日			調査面積	1,890㎡
調査概要	室町時代後半の溝や土坑を検出した。小津遺跡A～C地区の調査で検出した当該時期の溝で区画された集落跡などは、東地区では確認できなかった。				
主な遺構	溝、土坑など				
主な遺物	山茶碗、山皿、土師器鍋、近世陶器、瓦片など少量				
関連文献	『一般国道23号中勢道路 埋蔵文化財発掘調査概報 X V』三重県埋蔵文化財センター2003 / 『中勢道路調査ニュース No.42』三重県埋蔵文化財センター2004				
No.	10	遺跡名	天王山1号墳・天王山遺跡	台帳番号	207-70、未登録
所在地	松阪市豊原町字天王他			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(一)松阪環状線緊急地方道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	中川明 浅生卓司
調査期間	平成15年5月16日～12月19日			調査面積	4,520㎡
調査概要	松阪市南東部の櫛田川下流左岸に広がる遺跡で、丘陵斜面に立地する。今回の調査で丘陵東側斜面に30棟の弥生～奈良時代の竪穴住居を検出した。また竪穴住居跡と重複して、4基以上の古墳を確認した。このうち天王山1号墳は5世紀後半の直径18mの円墳で、標高36mの丘陵頂から北側尾根の端部で確認し、主体部から蛇行剣と鉄鏃が出土した。残る古墳は終末期のものである。				
主な遺構	弥生墳丘墓、円墳・周溝、竪穴住居(煙道付竈を有す)、掘立柱建物				
主な遺物	弥生土器(山中式・壺・甕・高杯・鳥形土器)、円筒埴輪、土師器(杯・高杯・甕・甑・注口付鉢)、須恵器(杯・蓋・高杯・壺・甕)、円面硯				
関連文献	『松阪市史 第2巻 史料編 考古』松阪市史編さん委員会1978				
No.	11	遺跡名	大原堀遺跡(第3次)	台帳番号	204-555
所在地	松阪市広瀬町字大原堀			事業主体	農林水産商工部 むらの活力づくり支援チーム
調査原因	県営中山間地域総合整備事業(茅広江地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小山憲一 大村伸一
調査期間	平成15年6月16日～8月11日			調査面積	延べ812㎡(下層405㎡含む)
調査概要	大原堀遺跡は、櫛田川中流域左岸の河岸段丘上に立地する。今回調査区は、伊勢自動車道の西側に位置するBⅠ地区で、14年度調査を行ったBⅡ地区の北側隣接地である。検出面は2面あり、検出した遺構のうち時期が判明したものは、縄文時代と平安時代に大別される。土坑SK10では、縄文中期末～後期初頭の土器が出土した。調査区の北半部で確認した落ち込みSZ14からは、縄文時代中期～晩期の土器や石鏃・石錘・礫器・敲石・磨石・磨製石斧などの石器が出土した。また、掘立柱建物SB17は、5間以上×2間の南北棟で、棟方向はほぼ磁北を示す。出土遺物は乏しいものの、概ね平安時代後半頃の建物跡と思われる。土坑SK15では、底部外面に「東」と墨書された完形の土師器皿と、ほぼ完形の鉄製紡錘車が出土し、土師器皿から平安時代中期頃の遺構と考えられる。その他、包含層からは縄文時代中期前半の東海系土器や石鏃・石匙・赤色顔料付着敲石・磨石・礫器・石錘などの石器、土師器、ロクロ土師器、山茶碗、製塩土器などが出土している。				
主な遺構	掘立柱建物、土坑、ピット、落ち込みなど				
主な遺物	石器(石鏃・石錘・磨製石斧・赤色顔料付着敲石・磨石・礫器・砥石など)、縄文土器(中期～晩期)、土師器(平安)、ロクロ土師器、山茶碗、製塩土器、鉄製紡錘車など				
関連文献	『松阪市史 第二巻 史料篇 考古』松阪市史編さん委員会1978 / 田村陽一「大原堀遺跡」『近畿自動車道(久居～勢和)埋蔵文化財発掘調査報告-第1分冊 1-』三重県教育委員会1989 / 『平成14年度 三重県埋蔵文化財年報』三重県埋蔵文化財センター2003				
No.	12	遺跡名	スブクリ遺跡	台帳番号	204-未登録
所在地	松阪市広瀬町字スブクリ			事業主体	農林水産商工部 むらの活力づくり支援チーム
調査原因	県営中山間地域総合整備事業(茅広江地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小山憲一
調査期間	平成15年8月18日～26日			調査面積	407㎡
調査概要	当遺跡は、櫛田川中流域左岸の河岸段丘上に立地する。今回調査区は、広瀬集落の北側丘陵端部に位置し、現況は二枚の棚田である。調査の冒頭に、調査区北壁沿いにトレンチを設定し、土層観察によって旧地形の把握を行った結果、掘削および埋め立てのため旧地形が大きく変わっていたことがわかった。上段の調査区は、丘陵斜面を削平した部分とその排土で谷筋の湿地を埋め立てて棚田を造成した場所で、出土した中～近世の土師器や陶器などの遺物はいずれも湿地を埋め立てた土からの出土である。下段の調査区については、耕作土直下で砂礫層に達することから、大幅に地山面が削平された場所と判断した。以上のことから、上段・下段のいずれも遺構検出面は存在しないと判断して調査を終了した。				
主な遺構	なし				
主な遺物	中世～近世:土師器、陶器				
関連文献					

No.	13	遺跡名	戸井口遺跡	台帳番号	204-未登録
所在地	松阪市広瀬町字戸井口			事業主体	農林水産商工部 むらの活力づくり支援チーム
調査原因	県営中山間地域総合整備事業(茅広江地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	奥野 実 大村伸一
調査期間	平成15年5月16日～11月25日			調査面積	2,600㎡
調査概要	当遺跡は、櫛田川左岸の河岸段丘上に立地する。江戸時代前期(17世紀後半)の掘立柱建物(「建物内土坑」をもつ)や土坑・溝などが確認された。県内では、この時期の集落跡が調査されることが少なく、貴重な調査例となった。				
主な遺構	江戸時代前期:掘立柱建物2棟、土坑4基、溝1条など				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、土師器(皿・焙烙・十能)、山茶碗、陶器(皿・播鉢)、天目茶碗など				
関連文献	『松阪市史第2巻 史料編 考古』松阪市史編さん委員会1978				
No.	14	遺跡名	金剛坂里中遺跡	台帳番号	442-200
所在地	多気郡明和町金剛坂			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(一)多気(T)斉明線緊急地方道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	辻本泰宏 川崎志乃
調査期間	平成15年5月16日～8月7日			調査面積	961㎡
調査概要	当遺跡は、祇川右岸の台地上に位置する。弥生時代末～古墳時代初頭の方形周溝墓、中世以降と思われる土坑・溝が確認された。当地域の弥生時代末～古墳時代初頭の墓制について考察する上での貴重な資料を得ることができた。				
主な遺構	弥生時代末～古墳時代初頭:方形周溝墓2基 中世以降:土坑2基、溝3条				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、古墳時代:土師器・須恵器、中世以降:土師器・山茶碗				
関連文献	『金剛坂里中遺跡発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター2004				
No.	15	遺跡名	佐田南浦遺跡(第2次)	台帳番号	461-436
所在地	度会郡玉城町佐田南浦			事業主体	県土整備部 都市基盤チーム
調査原因	玉城駅前線地方特定道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	小山憲一
調査期間	平成15年10月16日～平成16年1月15日			調査面積	520㎡
調査概要	佐田南浦遺跡は、外城田川左岸の低位段丘上の平地に立地する。西方約500mに県史跡田丸城を望む住宅密集地に調査区は位置する。調査区は3地区に分散しているため、便宜上、A・B・C地区と設定して調査を行った。A地区では、現在の地割に沿う室町時代の区画溝(SD1・2)や土坑(SK3:土壇墓の可能性ある)を検出した。B地区では、柱痕とみられる木片が据え置かれた隅丸長方形のピットを2基検出した。これらは出土遺物が僅少で明確な時期設定はできないが、平安時代末期～鎌倉時代初頭頃のものと思われる。また、いずれも室町時代の、概ね拳大の礫が底部に敷設された溝(SD8)や、墨書のある山茶碗や完形の土師器皿などが出土した溝(SD2)などを検出した。C地区では、長軸1.8m程の隅丸長方形の土坑(SK4)と、調査区外にかかると推定される同形態と推定される土坑(SK5)が1m程の間隔をあけて南北に並んだ状態で検出された。土師器の細片が出土したのみで、時期は不明であるが、平面形態から土壇墓の可能性はある。				
主な遺構	溝、土坑、ピット、落ち込み など				
主な遺物	土師器(皿・鍋など)、山茶碗(墨書あり)、施釉陶器 など				
関連文献	『平成14年度 三重県埋蔵文化財年報』三重県埋蔵文化財センター2003				
No.	16	遺跡名	岩出遺跡群 清水地区	台帳番号	461-302
所在地	度会郡玉城町岩出字清水			事業主体	農林水産商工部 むらの活力づくり支援チーム
調査原因	一般農道整備事業(玉城南部地区)			費用負担	農林水産商工部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	池本浩弥 新田 洋
調査期間	平成15年10月27日～31日			調査面積	100㎡
調査概要	清水地区は岩出遺跡群の北西部、ケカノ辻・角垣内地区調査区北端から西へ約100mの所に所在し、宮川左岸の河岸段丘上に立地する。宮川用水の埋管による攪乱のため検出した遺構は少なかったが、溝とピットを確認した。				
主な遺構	溝・ピット				
主な遺物	土師器(皿・鍋)、山茶碗・陶器甕				
関連文献	伊藤裕偉『岩出地区内遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1996				

No.	17	遺跡名	岩出遺跡群(第6次) ケカノ辻地区	台帳番号	461-302
所在地	度会郡玉城町岩出字ケカノ辻			事業主体	農林水産商工部 むらの活力づくり支援チーム
調査原因	一般農道整備事業(玉城南地区)			費用負担	農林水産商工部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	奥野 実 大村伸一
調査期間	平成16年3月2日～9日			調査面積	65㎡
調査概要	当遺跡は、宮川左岸の河岸段丘上に位置する。調査の結果、鎌倉・室町時代の柱穴群や「土取り」跡と考えられる攪乱などが見つかった。小さい面積の調査であったが、集落の一端を確認することができた。				
主な遺構	鎌倉、室町時代の柱穴など				
主な遺物	土師器(皿・鍋)、山茶碗・陶器(甕・鉢)、青磁碗、瓦(丸瓦・平瓦)、埴塀など				
関連文献	伊藤裕偉『岩出地区内遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1996				
No.	18	遺跡名	上野城下町遺跡(第3次)	台帳番号	206-1230
所在地	上野市内旧町内(恵美須町)			事業主体	県土整備部 都市基盤チーム
調査原因	伊賀上野橋新都市線街路(補修)工事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山口聡嗣 酒井巳紀子
調査期間	平成15年6月12日～23日			調査面積	延べ100㎡(上層30㎡含む)
調査概要	当遺跡は上野市街に重複する城下町遺跡で、台地上に立地する。層位は、表土、黒色シルト等(江戸時代整地層)、黄色粘土等(地山)が観察された。遺構面が複数想定されるため、遺構の可能性がある土色・土質の変化が認められる層位や、整地層の可能性のある層位と仮定した場合、該当層位の直上面で精査して記録をとった。ただ、江戸時代整地層が近現代のカクランで破壊されている場合は下層のみの調査となった。調査の結果、ピットや土坑・溝等の遺構を確認した。ピットは柱列状にならぶものやその中に根石の可能性のある石が確認されたものもあるが、掘立柱建物として確定はできなかった。出土遺物から、今回の調査範囲は江戸時代後期から末期にかけての遺構であると考えられる。				
主な遺構	ピット、土坑、溝				
主な遺物	土師器、陶器、磁器、古銭、砥石				
関連文献	『上野城下町遺跡発掘調査報告』上野市教育委員会・上野市遺跡調査会 / 『上野市遺跡地図』上野市教育委員会1992 / 福井健二『上野城郭図集』日本城郭友の会・城郭文庫1974				
No.	19	遺跡名	宮ノ前遺跡(第2次)	台帳番号	206-971
所在地	上野市荒木			事業主体	県土整備部 河川チーム 農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	服部川単河川局部改良事業 経営体育成基盤整備事業(中瀬川南地区)			費用負担	県土整備部 農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松田珠美 小倉 整 豊田祥三
調査期間	平成15年9月16日～平成16年1月20日			調査面積	2,492㎡
調査概要	今年度調査区は3地区設定した。1地区は服部川沿岸の宮ノ前館跡推定地の西側に隣接して位置する。西半から中央部にかけての約72mの範囲では2時期の遺構面が存在した。調査区東半で、3基の石組み井戸・2基の石組み遺構(いずれも15世紀後半)を確認した。これらの遺構と同時期の南北方向には溝も検出され、複数の屋敷地の可能性もある。調査区西端で掘立柱建物1棟を検出した他、調査区中央部でも柱穴とみられるピットを多数検出した。遺物は信楽の播鉢(15世紀)、瓦器碗・皿が中心である。近世の溝SD322からは陶器がまとまって出土した。2地区は荒木集落の北側で、現在使用している水路に沿った水田である。調査区の南側には近世の暗渠跡が存在する。中央を東西に溝が走っており、16世紀の信楽の播鉢などが出土した。調査区北側では、深さ約2mの石組み井戸1基を確認した。井戸最深部からは中世の遺物が出土した。3地区は2地区の西側に位置する。調査区の西半は耕作土直下が砂利層である。東半では、奈良時代の堅穴住居を確認したほか、15世紀前半の土坑も検出した。出土遺物には、奈良時代の須恵器碗・土師器碗・甕のほか、中世後期の信楽産の甕・播鉢、瓦質土器、古瀬戸、土師器鍋、羽釜などがある。				
主な遺構	石組み井戸、溝、石組み遺構、土坑、堅穴住居				
主な遺物	須恵器碗、土師器(奈良時代:瓦器碗・皿)、信楽播鉢・甕、瓦質土器(いずれも中世)、施釉陶器(近世含む)				
関連文献	『上野市遺跡地図』上野市教育委員会1992				
No.	20	遺跡名	寺前遺跡(第2次)	台帳番号	206-未登録
所在地	上野市荒木			事業主体	農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	経営体育成基盤整備事業(中瀬川南地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松田珠美
調査期間	平成15年9月16日～平成16年1月20日			調査面積	233㎡
調査概要	今年度調査区は、上荒木地内地福寺の西方に位置し、現状は集落に隣接した水田である。調査の結果、溝や複数のピットを検出した。溝やピットからは、黒色土器・瓦器碗・土師器・土師器皿片などが出土した。また、土坑からは土師器皿が内蔵された完形の壺も出土した。建物は、調査区東側(現集落)に広がるものと考えられる。				
主な遺構	溝、土坑、ピット				
主な遺物	黒色土器A類(10世紀)、瓦器碗(11世紀)、土師器皿、土師器壺(完形)、土師				
関連文献					

No.	21	遺跡名	服部氏館跡	台帳番号	206-537
所在地	上野市荒木			事業主体	農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	経営体育成基盤整備事業(中瀬川南地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松田珠美
調査期間	平成15年9月16日～平成16年1月20日			調査面積	502㎡
調査概要	2ヶ所の調査区を設定し、便宜上1地区と2地区とした。1地区は館の南側にあたる水田である。層序は地区のほとんどが、耕作土直下で砂地となり、河川の氾濫源であったと考えられ、遺物包含層はほとんど確認できなかった。地区の西半では、一部が微高地となっており、瓦器や信楽焼の挿鉢が出土する溝や、土師器壺・黒色土器などが出土する土坑を検出した。西半の中央部ではピットが集中しており、検出状況から何棟かの掘立柱建物が想定でき、これらは西南に広がる考えられる。2地区は館の西側にあたる畑地である。表土直下に中世の遺物を確認した。旧耕作土下の砂礫層からは古代の遺物が出土したが、確認できた遺構は中央部で検出した少数のピットなどわずかであった。墨書土器は「大衆＝ダイシュ」と達筆で書かれており、古代寺院との関連も想定される。				
主な遺構	溝、土坑、ピット				
主な遺物	瓦器(椀・皿)、信楽産の挿鉢、土師器壺、黒色土器(10世紀)、墨書土器片(大衆＝ダイシュと読み取れる達筆な筆跡)				
関連文献					
No.	22	遺跡名	荒木氏館跡	台帳番号	206-538
所在地	上野市荒木			事業主体	農林水産商工部 農業基盤整備チーム
調査原因	経営体育成基盤整備事業(中瀬川南地区)			費用負担	農林水産商工部 ※
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	松田珠美 豊田祥三
調査期間	平成15年9月16日～平成16年1月20日			調査面積	1,680㎡(下層360㎡含む)
調査概要	3ヶ所の調査区を設定し、便宜上北地区・中地区・南地区とした。北地区は荒木氏館北東部に位置する。北端から南に伸びる約50mの溝は、溝の北端南端ともに西に方向を変えることから、コの字状もしくは方形状の溝になると考えられ、城館の堀というよりは区画溝である可能性が高い。南端から上記水路に流れ込む溝は、フイゴの羽口や鉄滓が多数出土したため、付近に铸造遺構が存在したことも考えられる。中地区は館の東にあたり、当初の想定通り、館に沿って堀を確認した。堀は検出した長さが74m、深さ約2.6mで、幅は不明である。土層観察から、近世での再掘削・南端部の改変跡も確認できた。また中地区の南端では、2棟の掘立柱建物や区画溝、土坑を検出した。南地区は南半に遺構が集中しており、中世の溝やピットなどを検出した。				
主な遺構	城館の堀、区画溝、掘立柱建物、ピット、土坑				
主な遺物	信楽産挿鉢や甕、土師器鍋、瓦質土器、青磁皿、瓦、漆椀、天目茶碗、近世陶器				
関連文献					
No.	23	遺跡名	天童山古墳群(8・13号墳)	台帳番号	206-181・未登録
所在地	上野市上郡			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(一)上野島ヶ原線緊急地方道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	船越重伸 水本龍治 豊田祥三 酒井巳紀子
調査期間	平成15年5月1日～10月19日			調査面積	1,389㎡
調査概要	8号墳は、18m四方の方墳と考えられる。横穴式石室と竪穴式小石室を検出し、その出土品から6世紀後半頃に築造されたものと思われる。横穴式石室は両袖式で、幅約2m×長さ4.4mで、天井と上半分は失われていた。石室内は礫床で須恵器、鏃、玉類、耳環などが出土し、出土状況から複数の人物が葬られたものと考えられる。竪穴式小石室は、幅約0.8m×長さ約1.8mの規模で、未盗掘と思われる。須恵器や鏃のほか、パイプの形をした土製品が出土している。 13号墳は、径約13mの円墳と考えられ、両袖式の横穴式石室を検出している。この石室も8号墳と同様に天井と上半分は失われていた。須恵器のほか、鉄鏃も出土した。出土品から6世紀後半頃の築造で、8号墳よりも少し古い時期のものであると考えられる。				
主な遺構	8号墳:横穴式石室(両袖式)・竪穴式小石室 13号墳:横穴式石室(両袖式)				
主な遺物	8号墳:【横穴式石室】須恵器(杯身・杯蓋・提瓶・脚付壺・有蓋高杯・高杯・はそう・双耳壺)・土師器(高杯・壺)・耳環(銀芯・銅芯・鉄芯)・琥珀製玉・瑪瑙製丸玉・碧玉製管玉・管玉・水晶製小玉・ガラス製小玉・ガラス製粟玉・鉢・石突・刀子(中・小)・大刀(黄金具ほか)・刀(金製金具)・鏃(大・中・小・長頸鏃含む) 【竪穴式小石室】須恵器(杯身・杯蓋・提瓶・壺・平底壺)・土師器(椀・鉢・短頸壺)・パイプ形土製品・ミニチュア(壺・はそう)・鏃 13号墳:須恵器(杯身・杯蓋・高杯・提瓶・はそう・脚付壺・脚付有蓋壺・壺)・土師器(椀・壺)・鏃				
関連文献	『天童山古墳群～現地説明会資料～』三重県埋蔵文化財センター2003.9.20 / 『三重県上野市遺跡地図』上野市教育委員会1992 / 『センター通信 みえ 第36号』三重県埋蔵文化財センター2004.1.5				

No.	24	遺跡名	三石代遺跡	台帳番号	206-1114
所在地	上野市下神戸字三石代			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	(一)上野島ヶ原線緊急地方道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	船越重伸 酒井巳紀子
調査期間	平成15年5月1日～10月19日			調査面積	776㎡
調査概要	調査の結果、掘立柱建物3棟、柵2列、土坑10基、溝25条を検出し、土師器や瓦器などが出土した。このうち掘立柱建物は柵が建物を囲むような状況で検出され、また調査区内の堆積土からは8世紀頃の円面硯（脚部に十字の透かし有）が出土するなど、奈良時代から中世にかけての遺構・遺物を確認した。これらのことから、奈良時代から中世にかけての集落跡が、調査部分から南側に広がっているものと思われる。ただし、検出した遺構の内、土坑4基と溝22条については、ごく最近の耕作溝などの可能性が極めて高い。				
主な遺構	掘立柱建物、柵列、土坑、溝				
主な遺物	土師器、須恵器、瓦器、円面硯、金属製品				
関連文献	『三重県上野市遺跡地図』上野市教育委員会1992 / 『センター通信 みえ 第36号』三重県埋蔵文化財センター2004. 1. 5				
No.	25	遺跡名	上後瀬遺跡	台帳番号	501-未登録
所在地	名賀郡青山町大字羽根字上後瀬			事業主体	県土整備部 道路整備チーム
調査原因	松阪青山線地方特定道路整備事業			費用負担	県土整備部
調査機関	三重県埋蔵文化財センター			担当者	山口聡嗣
調査期間	平成15年10月22日～平成16年1月21日			調査面積	660㎡
調査概要	今回の調査区は木津川右岸に位置する。変遷する流路の痕跡が多くみられ、遺構は砂層上でピット、土坑等を確認した。しかし、土坑等の性格は不明確であり、ピットの位置関係から掘立柱建物等を想定することは難しい。また包含層上に、調査区の北では木による水路、南では石組による水路を確認した。出土遺物は瓦器が中心で黒色土器や土師器・陶器・磁器等が出土したが、その中でも燻しをかけていない瓦器が多数あり、遺跡の性格を考える上で今後の検討が必要である。以上の結果から、今回の調査区は平安時代末から室町時代にかけての遺跡であると考えられる。				
主な遺構	ピット、土坑、水路状遺構、石組遺構				
主な遺物	瓦器、黒色土器、陶器、磁器、土師器、須恵器				
関連文献					

県(斎宮歴史博物館)担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

No.	26	遺跡名	斎宮跡(第140次調査・計画調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町斎宮字西加座			事業主体	三重県教育委員会
調査原因	学術調査			費用負担	三重県教育委員会 ※
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	竹内英昭 小瀨 学
調査期間	平成15年6月4日～8月12日			調査面積	525㎡
調査概要	平成14年度第136次調査地の南側、「主神司」推定場所にあたる。奈良時代末～平安時代中期にかけての掘立柱建物が6～7回建て替えられており、方格地割の施行前後にかけての当地区の利用状況が判明した。平安時代前期後葉の土坑から土師器供膳形態を中心とする多量の土器が廃棄されていた。				
主な遺構	掘立柱建物11棟、竪穴状遺構1基、井戸1基、土坑、溝他				
主な遺物	緑釉陶器、灰釉陶器、土師器、須恵器、黒色土器、陶器、鉄鎌、鉄釘、鉄斧				
関連文献	斎宮歴史博物館編『史跡斎宮跡 平成14年度発掘調査概報』2004				
No.	27	遺跡名	斎宮跡(第141次調査・計画調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字中垣内379・387・388・400・402-1・405-1			事業主体	三重県教育委員会
調査原因	学術調査			費用負担	三重県教育委員会 ※
調査機関	斎宮歴史博物館			担当者	小瀨 学 伊藤裕偉
調査期間	平成15年8月19日～11月12日			調査面積	505㎡
調査概要	平成14年度第141次調査地の南側にあたる。今回の調査では、弥生時代から中世の遺構・遺物を確認することができた。弥生時代は、竪穴住居3棟・方形周溝墓1基・土坑などを、奈良時代は、掘立柱建物6棟・竪穴住居7棟・土坑・溝・落ち込みなどを、平安時代以降は、平安時代後期のものと考えられる掘立柱建物1棟・中世の掘立柱建物4棟以上・溝などを確認した。これらのうち、奈良時代の溝2条については道路側溝と考えられ、周辺の調査成果から200m続く直線道路であることを確認した。道路遺構の幅は溝心で8.1mとなり、古代官道である奈良古道より狭いことが判明した。				
主な遺構	掘立柱建物、竪穴住居、方形周溝墓、土坑、溝、落ち込み				
主な遺物	縄文土器、弥生土器、石斧、土師器、須恵器、緑釉陶器、土馬、山茶碗				
関連文献	斎宮歴史博物館編『史跡斎宮跡 平成14年度発掘調査概報』2004				

No.	28	遺跡名	齋宮跡(第142-1次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字廣頭			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小瀨 学
調査期間	平成15年5月7日			調査面積	3.5㎡
調査概要	調査地はいつきのみや歴史体験館から西へ約150mに位置する。現況地盤から約80cm下で遺構面を確認した。土坑、溝、柱穴を確認した。柱穴の埋土から平安後期のものと考えられる土師器皿が3枚重なって出土した。				
主な遺構	土坑、溝、柱穴				
主な遺物	土師器				
関連文献					
No.	29	遺跡名	齋宮跡(第142-2次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字牛葉・木葉山			事業主体	明和町
調査原因	水道管改修			費用負担	明和町
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉
調査期間	平成15年6月19日～21日			調査面積	33㎡
調査概要	史跡東部の、旧参宮街道からやや南に入った場所で、方格地割木葉山西区画の西側にあたる。旧地表下約30cmで地山に至る。平安時代頃かと思われるピットが数基確認された。出土遺物は土師器細片のみで、明確な時期は決めがたい。				
主な遺構	ピット				
主な遺物	土師器片				
関連文献					
No.	30	遺跡名	齋宮跡(第142-3次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字南裏			事業主体	明和町
調査原因	水道管改修			費用負担	明和町
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉
調査期間	平成15年7月22日～25日			調査面積	30㎡
調査概要	史跡地内南西部にあたる。現道路面下約40～60cmで地山に達する。調査地内南部では、遺構はほとんど認められなかった。北部は、平安時代以降のピットが数基と、近世の溝・土坑が確認されたが、全体的に遺構密度は薄い。				
主な遺構	溝・土坑				
主な遺物	近世土師器・陶磁器				
関連文献					
No.	31	遺跡名	齋宮跡(第142-4次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字出在家			事業主体	明和町
調査原因	建物建築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小瀨 学
調査期間	平成15年7月31日～8月2日			調査面積	136㎡
調査概要	調査地は、齋宮歴史博物館から北東に約200m、史跡範囲の北限に位置する。明和町古里字出在家に所在し、現況は畑地であった。個人住宅建設に伴う緊急調査である。基本層序については、20cm程度の耕作土を除去後、黒褐色土の遺物包含層を40cm程度確認した。遺物包含層の直下で赤褐色の遺構検出面を確認した。調査の成果としては、奈良時代の掘立柱建物2棟・土坑3基、平安時代の土坑墓1基を確認することができた。掘立柱建物11については、調査区内で検出できたものとしては、南北2間(2.1m+2.1m)、東西2間(2.1m+2.1m+)以上で、東・北・南面に庇が2.4m出る。出在家地区では、掘立柱建物の検出は初例であり、史跡の範囲のことも踏まえ貴重な成果をえることができた。遺物については、奈良時代から中世までの、土師器類や須恵器類、陶器を確認した。なお、包含層出土であるが人面墨書土器と考えられる土師器皿を確認している。				
主な遺構	掘立柱建物、土坑、土坑墓				
主な遺物	土師器、須恵器				
関連文献					
No.	32	遺跡名	齋宮跡(第142-5次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字西前沖			事業主体	明和町
調査原因	道路新設			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉 竹内英昭
調査期間	平成15年8月18日～10月2日			調査面積	236㎡
調査概要	史跡地内北東部にあたる。調査地内は、旧陸軍施設および芥明中学校跡地で、これらの時期の建物基礎による攪乱が著しい。検出した遺構は、中世墓2基、溝状遺構1条、およびピットがある。中世墓はいずれも13世紀前半頃のもので、土師器皿や陶器碗(山茶碗)のみを副葬する簡素なものであった。近隣で確認されている中世集落に関連する墓域と考えられる。また、出土遺物には太平洋戦争時の軍用食器片や焼夷弾の残骸もある。				
主な遺構	中世墓2基、溝状遺構				
主な遺物	土師器・陶器(中世前期)、軍用食器・焼夷弾(近現代)				
関連文献	齋宮歴史博物館『齋宮歴史博物館だより』50号				

No.	33	遺跡名	齋宮跡(第142-6次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	建物建築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	竹内英昭 泉 雄二
調査期間	平成15年11月4日～7日			調査面積	33㎡
調査概要	史跡東部の竹神社から東30mの方格地割内(鍛冶山西)に位置する個人住宅建設に伴う緊急調査である。調査の成果としては、近現代の攪乱を受けていて、現状から70cmで遺構検出面に至る。攪乱あるいは16世紀代の土坑を1基確認した。出土遺物は、土師器鍋、陶器類を確認した。				
主な遺構	土坑				
主な遺物	土師器、陶器				
関連文献					
No.	34	遺跡名	齋宮跡(第142-7次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字東裏277ほか2筆			事業主体	明和町
調査原因	公民館改修等			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉 小濱 学 竹内英昭 泉 雄二
調査期間	平成15年9月26日～10月18日			調査面積	330㎡
調査概要	史跡地内南西部で、旧参宮街道北部にあたる。昨年度の第138-5次調査と一連の事業である。今回の調査では、遺構面に達するのは浄化槽および電柱・鳥居などの部分のみで、基礎部分は遺構面に達せずにおさまる。開削される部分については、遺構は認められなかった。なお、基礎設置箇所の埋土内からは、17世紀前半代の肥前産陶器が出土した。三重県ではあまり例の無いものである。				
主な遺構	なし				
主な遺物	肥前産陶器(17世紀代)				
関連文献					
No.	35	遺跡名	齋宮跡(第142-8次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字下園			事業主体	明和町
調査原因	住宅改築等			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉
調査期間	平成15年12月17日～18日			調査面積	13㎡
調査概要	史跡地内中央北部で、方格地割下園区画内にあたる。調査地の近隣は、近代までの粘土採掘坑が数多く見られるため、当調査地もその可能性があったが、遺構面は比較的良好に遺存していた。検出した遺構には、掘立柱建物を構成すると考えられる柱列2列がある。このうちの1列は、平安時代前期頃と考えられ、1基のピット内からは完形の須恵器杯が出土した。これらの遺構は、方格地割下園区画内において明確に確認されたはじめての建物である。				
主な遺構	柱列(掘立柱建物)2列、土坑				
主な遺物	須恵器・土師器				
関連文献					
No.	36	遺跡名	齋宮跡(第142-9次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年1月6日			調査面積	5.2㎡
調査概要	近鉄齋宮駅から西へ約50m程の旧参宮街道沿いに位置する個人住宅敷地内において、浄化槽設置などに伴う緊急調査である。基本層序については、現況地盤の上から40cmが表土、その下には黒褐色の遺物包含層を20cm程度確認した。その直下で黒褐色土の遺構検出面を確認した。遺構検出面上面から20cm下で明黄褐色土層を確認した。調査の成果としては、平安時代と考えられる柱列(1間以上・柱間2m)を1基確認した。柱列は、調査区外に延びていくことが想定できる。柱穴の底部付近には石が詰められていた。平安時代の土師器類や緑釉陶器が遺物包含層から出土した。				
主な遺構	柱列				
主な遺物	土師器、緑釉陶器				
関連文献					
No.	37	遺跡名	齋宮跡(第142-10次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年1月14日・15日			調査面積	5.8㎡
調査概要	竹神社から西へ約100mに位置する個人住宅敷地内において、浄化槽設置に伴う緊急調査である。基本層序については、現況地盤から40cmが表土、その下には攪乱土層を60cm程度確認した。その直下で赤褐色粘質土の遺構検出面を確認した。既設浄化槽があったため、遺構面は確認できるものの攪乱されていて削平を受けているものと思われる。調査の成果としては、中世後期と考えられる土坑を2基確認した。中世後期の土師器類が出土した。				
主な遺構	土坑				
主な遺物	土師器南伊勢系				
関連文献					

No.	38	遺跡名	齋宮跡(第142-11次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字楽殿			事業主体	明和町
調査原因	建物建築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年2月9日・12日			調査面積	154㎡
調査概要	調査地は、齋王の森から東に約150m、明和町齋宮字楽殿に所在し、現況は畑地である。個人住宅建設に伴う緊急調査である。基本層序については、約20cm程度の耕作土を除去後、黒褐色土の遺物包含層を約40cm程度確認した。遺物包含層の直下で赤褐色の遺構検出面を確認した。調査の成果としては、平安時代以降の溝6条を確認することができた。平安時代から中世までの、土師器類や須恵器類、陶器を確認した。				
主な遺構	土坑、溝				
主な遺物	土師器、須恵器、陶器				
関連文献					
No.	39	遺跡名	齋宮跡(第142-12次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	建物建築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成15年12月26日			調査面積	8㎡
調査概要	近鉄齋宮駅から町道沿い30m東、方格地割内(内山東)に位置する個人住宅建設に伴う緊急調査である。基本層序については、上から約40cmが現代の盛土、その下に黒色土の遺物包含層を約40cm程度確認した。遺物包含層の直下で赤褐色の遺構検出面を確認した。調査の成果としては、浄化槽部分で平安時代のものと考えられる柱穴を1ヶ所確認した。基礎部分は、遺構面は確認できるものほとんどが攪乱されていて削平を受けているものと思われる。平安時代の土師器類、緑釉陶器が出土した。				
主な遺構	柱穴				
主な遺物	土師器、緑釉陶器				
関連文献					
No.	40	遺跡名	齋宮跡(第142-13次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成15年7月24日			調査面積	3㎡
調査概要	竹神社の北東150m程に位置する個人住宅敷地内において、汲み取り式便槽から合併浄化槽への取替えに伴う調査である。方格地割内、西加座南の西地区の北側に位置している。浄化槽設置部分については、攪乱をうけているようで、上から表土、盛土、赤褐色土、黄褐色土(地山)であった。遺構及び遺物は、確認することができなかった。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし				
関連文献					
No.	41	遺跡名	齋宮跡(第142-14次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成15年11月5日			調査面積	3㎡
調査概要	齋宮駅から南へ100m程の旧参宮街道に位置する個人住宅敷地内において、浄化槽の取替えに伴う調査である。方格地割内、木葉山西地区の北側に位置している。浄化槽設置部分については、既設の浄化槽設置時に攪乱をうけているようで、上からコンクリート、盛土、黒褐色土、赤褐色土(遺構検出面)、黄灰色礫混粘土であった。赤褐色土については、遺構検出面とも考えられるが、既設浄化槽設置時に改変されているものと思われる。遺構及び遺物は、確認することができなかった。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし				
関連文献					
No.	42	遺跡名	齋宮跡(第142-15次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成15年4月22日			調査面積	2㎡
調査概要	調査地は歴史の道の南側100mに位置している。現況地盤から100cmで遺構検出面を確認したが、攪乱を受けている可能性もあり、本来の遺構検出面のレベルではないことが考えられる。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし				
関連文献					

No.	43	遺跡名	齋宮跡(第142-16次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字古里575-1			事業主体	明和町
調査原因	住宅増築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	伊藤裕偉
調査期間	平成16年3月9日～31日			調査面積	480㎡
調査概要	齋宮歴史博物館に北設する畑地である。平安時代中期頃の井戸、平安時代中期から中世前期にかけての溝、中世前期初頭の井戸、平安時代後期頃の柱列などを検出した。中世前期初頭の井戸は、排水溝状の小溝を伴っており、南部の溝に接続させていた。なお、遺物としては奈良時代頃のものも見られるが、その時期の遺構は明確ではなかった。				
主な遺構	井戸2基、溝7条以上、土坑数基、柱列				
主な遺物	奈良～平安時代土器片、中世前期の土師器・陶器類				
関連文献					
No.	44	遺跡名	齋宮跡(第142-17次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町竹川字中垣内			事業主体	明和町
調査原因	建物改築			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年3月10日～12日			調査面積	45㎡
調査概要	申請地は齋宮小学校から西へ300mに位置する畑地で、建物改築などに伴う緊急調査である。基本層序については、現況地盤の上から、耕作土、客土、黒褐色砂質土、にぶい赤褐色粘砂であった。にぶい赤褐色粘砂上面で遺構を確認した。調査の成果としては、中世に属すると考えられる溝1条と時期不詳の柱穴を多数確認した。				
主な遺構	溝、柱穴				
主な遺物	土師器類、近世陶器				
関連文献					
No.	45	遺跡名	齋宮跡(第142-18次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮字中西			事業主体	明和町
調査原因	建物建築等			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年3月19日～23日			調査面積	32㎡
調査概要	申請地は竹神社から東250m付近に位置する住宅地で、建物建築などに伴う緊急調査である。基本層序は、現況地盤の上から、耕作土、客土、黒褐色砂質土、にぶい黄褐色土で、にぶい黄褐色土で遺構を確認した。調査の成果としては、古代～中世に属すると考えられる溝2条・土坑1基・時期不詳の柱穴を確認した。昭和61年度に第58-7次調査を行った部分と今回の調査区の中央が重複している。				
主な遺構	溝、土坑				
主な遺物	土師器				
関連文献					
No.	46	遺跡名	齋宮跡(第142-19次調査)	台帳番号	442-210
所在地	多気郡明和町齋宮115			事業主体	明和町
調査原因	浄化槽設置			費用負担	明和町 ※
調査機関	齋宮歴史博物館			担当者	小濱 学
調査期間	平成16年3月30日・31日			調査面積	3.8㎡
調査概要	調査地点は、齋宮駅から南100m、参宮街道沿いに位置する住宅敷地内で、方格地割の木葉山西区画内に位置する。基本層序は、現況地盤から碎石、盛土、黒褐色土、オリーブ黒色土、橙色粘質土であった。オリーブ黒色土上面で遺構検出が可能であるが、遺構の埋土が同色系であるため判然としなかったため、橙色粘質土上面で検出した。調査の成果としては、柱穴1ヶ所を確認した。また、以前埋設されていた漬物槽により一部が攪乱を受けていることが判明した。				
主な遺構	柱穴				
主な遺物	なし				
関連文献					

市町村担当分 本調査

※は、国・県費補助事業

No.	47	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205-99
所在地	桑名市元赤須賀142			事業主体	個人
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理 平野亜紀
調査期間	平成15年4月22日			調査面積	47.39㎡
調査概要	破砕員を含む遺物包含層と近世～近代にかけての遺構面を検出した。掘削深度に制限があり、詳細は不明である。				
主な遺構					
主な遺物	近世陶磁器				
関連文献					
No.	48	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205-99
所在地	桑名市一色町53番1、54番1			事業主体	個人
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間	平成15年7月28日・29日			調査面積	75㎡
調査概要	近世の遺物包含層を検出した。				
主な遺構					
主な遺物	近世陶磁器				
関連文献					
No.	49	遺跡名	七和廃寺跡	台帳番号	205-44
所在地	桑名市大字芳ヶ崎字大辻1147外・大字森忠字笠坊谷882			事業主体	アラキ開発
調査原因	宅地開発			費用負担	アラキ開発
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間	平成15年9月3日～12月3日			調査面積	1,118㎡
調査概要	表土直下に良好な遺物包含層を確認。遺構は堅穴住居2棟、土坑、溝等が検出された。寺院と考えられる遺構はなく、寺院の周辺ないしは先行する集落と考えられる。				
主な遺構	堅穴住居、土坑、溝				
主な遺物	縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器				
関連文献					
No.	50	遺跡名	寺跡遺跡	台帳番号	205-130
所在地	桑名市大字大福字寺跡439-1			事業主体	個人
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間	平成15年5月12日			調査面積	65.41㎡
調査概要	掘削深度に制限があったため、近代以降の水田面を確認したのみである。				
主な遺構					
主な遺物					
関連文献					
No.	51	遺跡名	江場貝戸遺跡	台帳番号	205-131
所在地	桑名市江場地内			事業主体	桑名市
調査原因	江場安永線街路事業 道路拡張工事			費用負担	桑名市
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間	平成16年1月26日～2月4日			調査面積	220㎡
調査概要	幕末以降と考えられる溝、土坑を検出した。さらに下層では中世の遺物包含層を検出した。				
主な遺構	溝、土坑				
主な遺物	土師器、山茶碗、近世陶磁器				
関連文献					

No.	52	遺跡名	西山遺跡	台帳番号	205-30
所在地	桑名市大字下深谷部字西山1099-2外3			事業主体	個人
調査原因	店舗併用住宅			費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間	平成15年11月11日			調査面積	10.46㎡
調査概要	掘削深度に制限があったため、近年の盛り土及び、旧表土層の掘削に留まった。さらに下層には破砕貝の混じる土層が確認できたが遺物は出土しなかった。				
主な遺構					
主な遺物	近世陶磁器				
関連文献					
No.	53	遺跡名	桑名城下町遺跡	台帳番号	205-99
所在地	桑名市内堀23			事業主体	個人
調査原因	個人住宅			費用負担	桑名市教育委員会
調査機関	桑名市教育委員会			担当者	斉藤 理
調査期間				調査面積	
調査概要	近世の遺物包含層を検出した。掘削深度に制限があったためさらに下層は未調査である。				
主な遺構					
主な遺物	近世陶磁器				
関連文献					
No.	11	遺跡名	久留倍遺跡(第4次)	台帳番号	202-74
所在地	四日市市大矢知町字久留倍、字矢内谷			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所
調査原因	一般国道1号北勢バイパス建設			費用負担	国土交通省
調査機関	四日市市教育委員会			担当者	角正芳浩 赤松一秀 清水政宏 石毛彩子 北角光津子 濱辺一機 城 吉基 伊藤直孝
調査期間	平成15年5月6日～平成16年2月6日			調査面積	15,300㎡
調査概要	本調査約4,800㎡、範囲確認調査約10,700㎡を行った。本調査では、飛鳥～奈良時代の4×3間ないしは3×3間の総柱建物を16棟以上検出した。建物群は区画溝に囲まれた中に整然と配置され、正倉院であることが判明した。範囲確認調査では、「コ」の字形に配置された掘立柱建物を4棟と区画溝内外で棟方向を同じくする掘立柱建物を8棟以上検出した。前者は郡(評)衙の政庁、後者は倉庫群であった可能性がある。これらの遺構は、政庁→倉庫群→正倉院の順で造営されたと思われるが、未調査遺構も多数あり各建物の性格や相互関係、存続時期などは今後の調査課題である。				
主な遺構	弥生後期:方形周溝墓3基 弥生後期～古墳前期:竪穴住居15棟以上、土坑 飛鳥～奈良:掘立柱建物38棟以上、竪穴住居1棟、区画溝 中世:溝、井戸、土坑				
主な遺物	弥生土器、須恵器、土師器、緑釉陶器、灰釉陶器、陶器、木製品等				
関連文献	『一般国道1号北勢バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅷ』四日市市教育委員会2004				
No.	11	遺跡名	赤堀城跡(第5次)	台帳番号	202-290
所在地	四日市市城東町、赤堀二丁目			事業主体	四日市市
調査原因	市道改良			費用負担	四日市市
調査機関	四日市市教育委員会			担当者	葛山拓也 五十棲孝子
調査期間	平成15年8月17日～12月9日			調査面積	516㎡
調査概要	後世の削平を受けているが、土塁・堀を検出し、赤堀城の南東隅部分がほぼ確定した。低地に存在する中世城館の調査例として貴重なものである。当該時期の遺物はあまり多くない。築城以前の遺物が多量に出土したが、遺構は明瞭でない。				
主な遺構	曲輪、土塁、堀、井戸				
主な遺物	土師器、近世陶磁器、中世陶器、輸入陶磁器、土錘、五輪塔、木製品、金属製品、灰釉陶器、緑釉陶器、須恵器				
関連文献	『赤堀城跡』四日市市教育委員会1986 / 『赤堀城跡2』四日市市遺跡調査会1989 / 『赤堀城跡3』四日市市遺跡調査会1993 / 『赤堀城跡4』四日市市遺跡調査会2000				

No.	56	遺跡名	西ヶ谷遺跡（第5次）	台帳番号	202-126
所在地	四日市市東坂部町字長坂1363、1364			事業主体	四日市市
調査原因	市道改良			費用負担	四日市市
調査機関	四日市市教育委員会			担当者	萩 良樹 五十棲孝子
調査期間	平成15年11月20日～平成16年1月7日			調査面積	367㎡
調査概要	カマドを備えた堅穴住居1棟・掘立柱建物3棟・土坑2基・溝3条を検出した。溝以外は7世紀前葉である。遺物は須恵器・土師器・鉄滓・フイゴの羽口などが出土した。須恵器は生焼けのものも多く、西ヶ谷古窯の工人の集落跡と考えられる。また、フイゴの羽口と鉄滓が出土し、鍛冶工房があったことも考えられる。				
主な遺構	堅穴住居1棟・掘立柱建物3棟・土坑2基・溝3条				
主な遺物	須恵器・土師器・トチン・装飾須恵器子像(馬)・フイゴの羽口・鉄滓				
関連文献	『西ヶ谷遺跡』四日市市遺跡調査会1996 / 『西ヶ谷遺跡3』『西ヶ谷遺跡4』四日市市教育委員会2002				
No.	57	遺跡名	伊勢国分寺跡(第29次)	台帳番号	207-361
所在地	鈴鹿市国分町			事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査(史跡整備)			費用負担	鈴鹿市 ※
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	藤原秀樹
調査期間	平成15年8月4日～平成16年3月9日			調査面積	2,374㎡
調査概要	僧坊(周囲にめぐる溝から推定南北9m×東西72m)は回廊の幅をやや上回る規模である。軒廊は講堂僧坊間の伽藍中軸上に幅6mであり、北辺築地溝が途切れることから北門を想定できる。北東区画では7×2間身舎の南北面に庇がつく9×21m(189㎡)の大型建物を検出し、中心伽藍区画と北東区画をつなぐ棟門が見つかっている。南東区画からは、昨年見つかった身舎2×5間・南面庇建物の北9mに柱筋をそろえて、2×5間(6×15m)の掘立柱建物を検出した。				
主な遺構	古墳～奈良:掘立柱建物、築地、門、溝、土坑、堅穴住居				
主な遺物	土師器、須恵器、瓦、灰釉陶器、山茶碗、常滑焼、製塩土器、石鏝				
関連文献	『伊勢国分寺跡4』鈴鹿市教育委員会2004				
No.	58	遺跡名	伊勢国府跡(第18-1・2次)	台帳番号	207-363
所在地	鈴鹿市広瀬町字矢下・仲土居、西富田町矢卸			事業主体	鈴鹿市
調査原因	学術調査			費用負担	鈴鹿市 ※
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	水橋公恵
調査期間	平成15年4月17日～11月26日			調査面積	950㎡
調査概要	政庁南方の範囲確認調査(第18-1次)では、遺構・遺物は確認されなかった。方格地割の範囲確認調査(第18-2次)では、仲土居北地区と仲土居南地区の築地内溝・外溝、両区画の西限溝に切られる土坑を検出した。溝は途中で途切れており、区画を全周しない状況であった。両区画以西では遺構・遺物ともに確認されなかった。				
主な遺構	奈良・平安:溝、土坑				
主な遺物	土師器、瓦				
関連文献	『伊勢国府跡6』鈴鹿市教育委員会2004				
No.	59	遺跡名	天王遺跡(第11-1次)	台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町			事業主体	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査原因	病院施設建設			費用負担	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	林 和範
調査期間	平成15年4月28日～7月18日			調査面積	900㎡
調査概要	今回の調査では、3×3間の倉庫(5.5×5.6m)を検出した。主軸方向から6・9次調査で確認した建物群と同時期(飛鳥時代)のものと考えられる。その他、鎌倉時代の土坑を伴う建物、室町時代の区画溝を確認した。区画溝は一部掘り残し、通路としていた可能性がある。				
主な遺構	飛鳥～奈良:掘立柱建物、土坑、溝 鎌倉:掘立柱建物、土坑、柱穴 室町:溝				
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、瓦、山茶碗、常滑焼、五輪塔				
関連文献					

No.	60	遺跡名	天王遺跡(第11-2次)	台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町			事業主体	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査原因	病院施設建設			費用負担	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	林 和範
調査期間	平成15年8月21日～10月10日			調査面積	1,400㎡
調査概要	10次調査で見つかった環濠の道筋が、東方へ曲がっていることを確認した。6・9次調査の北側で倉庫群を確認した。倉庫群は主軸方向から2～3グループに細分可能で、6・9次調査と同傾向を示す東振りのグループは、正方位のグループに先行する。鎌倉時代の建物は礎盤を持っており、「序」に関連する建物・倉庫である可能性が高い。鎌倉時代の井戸からは枡が出土し、中世柱穴から国分寺・智積院寺と同範の複弁12葉蓮華文軒丸瓦が出土した。				
主な遺構	弥生:溝 古墳～飛鳥:溝、掘立柱建物、土坑 鎌倉:掘立柱建物、土坑、井戸 室町:溝				
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、瓦、山茶碗、常滑焼				
関連文献					
No.	61	遺跡名	天王遺跡(第11-3次)	台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町			事業主体	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査原因	病院施設建設			費用負担	三重県厚生連農業協同組合連合会 鹿島・日本土木建設工事共同企業体
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	林 和範
調査期間	平成15年11月4日～12月5日			調査面積	300㎡
調査概要	6・9次調査で調査区外となっていたSB0602の柱穴の一部を検出した。その他、中世を中心とした溝・土坑・柱穴を検出したが、柱穴は建物としてまとまるものがなかった。				
主な遺構	飛鳥～奈良:掘立柱建物 中世:柱穴、溝、土坑				
主な遺物	土師器、須恵器、瓦、山茶碗、常滑焼				
関連文献					
No.	62	遺跡名	天王遺跡(第12次)	台帳番号	207-873
所在地	鈴鹿市岸岡町			事業主体	三重県厚生連農業協同組合連合会
調査原因	援護寮・福祉ホーム施設建設			費用負担	三重県厚生連農業協同組合連合会
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	伊藤 淳 吉田真由美
調査期間	平成15年4月18日～7月18日			調査面積	803.2㎡
調査概要	現在の病院敷地の周囲をめぐる弥生後期～飛鳥時代の2重の環濠(3・5・8次調査で見つかった外溝と10次調査で見つかった内溝の続き)を検出した。				
主な遺構	弥生:溝 古墳～飛鳥:溝、柱列 近世?:水路(木樋)				
主な遺物	弥生土器、土師器、須恵器、瓦、灰釉陶器、山茶碗、土馬、刀子、鉄製紡錘車、土製紡錘車				
関連文献					
No.	63	遺跡名	加佐登遺跡	台帳番号	207-7
所在地	鈴鹿市			事業主体	個人
調査原因	住宅兼店舗			費用負担	鈴鹿市 ※・個人
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	藤原秀樹
調査期間	平成15年7月16日～7月26日			調査面積	111.2㎡
調査概要	縄文晩期の土器棺墓4基、土坑、柱穴、溝を検出した。比較的残りのよい土器棺墓SX01は、2個体の突帯文土器が使用されている。				
主な遺構	縄文晩期:土器棺、土坑、柱穴 奈良～平安:柱穴				
主な遺物	サヌカイト、深鉢形土器、土師器、須恵器、灰釉陶器				
関連文献					

No.	64	遺跡名	平野遺跡	台帳番号	207-158
所在地	鈴鹿市			事業主体	個人
調査原因	個人住宅建設			費用負担	鈴鹿市 ※
調査機関	鈴鹿市教育委員会			担当者	伊藤 淳
調査期間	平成16年2月27日～3月15日			調査面積	72.6㎡
調査概要	鎌倉時代を中心とした柱穴・溝・土坑を検出した。柱穴は建物としてまとまるものはない。出土遺物から柱穴の一部は古代にさかのぼる可能性があり、土師器・須恵器・黒色土器が出土することからも、周辺に古代の遺構が存在すると考えられる。				
主な遺構	柱穴、溝、土坑				
主な遺物	土師器、須恵器、瓦、黒色土器、青磁、山茶碗、常滑焼				
関連文献					
No.	65	遺跡名	於登志遺跡	台帳番号	210-236
所在地	亀山市山下町字於登志			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 北勢国道事務所
調査原因	一般国道1号関バイパス建設事業			費用負担	国土交通省
調査機関	亀山市教育委員会事務局社会教育課			担当者	木野本和之
調査期間	平成15年10月1日～平成15年12月25日			調査面積	450㎡
調査概要	最大幅3mほどのトレンチ調査であったが、弥生時代に築造された方形周溝墓及びその可能性のある溝の一部を確認した。当該時期の遺構の大半は調査対象エリアの北部に集中して確認された。平成14年度に実施した東名阪亀山直結線建設にかかる発掘調査でも、弥生後期末～古墳前期初頭に築造された周溝墓を確認しており、この一帯に墓域が形成されていたものと思われる。				
主な遺構	弥生中期：方形周溝墓4基以上 古墳後期：土溝墓1基 中・近世：柱穴、溝				
主な遺物	縄文土器、弥生土器(中期)、石器、須恵器、土師器、陶器、土師器皿				
関連文献	『近畿自動車道名古屋関線(東名阪)埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳいにしへの神辺』2002 / 『一般国道1号関バイパス埋蔵文化財発掘調査概報Ⅰ』2004				
No.	66	遺跡名	亀山城跡(第11次)	台帳番号	210-200
所在地	亀山市本丸町			事業主体	亀山市
調査原因	亀山西小学校改築事業			費用負担	亀山市
調査機関	亀山市教育委員会事務局社会教育課			担当者	亀山 隆
調査期間	平成15年8月5日～平成16年3月12日			調査面積	4,100㎡
調査概要	<p>亀山城二之丸の北半分に相当する範囲が調査対象となった。調査により現時点で把握している成果は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 太鼓門跡・二之丸北埋門は明治初期に破却されたものと見られるが、その際には中世末期からの「城割」の作法に基づいている。 ② 「御殿」と認識される区画内は均質なものではなく、用途や使用者によって厳密な分化がなされている。 ③ 御殿内で生じた廃棄物は長期にわたり存続した敷地内の大型土坑に投棄されている。 ④ 19世紀初頭頃に御殿内で使用された陶磁器類は種別によって生産地が異なっている。特に圧倒的量を占める茶碗類は「信楽系」に属し、伊賀「弥助窯」の製品が多数含まれている。 ⑤ 茶碗類には使用された部屋を示すと見られる墨書が多く見られ、これらが御殿の調度品として備えられたことがうかがえる。 ⑥ 殿舎中核となる式台→広間→書院→上段の各部屋の配列にかかる礎石位置は、建替えに際しても一切動かさないという意思がある。 ⑦ 上項の殿舎柱間は六尺三寸が基本寸法である。 ⑧ 近世以前の段階で薬研堀による区画(曲輪)が複数存在し、この曲輪は方形を意識しているものとみられる。 ⑨ 近世初頭までに上項の空堀を拡幅して、曲輪の再構築が行われている。 ⑩ 低段の方形曲輪周囲の肩を切り崩しなだらかにすることで、この部位を「曲輪」から「谷」へ意識変換させている。 ⑪ 上項低段曲輪を17世紀中頃までに3.5m盛土して、最終的に「二之丸御殿」と認識される広範な平坦面を造成している。ただし、この区域が同一の高さに整地されるのは18世紀後半頃。この段階で殿舎も建築範囲が拡大する。 ⑫ 近世全般を通じて、御殿内の区画や建築位置は⑧の区画を踏襲したものととなっている。 				
主な遺構	二之丸御殿、太鼓門跡、二之丸北埋門、方形曲輪、空堀、土塁跡、礎石建物、半地下の室				
主な遺物	瓦(約10t:コビキA・Bともあり)、陶磁器類、紙燭、瓦製土管、「道八」小碗、「お庭焼き」窯道具				
関連文献	『亀山城本丸跡』1992 / 『亀山城跡』1996 / 『伊勢亀山城跡発掘調査報告書Ⅲ』1999 / 亀山市文化財調査速報No.22				
No.	67	遺跡名	小野口遺跡	台帳番号	384-753
所在地	安芸郡安濃町大字草生			事業主体	天応教本部
調査原因	天応教本部建設事業			費用負担	天応教本部
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中秀和
調査期間	平成15年8月27日～9月27日			調査面積	1,244㎡
調査概要	縄文時代早期の遺構群と小野口古墳を確認した。				
主な遺構	貯蔵穴、土坑、溝及び古墳時代後期(6世紀半ば～後半)の有階式横穴式石室をもつ円墳1基				
主な遺物	石鏃、須恵器(蓋杯・長頸瓶・提瓶)、土師器(壺・杯)、鉄鏃、刀				
関連文献					

No.	68	遺跡名	ゆふけ遺跡	台帳番号	384-753
所在地	安芸郡安濃町大字ゆふけ			事業主体	安濃町
調査原因	村主幼稚園園舎増築工事			費用負担	安濃町
調査機関	安濃町遺跡調査会			担当者	田中秀和
調査期間	平成16年3月17日～調査中			調査面積	260㎡
調査概要	鎌倉時代から室町時代の遺構を確認した。				
主な遺構	溝、土坑、柱穴				
主な遺物	切れ目石錘、縄文土器、山茶碗、土師器(皿・鍋)、砥石、石鍋				
関連文献					
No.	69	遺跡名	野田浦遺跡(第2次)	台帳番号	404-53
所在地	一志郡白山町川口字野田浦ほか			事業主体	
調査原因	学術調査			費用負担	三重大学
調査機関	三重大学考古学研究室			担当者	山中 章
調査期間	平成16年2月1日～3月21日			調査面積	400㎡
調査概要	「河口頼宮」推定地の基礎的資料を探すための調査である。(科学研究費基盤研究(B)(2)15320107による。)				
主な遺構	弥生:土坑2基 奈良:土坑9基				
主な遺物	弥生土器、土師器、刀子				
関連文献	『野田浦遺跡発掘調査報告書』白山町教育委員会1971 *野田浦遺跡は、2004年3月発行「白山町遺跡分布地図」において近接する大角遺跡・上野西遺跡も含めて関ノ宮遺跡(台帳番号404-54)としている。				
No.	70	遺跡名	柏木遺跡	台帳番号	405-286
所在地	三重県一志郡嬉野町川北			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
調査原因	一般国道23号中勢道路建設			費用負担	国土交通省
調査機関	嬉野町教育委員会埋蔵文化財センター			担当者	森川常厚 寺嶋昭洋 安藤智之
調査期間	平成15年5月20日～9月2日			調査面積	2,450㎡(上層1,920㎡+下層530㎡)
調査概要	調査区の大半が自然流路で、雲出川あるいは中村川の分流と思われる。この流路は縄文時代後期～晩期に堆積したと考えられる粘土層を切っており、それ以降の時期であることが分かる。この流路の大半は、古墳時代中期までに埋没しており、鎌倉時代には小川程度の流量であったようである。以上の様な調査を上下2層で行った。				
主な遺構	古墳時代中期:土坑2基 奈良時代:溝1条 弥生時代前期～鎌倉時代:流路				
主な遺物	弥生時代前期の壺・甕、小型丸底壺、山茶碗、陶器鉢				
関連文献					
No.	71	遺跡名	赤部遺跡	台帳番号	405-42
所在地	三重県一志郡嬉野町新屋庄			事業主体	国土交通省 中部地方整備局 三重河川国道事務所
調査原因	一般国道23号中勢道路建設			費用負担	国土交通省
調査機関	嬉野町教育委員会埋蔵文化財センター			担当者	森川常厚 寺嶋昭洋 安藤智之
調査期間	平成15年9月16日～平成16年3月12日			調査面積	2,100㎡×3層
調査概要	上下2層で水田状遺構を検出した。上層の水田は不整形、下層の水田は長方形を呈し、下層の方が規格性が高い。時期は弥生時代中期以降と思われるが、確証がない。さらに下層から足跡を多数検出した。				
主な遺構	弥生時代中期(?):水田、足跡				
主な遺物	弥生時代中期:壺 古墳時代:土師器高杯、須恵器杯、甕 平安時代:土師器皿(墨書土器を含む)				
関連文献					
No.	72	遺跡名	焼野遺跡	台帳番号	405-142
所在地	嬉野町島田字焼野			事業主体	嬉野町
調査原因	町道建設			費用負担	嬉野町
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和氣清章
調査期間	平成15年8月1日～平成16年3月25日			調査面積	4,500㎡
調査概要	焼野遺跡では奈良時代～平安時代と考えられる土塁状の遺構を検出した。周辺にわずかな基壇状の高まりを有する遺構も存在するが詳細は不明である。				
主な遺構	柱穴、基壇、土塁				
主な遺物	土師器、須恵器				
関連文献					

No.	73	遺跡名	御所垣内遺跡	台帳番号	405-327
所在地	嬉野町堀之内字御所垣内遺跡			事業主体	嬉野町
調査原因	学校建設			費用負担	嬉野町
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和氣清章
調査期間	平成15年6月1日～7月30日			調査面積	600㎡
調査概要	縄文時代後期の住居2棟、土坑などを確認した。				
主な遺構	竪穴住居2棟、土坑				
主な遺物	縄文土器(北白川式～元住吉式)				
関連文献					
No.	74	遺跡名	赤部遺跡2次調査	台帳番号	405-42
所在地	嬉野町新屋庄字赤部			事業主体	辻製油株式会社
調査原因	工場建設			費用負担	辻製油株式会社
調査機関	嬉野町教育委員会			担当者	和氣清章
調査期間	平成15年10月15日～30日			調査面積	200㎡
調査概要	古墳時代と考えられる水田跡を確認した。				
主な遺構	水田				
主な遺物	土師器				
関連文献					
No.	75	遺跡名	天白遺跡	台帳番号	405-344
所在地	嬉野町釜生田字天白			事業主体	嬉野町
調査原因	史跡整備			費用負担	嬉野町 ※
調査機関	嬉野町			担当者	和氣清章
調査期間	平成15年12月1日～平成16年3月25日			調査面積	400㎡
調査概要	配石範囲外と考えられる部分に400㎡の調査区を設定し調査を実施した。調査では径14m前後の周堤状の遺構を確認した。				
主な遺構	周堤状遺構				
主な遺物	縄文土器				
関連文献					
No.	76	遺跡名	多気北畠氏遺跡第23次(北畠氏館跡第11次)	台帳番号	406-26-20
所在地	美杉村上多気字馬場			事業主体	美杉村
調査原因	学術調査			費用負担	美杉村 ※
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	石淵誠人 小林俊之
調査期間	平成15年8月8日～平成16年3月31日			調査面積	350㎡
調査概要	北畠氏館跡の中心部分想定地での調査を行った。遺構としては15世紀代の礎石建物1棟とそれに先行する掘立柱建物1棟を確認した。礎石建物には雨落溝、通路状の石敷を伴う。確実に15世紀代以前にさかのぼる建物跡の確認は今回がはじめてである。そのほか常滑9型式の甕を埋め、中には15世紀後半の土師器皿が大量に廃棄された遺構も確認した。京都系土師器皿の割合が高いことが注目できる。 層位としては、大塚第1段階以後の整地層(後期整地層)とそれ以前の整地層(前期整地層)の2時期を再確認した。特に前期は細分できることが明らかになった。また掘立柱建物の時期次第では前期整地層の年代が古くなる可能性も出てきた。				
主な遺構	15世紀代の礎石建物1棟(2間×2間+縁側)、雨落溝、石敷、掘立柱建物(2間×3間以上)、土師器皿廃棄遺構(内部から南伊勢系と京都系の土師器皿が大量に出土。)				
主な遺物	土師器皿・小皿(南伊勢系・京都系)・鍋、陶器椀・皿(瀬戸美濃産)・甕(常滑産)、青磁椀、鉄製品など。				
関連文献	『多気遺跡群発掘調査報告Ⅰ～Ⅳ』三重県埋蔵文化財センター1993～1997年／『多気北畠氏遺跡発掘調査報告-北畠氏館跡1～6-』美杉村教育委員会1997～2003年／『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会2001年／『美杉村多気の歴史遺産調査』財団法人日本ナショナルトラスト1994年				
No.	77	遺跡名	多気北畠氏遺跡第25次(六田館跡第2次)	台帳番号	406-26-18
所在地	美杉村上多気字六田地内			事業主体	個人
調査原因	住宅建設			費用負担	美杉村 ※
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	石淵誠人 小林俊之
調査期間	平成16年1月13日～2月12日			調査面積	約70㎡
調査概要	六田館跡南辺の堀を確認した。堀の深さは約2.5m、推定幅約7～8mである。堀の埋土は層位的に下層室町末期と、上層江戸前期の2時期に分かれる。江戸期の埋土については周辺の基盤層に類似した同質の埋土が厚さ約1mあり、人為的に行われた可能性がある。				
主な遺構	堀跡				
主な遺物	土師器皿・小皿(南伊勢系)・鍋、陶器椀(瀬戸美濃産)、青磁椀、鉄滓など。				
関連文献	山中吉明・竹田憲治『多気北畠氏遺跡-北畠氏館跡2-』美杉村教育委員会1998／『伊勢北畠氏と中世都市多気』美杉村教育委員会2001／石淵誠人『多気北畠氏遺跡-六田館跡1-』美杉村教育委員会2003／『美杉村多気の歴史遺産調査』財団法人日本ナショナルトラスト1994				

No.	78	遺跡名	多気北畠氏遺跡第24次(小田地区第5次)	台帳番号	406-26-4
所在地	美杉村下多気字上村			事業主体	美杉村
調査原因	防火水槽設置			費用負担	美杉村
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	石淵誠人 小林俊之
調査期間	平成15年10月16日～27日			調査面積	70㎡
調査概要	比津峠の登降口を調査した。室町時代の流路跡1条を確認した。遺物は古墳時代の土器が主体を占める。調査地は旧谷地にあたるが、遺物の存在から周辺にも中世都市が広がっていたことを確認した。また調査地よりも西方に古墳時代の遺跡の存在を示唆した。				
主な遺構	流路1条				
主な遺物	土師器皿・小皿(南伊勢系)・鍋、S字状口縁台付甕				
関連文献	伊藤裕偉『多気遺跡群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1993／『伊勢北畠氏と中世都市・多気』美杉村教育委員会2001／山中吉明・森川常厚『多気北畠氏遺跡発掘調査報告—小田地区I—』美杉村教育委員会1998／小林俊之『多気北畠氏遺跡発掘調査概報—小田地区第2・3次 世古地区第1次 六田地区第1次—』美杉村教育委員会2003				
No.	79	遺跡名	伝塚原ト伝屋敷跡	台帳番号	406-20
所在地	美杉村下之川字ツツロ地内			事業主体	美杉村
調査原因	公園整備事業			費用負担	美杉村
調査機関	美杉村教育委員会			担当者	小林俊之
調査期間	平成16年1月6日～9日			調査面積	10㎡
調査概要	地元では塚原ト伝屋敷跡の伝承が残る。公園整備に伴う休憩所設置部分と石組井戸跡整備部分の調査を行った。井戸跡については、埋土の掘削を現地表より約1.2mまで行ったが、開発にあたっても保存されるため、それ以上の掘削はしていない。				
主な遺構	石組井戸1基(時期不明、原材料は30～50cmの川原石を使用している。)				
主な遺物	特になし				
関連文献	向田有郎『下之川の今昔』1982 / 『美杉村史』下巻 美杉村役場1981				
No.	80	遺跡名	小野江・甚目遺跡(第2次)	台帳番号	407-8
所在地	一志郡三雲町大字肥留字フケ			事業主体	個人
調査原因	共同住宅造成工事			費用負担	個人
調査機関	三雲町教育委員会			担当者	村田 匡
調査期間	平成16年2月4日～19日			調査面積	110㎡
調査概要	雲出川右岸の標高2mほどの微高地上に立地する。中世の遺構面を検出した。				
主な遺構	溝、土坑				
主な遺物	土師器(皿・鍋)、山茶碗				
関連文献	『一志郡史(下)』一志郡町村会1955 / 『三雲町史 第二巻 資料編1』三雲町史編集委員会1999 / 『小野江甚目遺跡・小野江甚目古墳群発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1999				
No.	81	遺跡名	宝塚2号墳	台帳番号	204-124(6B-2)
所在地	松阪市宝塚町			事業主体	松阪市教育委員会
調査原因	史跡整備			費用負担	松阪市 ※
調査機関	松阪市文化財センター			担当者	松葉和也 福田哲也
調査期間	平成15年7月4日～8月29日			調査面積	54㎡
調査概要	平成13年度～14年度までに未着手だった後円部北側の構造を調査した。その結果、ここでも3段の段築が認められた。埴輪片の出土はあるものの、埴輪列は検出できなかった。				
主な遺構	葺石、段築				
主な遺物	円筒埴輪				
関連文献	『宝塚古墳の源流を求めて—大和・河内と伊勢の埴輪—』平成13年度第2回松阪はにわシンポジウム 松阪市・松阪市教育委員会2002 / 『東海の埴輪と宝塚古墳』平成14年度第3回松阪はにわシンポジウム 松阪市・松阪市教育委員会2003				

No.	82	遺跡名	安養寺跡	台帳番号	442-523
所在地	多気郡明和町大字上野寺屋敷435			事業主体	済生会明和病院
調査原因	特別養護老人ホームの建設			費用負担	済生会明和病院
調査機関	明和町(斎宮跡課)			担当者	中野敦夫
調査期間	平成15年6月26日～11月23日			調査面積	4,880㎡
調査概要	<p>調査の結果、検出された遺構は奈良時代と1297(永仁5)年、安養寺が建立された鎌倉～室町時代のものに大別される。</p> <p>① 奈良時代の土師器焼成坑は、10基確認され、調査地から南500mには土師器焼成坑が225基検出された北野遺跡があり、当該地も北野遺跡から続く微高地であり、一連のものと考えられる。</p> <p>② 安養寺の寺域を区切る幅4～5m、深さ2mの東西方向の南側の堀を45m、南北方向の東側の堀を60m確認した。平成11年度の調査では西側の南北方向の堀を確認しており、寺域の東西幅は約170mであることがわかった。このことは、「安養寺の境内地は百間四方ありその周りに堀をめぐる大伽藍であった。」と伝えられている規模にほぼ一致するものである。</p> <p>③ 土坑から出土した青磁香炉(高さ18.5cm、口径26cm)は、元時代に中国の龍泉窯で焼かれたもので、このような大変貴重なものが出土することは、安養寺が、室町幕府の保護を受けていたことや北畠氏から特に重要な寺院として保護されていたことを裏付けるものである。</p>				
主な遺構	奈良時代:堅穴住居1、土師器焼成坑10、土坑2 室町・戦国時代:掘立柱建物5、井戸6、堀、橋脚跡、回廊跡、溝				
主な遺物	奈良時代:土師器甕、皿、杯、鍋、甑 室町・戦国時代:青磁香炉、青磁椀、土師器(鍋・皿、灯明皿)、すり鉢、おろし皿、硯、天目茶碗、石臼、五輪塔、瓦、墨書土器、風炉				
関連文献	『明星村考古誌』鈴木敏雄1837 / 『明和町史』明和町1972 / 『明和町史 史料編第1巻 自然・考古』2004				
No.	83	遺跡名	大湊中須新田経塚(203-338)隣接地	台帳番号	
所在地	伊勢市大湊町中須新田			事業主体	伊勢市
調査原因	公園造成			費用負担	伊勢市
調査機関	伊勢市教育委員会			担当者	古川 毅
調査期間	平成15年5月12日			調査面積	52㎡
調査概要	隣接する大湊中須新田経塚の埋納品の一部が過去に発掘されているが、その埋納品が本調査地に再度埋め戻されたとの地元住民の証言があったため、工事着手前に確認をし、その保護のための調査を行った。しかし、調査の結果、目的の遺物は検出されなかった。				
主な遺構	なし				
主な遺物	なし				
関連文献	なし				
No.	84	遺跡名	田丸城跡	台帳番号	461-214
所在地	三重県度会郡玉城町田丸字城郭			事業主体	玉城町
調査原因	田丸城址遊歩道整備に伴う発掘調査			費用負担	玉城町
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中世古憲司(町教育委員会) (県埋蔵文化財センター支援)
調査期間	平成15年6月2日～11月11日			調査面積	400㎡
調査概要	遊歩道整備事業における調査で、北の丸から本丸へとつづく本丸虎口を発掘した結果、下記の遺構を検出した。出土遺物は軒丸瓦片、土師器片があり、これらから今回検出された遺構は江戸時代以降のものであると考えられる。				
主な遺構	門1基(礎石)、石段2箇所等				
主な遺物	瓦片、すり鉢、土師器片等				
関連文献					
No.	85	遺跡名	田丸道遺跡	台帳番号	461-
所在地	三重県度会郡玉城町字妙法寺地内			事業主体	玉城町
調査原因	町道中楽朝久田線および松阪伊勢自転車道の建設			費用負担	玉城町
調査機関	玉城町教育委員会			担当者	中西秀貴(町教育委員会) (県埋蔵文化財センター支援)
調査期間	平成15年7月1日～9月30日			調査面積	865㎡
調査概要	町道中楽朝久田線および松阪伊勢自転車道の建設に伴う調査で、下記の溝等の遺構を検出した。遺構内からは土師器片を中心に遺物も出土している。				
主な遺構	溝10条、掘立柱建物2棟、井戸2基、中世墓2基等				
主な遺物	土師器片等				
関連文献					

No.	86	遺跡名	十王下遺跡(2次)	台帳番号	206-974
所在地	上野市長田字十王下2308他			事業主体	上野市
調査原因	小学校運動場拡張工事			費用負担	上野市
調査機関	上野市教育委員会			担当者	其道和也
調査期間	平成15年6月5日～9月18日			調査面積	約800㎡
調査概要	調査の結果、遺構検出面において掘立柱建物や柱列、堅穴状遺構が検出され、これらの遺構及びその周辺から多数の中世の遺物が出土したことから、当初の試掘調査結果からも想定されていたように、中世城館跡の外郭施設の一部の所在を明らかにすることができた。検出された掘立柱建物の内1棟は、平坦面で検出され柱根が残る柱穴が6箇所も見られることから、ある程度柱間については規則的に設計されているものである。出土遺物の中で割合残りが良く、多数出土している遺物としては土師器皿があり、口径10～12cm、器高1.5cm～2.3cmを測るものの占める割合が高い。中には、外面及び底部内面外周に、棒状工具による痕跡が施されているものもある。				
主な遺構	掘立柱建物、柱列、堅穴状遺構、土坑、溝、柱穴				
主な遺物	縄文土器、石器、須恵器、土師器、黒色土器、陶器、貿易陶磁器、瓦器、瓦質土器				
関連文献	其道和也『十王下遺跡発掘調査報告 百田氏館跡発掘調査報告』上野市教育委員会2003				
No.	87	遺跡名	国史跡上野城跡(10次)	台帳番号	206-358
所在地	上野市丸之内			事業主体	上野市
調査原因	保存整備のための学術調査			費用負担	上野市 ※
調査機関	上野市教育委員会			担当者	松田久司 福田典明 其道和也
調査期間	平成15年9月1日～平成16年3月19日			調査面積	約350㎡
調査概要	本年度は城代家老屋敷跡の南部(約70㎡)と北西部(約280㎡)において発掘調査を実施した。調査箇所は『御城内絵図』等によると、南部調査区には堀・溝・水溜等が、北西部調査区は米蔵・大納戸蔵等が描かれている。調査の結果、南部調査区では堀跡・水溜跡・石組・階段状遺構等が検出された。堀跡及び水溜跡は絵図にも描かれていることから、建物の南西角特定の鍵となると想定される。石組及び階段状遺構は絵図に描かれておらず、検出状況から絵図以前のプランである可能性が高い。北西部調査区では、米蔵・塩噌蔵等の倉庫建物の東側礎石列や大納戸蔵の可能性を有する建物跡(2棟)が検出された。また、西側に残る石垣や、北側の空堀にかけて旧状を確認する調査を実施した。				
主な遺構	南部調査区:堀跡、水溜跡、石組、階段状遺構、土坑 北西部調査区:礎石建物・土坑・ピット				
主な遺物	鬼瓦片[藤堂(保田)采女家家紋]・軒丸瓦・軒平瓦・丸瓦・堀瓦、磁器染付碗、土師器皿、陶器播鉢、陶器甕				
関連文献					
No.	88	遺跡名	赤川遺跡A(仮)	台帳番号	484-
所在地	阿山郡大山田村大字平田字赤川			事業主体	大山田村
調査原因	学校建築			費用負担	大山田村
調査機関	大山田村教育委員会			担当者	中嶋千年
調査期間	平成15年12月22日～平成16年3月26日			調査面積	620㎡
調査概要					
主な遺構	弥生:土坑 中世:大溝、掘立柱建物4棟、				
主な遺物	かわらけ、青磁、白磁、漆椀				
関連文献	『米野氏城』大山田村遺跡調査会				
No.	89	遺跡名	川上中縄手遺跡 I地区	台帳番号	501-251
所在地	名賀郡青山町川上字中縄手			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	水谷 豊
調査期間	平成15年6月6日～10月15日			調査面積	1,756㎡
調査概要	当遺跡は前深瀬川左岸の丘陵上、南斜面に位置する。調査区は宅地だったところで、5段の平坦地に造成されている。削平や攪乱を著しく受けていたが、削平を免れた平坦地東部では中世瓦器・土師器などを多量に含む落ち込みを、削平部分では近世以降の井戸・水溜遺構、ピットなどを確認した。				
主な遺構	中世:溝、落ち込みなど 近世:井戸、水溜遺構、ピットなど				
主な遺物	瓦器、土師器、陶磁器など				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』青山町教育委員会				
No.	90	遺跡名	川上中縄手遺跡 D地区	台帳番号	501-251
所在地	名賀郡青山町川上字中縄手			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	水谷 豊
調査期間	平成15年9月12日～12月26日			調査面積	1,743㎡
調査概要	前深瀬川左岸、標高約230mに位置し、調査前は水田であった。調査区のほぼ全面が旧流路と考えられ、1m以上の巨礫が散乱し、中世以前と考えられる遺構は確認できなかった。礫の少ないところでは、近世以降と思われる小区画の水田が確認できた。				
主な遺構	水田状遺構				
主な遺物	瓦器・土師器・陶磁器など				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』青山町教育委員会				

No.	91	遺跡名	川上中繩手遺跡 E地区	台帳番号	501-251
所在地	名賀郡青山町川上字中繩手			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏 水谷 豊
調査期間	平成15年12月9日～平成16年3月19日			調査面積	1,040㎡
調査概要	前深瀬川左岸の段丘上に位置する。西側谷筋からの流水により湿地となっており、数度の洪水や埋め立てにより遺構面は深いところでは現地表面より約1.4m下で確認できた。包含層である有機質混黒褐色シルトからは中世の瓦器・土師器などが多量に出土した。遺構は、石列で区画された棚田状の水田遺構、ピットや廃棄土坑などを検出した。				
主な遺構	中世：棚田状遺構、土坑、溝、ピットなど				
主な遺物	瓦器、土師器、青磁、陶器など				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』青山町教育委員会				
No.	92	遺跡名	川上中繩手遺跡 F地区	台帳番号	501-251
所在地	名賀郡青山町川上字中繩手			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏 水谷 豊
調査期間	平成15年12月9日～平成16年3月19日			調査面積	246㎡
調査概要	前深瀬川に近接した左岸の段丘上に位置する。中世と思われる掘立柱建物1棟と土坑・ピットを検出した。				
主な遺構	掘立柱建物1棟、土坑				
主な遺物	土師器、瓦器など				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』青山町教育委員会				
No.	93	遺跡名	川上宮垣内中世墓	台帳番号	501-未登録
所在地	名賀郡青山町川上字宮垣内			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏 水谷 豊
調査期間	平成15年12月9日～平成16年3月19日			調査面積	176㎡
調査概要	前深瀬川右岸の丘陵中腹に位置する。埋め立てて整地されたと思われる平坦地とそれに伴うと思われる石列を確認したが、中世墓と思われる明確な遺構は確認できていない。整地土より土師器鍋・羽釜・皿や瓦質羽釜・瓦器椀などの他、蔵骨器の可能性のある常滑産甕などが出土している。				
主な遺構	石列				
主な遺物	土師器(鍋・羽釜・皿)、瓦器椀、瓦質羽釜、常滑産甕など				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅳ』青山町教育委員会				
No.	94	遺跡名	川上中繩手遺跡B地区(3次)	台帳番号	501-251
所在地	名賀郡青山町川上字中繩手			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏
調査期間	平成15年6月5日～9月30日			調査面積	2,705㎡
調査概要	前深瀬川左岸に位置する。平成14年度の調査で確認された第3層目の調査である。				
主な遺構	ピット、土坑				
主な遺物	縄文土器(後期)、石鏃、剥片				
関連文献	『川上ダム建設事業地内埋蔵文化財発掘調査概報Ⅲ』青山町教育委員会2003				
No.	95	遺跡名	川上奥深瀬炭焼窯	台帳番号	501-未登録
所在地	名賀郡青山町川上字奥深瀬			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏
調査期間	平成15年11月13日			調査面積	50㎡
調査概要	前深瀬川右岸の尾根裾に位置する。調査前の状況は凹みがあり、天井部が崩落したものとみられた。調査の結果、窯体は確認できず、自然地形もしくは根の跡、地形の硬軟による凹みと考えられる。				
主な遺構	無し				
主な遺物	無し				
関連文献					

No.	96	遺跡名	老川岡部炭焼窯	台帳番号	501-未登録
所在地	名賀郡青山町老川字岡部			事業主体	独立行政法人水資源機構川上ダム建設所
調査原因	川上ダム建設事業の伴う県道松阪青山線新設工事			費用負担	独立行政法人水資源機構
調査機関	青山町教育委員会			担当者	境 宏
調査期間	平成15年11月12日～17日			調査面積	50㎡
調査概要	標高350mの丘陵斜面に位置する。天井部は崩落していたが、全長7m、幅5mの規模の窯体を検出した。奥壁に石を小口積みした煙突、底部に排水溝が設けられる。焚き口は長方形の石で上面、側面を補強する。また、窯の製作者・使用者がおられ製作工程が開けた。昭和30年代頃に使用された。				
主な遺構	窯体、焚き口、煙突				
主な遺物	無し				
関連文献					
No.	97	遺跡名	赤木城跡及び田平子刑場跡	台帳番号	563-3
所在地	南牟婁郡紀和町大字赤木			事業主体	紀和町
調査原因	保存整備に伴う調査			費用負担	紀和町 ※
調査機関	紀和町教育委員会			担当者	中尾勝也
調査期間	平成15年5月23日～平成16年1月8日			調査面積	160㎡
調査概要	赤木城の南郭3の調査である。郭の中央に幅4mの十字トレンチを設定した。調査区北端の南郭2から落ちる斜面裾部で、土留めと考えられる石積みと建物礎石を確認した。建物は後世の居住建築に伴って大部分が削平されており、規模は不明である。また、調査区中央部分では竈跡を確認した。竈跡は1.3m×0.9mの方形を呈し、西側に向けて焚き口が開く。壁は礫と粘土によって築かれていたと考えられる。				
主な遺構	礎石建物、石積み遺構、竈				
主な遺物	陶器插鉢、鉄釘				
関連文献					

県(三重県埋蔵文化財センター)担当分 範囲確認調査

※は、国・県費補助事業

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積㎡	調査概要	保存対応
(仮)西之貝戸遺跡(325-登録不要)	いなべ市藤原町大貝戸	西之貝戸川支流通常砂防事業	県土整備部	170	19.6	遺構なし、近現代瓦	施工可
(仮)上野中世館跡(321-登録不要)	いなべ市北勢町飯倉	(主)南濃北勢線道路改良事業	県土整備部	4,400	48	遺構・遺物なし	施工可
大井田城跡(323-103)隣接地	いなべ市大安町大井田	地域用水環境整備事業(大井田西部地区)	農林水産商工部	3,000	41	遺構・遺物なし	施工可
羽津広遺跡(202-336)及び隣接地	四日市市羽津	(主)四日市鈴鹿環状線緊急地方道路整備事業	県土整備部	4,000	130	遺構なし、磁器片・土師器片	施工可
(仮)久居城下町遺跡(213-登録不要)	久居市新町	相川小戸木橋線(街路)緊急地方道路整備事業	県土整備部	2,500	68	遺構なし、近現代瓦片	施工可
西野田遺跡(405-249)隣接地	一志郡嬉野町須賀	三重県科学技術振興センター畜産研究部排水施設工事	総合企画局三重県科学技術振興センター	9,556	160	遺構・遺物なし	施工可
(仮)矢下遺跡(406-登録不要)	一志郡嬉野町矢下	(主)嬉野美杉線道路改良事業	県土整備部	2,900	56	自然の落込みを検出した他は遺構・遺物ともになし。	施行可
前垣内遺跡(406-36)	一志郡美杉村字竹原	(主)久居美杉線地方特定道路整備工事	県土整備部	2,500	75	溝・土坑、陶器片・土師器片	慎重工事
多気北畠氏遺跡土井沖地区(406-26-30)	一志郡美杉村上多気字土井沖	雲出川水系フロヤ谷川国補通常砂防事業	県土整備部	700	20	遺構・遺物なし	施工可
川上上垣内遺跡(406-119)	一志郡美杉村川上中野字上垣内	雲出川水系宮ノ谷川国補通常砂防事業	県土整備部	350	16	遺構・遺物なし	施工可
多気北畠氏遺跡シャグチ地区(406-26-35)	一志郡美杉村上多気字シャグチ	一般国道422号県単道路改良工事(上多気地区)	県土整備部	200	10	遺構・遺物なし	施工可
西肥留遺跡(407-6)	一志郡三雲町肥留	(一)嬉野津線(雲出橋)地方特定道路整備事業	県土整備部	900	14	墳丘状の高まり、溝・ピット、陶器片・山茶碗・土師器皿・土師器鍋	要本調査(900㎡)
小津遺跡(407-21)	一志郡三雲町小津	一般国道23号中勢道路建設事業(中電ケーブル地下埋設)	国土交通省	58	150	遺構・遺物なし	施工可

県埋文センター担当分 範囲確認調査

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積㎡	調査概要	保存対応
松阪城跡(204-770)	松阪市殿町	松阪工業高校実習棟建設	県教育委員会	1,000	120	土坑・ピット・溝、瓦・近世陶磁器	設計変更
(仮)伊賀A遺跡(204-新発見)	松阪市伊賀町	経営体育成基盤事業(榑田上地区)	農林水産商工部	53,400	180	土師器甕、土師器椀	要本調査(2,000㎡)
(仮)伊賀A遺跡(204-登録不要)	松阪市伊賀町	経営体育成基盤事業(榑田上地区)	農林水産商工部	375	10	遺構・遺物なし	施工可
織糸古墳群(442-264～267)	多気郡明和町金剛坂字里中・上村字城堀	多気(T)斉明線県単道路改良工事	県土整備部	450	16	遺構・遺物なし	施工可
(仮)城堀B遺跡(442-登録不要)	多気郡明和町金剛坂字里中・上村字城堀	多気(T)斉明線県単道路改良工事	県土整備部	1,890	42	遺構・遺物なし	施工可
織糸古墳群(旧仮称:城堀古墳群)(422-新発見)	多気郡明和町金剛坂字里中	多気(T)斉明線緊急道路整備事業	県土整備部	1,200	12.75	古墳周溝、土師器片・土師器甕	要本調査(1,200㎡)
平林東遺跡(441-277)	多気郡多気町土羽字平林	広域農道整備事業(中南勢地区)	農林水産商工部	800	96	土坑・ピット・溝、土師器片	要本調査(800㎡)
校庭遺跡(441-4)隣接地	多気郡多気町相可	相可高校バス回転場舗装工事	県教育委員会	1,500	23	ピット、土師器・須恵器	慎重工事
佐田南浦遺跡(461-436)	度会郡玉城町佐田字南浦	玉城駅前線地方道路整備事業	県土整備部	350	16	遺構・遺物なし	施工可
岩出地区内遺跡群ケカノ辻地区(406-3021)	度会郡玉城町岩出	一般農道整備事業(玉城南部地区)	農林水産商工部	2,800	64	溝・ピット、青磁・鍋・土師器皿・陶器甕・山茶椀	要本調査(1,830㎡)
岩出地区内遺跡群ケカノ辻地区(406-3021)	度会郡玉城町岩出	一般農道整備事業(玉城南部地区)	農林水産商工部	980	32	遺構・遺物なし	施工可(980㎡)
岩出地区内遺跡群ケカノ辻地区(406-3021)	度会郡玉城町岩出	一般農道整備事業(玉城南部地区)	農林水産商工部	300	8	ピット、土師器鍋・皿、山茶椀	要本調査(300㎡)
脇出遺跡(470-未登録)	度会郡度会町脇出	(主)伊勢南島線地方特定道路整備工事他	県土整備部	1,600	14	土塁状高まり	要立会調査(400㎡)
高城神社東遺跡(462-59)	度会郡二見町今一色町	宮川流域下水道二見幹線(第2工区)管渠工事	県土整備部	49	49	遺構・遺物なし	施工可
大畑遺跡(211-30)	鳥羽市答志町	答志漁港関連道路整備事業	農林水産商工部	1,000	68	遺構なし、S字甕・土師器・須恵器	要本調査(600㎡)
蟹穴2号墳(211-218)	鳥羽市答志町	答志漁港関連道路整備事業	農林水産商工部	1,200	7	遺構・遺物なし	施工可
上野B遺跡(524-未登録)	志摩郡阿児町国府	安乗漁港関連道路整備事業	農林水産商工部	650	16	遺構・遺物なし	施工可
浄土遺跡(525-未登録)(※結果報告では浄土墓地遺跡として報告)	志摩郡磯部町の矢字浄土	(主)鳥羽磯部線緊急地方道路整備事業	県土整備部	4,320	180	遺構・遺物なし	施工可
浄土遺跡(525-未登録)(※結果報告では浄土墓地遺跡として報告)	志摩郡磯部町の矢字浄土	(主)鳥羽磯部線緊急地方道路鳥羽磯部線整備工事	県土整備部	1,400	20	丘陵頂上部に五輪塔や近世の墓石が多数残る。調査坑は墓石の広がらない部分に設定したが、遺構や遺物は確認できなかった。墓域は頂上部を中心に直径10m程度と考えられる。	要本調査(400㎡)
城山製塩遺跡(525-69)	志摩郡磯部町坂崎	中山間地域総合整備事業(志摩地区)	農林水産商工部	13	3	遺構なし、土師器・貝殻	施工可
宮ノ前遺跡(525-971)・宮ノ前館跡	上野市荒木	一級河川県単河川局部改良事業	県土整備部	500	24	遺構・遺物なし	施工可
丸山城跡(206-460)	上野市下神戸	伊賀水道用水供給事業(上野南ポンプ所建設)	三重県企業庁	6,783	130	遺構・遺物なし	施工可
後殿B遺跡(206-774)	上野市中友生	内径600耗送水管布設工事(北ルート第1工区)	三重県企業庁	60	4	遺構・遺物なし	慎重工事
福地遺跡(206-1068)	上野市中友生	内径600耗送水管布設工事(北ルート第1工区)	三重県企業庁	150	12	遺構なし、瓦器片・土師器片	慎重工事
太中遺跡(206-672)	上野市沖	内径400耗送水管布設工事(南ルート第2工区)	三重県企業庁	90	6	遺構なし、瓦器片・土師器片	慎重工事
城ノ越C遺跡(206-1140)	上野市比土	農免農道事業上野南部二期地区	農林水産商工部	1,400	42	遺構・遺物なし	施工可
風森神社跡(481-58)隣接地	阿山郡伊賀町柘植町	経営体育成基盤整備事業(倉部川沿岸地区)	農林水産商工部	4,800	110	ピット、遺物なし	施工可
(仮)山生田遺跡(483-登録不要)	阿山郡阿山町玉滝	土地改良総合整備事業(玉滝地区)	農林水産商工部	1,600	188	遺構・遺物なし	施工可
(仮)甲野古墳(484-登録不要)	阿山郡大山田村甲野	畿央伊賀地区農村総合整備事業	農林水産商工部	250	10	遺構・遺物なし	施工可
岡田向遺跡(501-191)	名賀郡青山町岡田字向	農村総合整備事業(畿央伊賀地区)	農林水産商工部	2,100	64	遺構なし、土師器・須恵器・瓦器	要本調査(270㎡)、施工可(2,500㎡)

市町村担当分 範囲確認調査

※は、国・県費補助事業

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市伝馬町53	寺院本堂	事業者		5	最下層で中世の遺物包含層を確認。山茶碗が出土。	開発による遺構の破壊はなく施工可。
七和庵寺跡(205-44)	桑名市大字森忠字笠坊谷854番1	個人住宅	事業者		218.27	開発予定地全域で遺構を確認。遺構は堅穴住居、土坑、溝等。遺物は土師器、須恵器等が出土。	本調査を実施
江場貝戸遺跡(205-131)	桑名市江場地内	江場安永線街路事業道路拡張工事	事業者	220	34	中世の遺物包含層を検出。遺物は山茶碗・土師器等が出土。	本調査を実施
真改遺跡隣接地	桑名市大字東野字真改72	集合住宅	桑名市教育委員会	203.84	20.43	遺構・遺物は検出されなかった。	施行可
真改遺跡隣接地	桑名市大字東野39	集合住宅	桑名市教育委員会	270.34	55.36	遺構・遺物は検出されなかった。	施行可
五反田貝戸遺跡(205-42)	桑名市五反田東貝戸北貝戸	宅地造成	事業者	12,000	95	中世と考えられる遺構を一部で検出した。遺物は瀬戸美濃陶器、土師器等。	一部施行可
新井水掛遺跡(205-38)	桑名市大字大仲新田字新井水掛540番34	共同住宅の新築	事業者	147.22	13.2	近世以降と考えられる溝1条を検出。遺物は常滑赤物甕、土師器鍋が出土。	施行可
桑名城下町遺跡(205-99)隣接地(仮称 東鍋谷遺跡)	桑名市大字本願寺字寺浦28番1、東鍋屋町51番4	宅地分譲	桑名市教育委員会	2,304	約25	近世の遺物包含層を検出。山茶碗、近世陶磁器、木製品等が出土。	住宅部分は盛土保存。道路部分は平成16年度発掘調査予定。
柳原遺跡(205-69)	桑名市大字赤尾字松ヶ坪地内	消防署建設	事業者	4,000	74.99	開発予定地の北東で中世の遺構と遺物包含層を検出した。遺物は山茶碗が出土。	開発による遺構の破壊はなく施工可。
西方台地A遺跡(205-94)(仮称 笠松遺跡)(205-未登録)	桑名市大字上野字笠松303	宅地分譲	桑名市教育委員会	2,122.63	60.8	近年の造成で旧地形の大半は失われているが、わずかに残った部分に古代の遺構と遺物包含層を検出。遺物は須恵器、土師器等が出土。	調整中
新井水掛遺跡(205-38)	桑名市大字大仲新田字新井水掛583外	宅地造成	事業者	4,226.77	239.4	古墳1基と溝1条を検出。古墳は近年の造成で大半が失われており、わずかに石室の床面と粘土部が部分的に残るのみ。遺物は須恵器杯身・杯蓋・高杯・提瓶等が出土。	平成16年度発掘調査予定。
七和1号窯(205-22)隣接地(仮称七和3号窯跡)(205-未登録)	桑名市大字嘉例川	学校建設	事業者		40.65	ほぼ完存の窯体と灰原を検出した。遺物は灰釉陶器が出土。	設計変更で対応。現況で保存
天王平遺跡(301-57)	桑名郡多度町小山字天王平2604-1	町道建設	多度町教育委員会	1,139.4	約40	遺構なし・遺物少量	施行可
八反縄遺跡(202-70)	四日市市大矢知町	共同住宅	事業者	1,013	32	遺構・遺物なし	施工可
富田城跡(202-322)	四日市市富田1丁目	校舎改築	事業者	1,000	34	遺構・遺物なし	施工可
西ヶ谷遺跡(202-126)	四日市市東坂部町	道路建設	事業者	387	52	堅穴住居1棟、土坑を検出。6世紀後半～7世紀中頃の須恵器・土師器が出土。	要本調査(387㎡)
西ヶ谷遺跡(202-126)	四日市市東坂部町	宅地造成	事業者	150	40	遺構・遺物なし	施工可
佐倉城跡(202-278)	四日市市桜町	宅地造成	四日市市教委	938	28	遺構・遺物なし	施工可
狐穴遺跡隣接地(包蔵地外)	鈴鹿市西条1丁目1218	集合住宅	鈴鹿市※	362	60	遺構あり・遺物なし	工法変更
包蔵地外	鈴鹿市北玉垣町字北小野田4105-1・4106-1南玉垣町6193・6194・6195	宅地開発	鈴鹿市※	1,000	33	遺構・遺物なし	施工可
乗鞍遺跡(207-991)	鈴鹿市上田町字北野732-2・737・714・692-2・707・706・701	土取り	事業者	17,000	200	遺構・遺物なし	施工可
稲生天雷山遺跡(207-893)	鈴鹿市稲生2丁目3509-1	個人住宅	鈴鹿市※	78	4	遺構・遺物なし	施工可
平田遺跡(207-386)	鈴鹿市平田本町1丁目191-1外	宅地開発	鈴鹿市※	2,000	100	遺構あり・遺物あり	要本調査
一反遺跡(207-533)	鈴鹿市上野町字一反通784-1	個人住宅	鈴鹿市※	84	11	遺構・遺物なし	施工可
石薬師東遺跡(207-727)	鈴鹿市石薬師町字山起571-131	個人住宅	鈴鹿市※	112	25	遺構・遺物なし	施工可
染野遺跡(207-593)	鈴鹿市中瀬古字染野536-5・537-6	個人住宅	鈴鹿市※	107	5	遺構・遺物なし	施工可
石薬師東遺跡(207-727)	鈴鹿市石薬師町字山起571-131	個人住宅	鈴鹿市※	4	2	浄化槽試掘、遺構・遺物なし	施工可
国分遺跡(207-838)	鈴鹿市国分町字南條1367・1367-3	個人住宅	鈴鹿市※	79	7	遺構あり・遺物なし	工法変更

市町村担当分 範囲確認調査

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
加佐登遺跡(207-7)	鈴鹿市加佐登2丁目2540-1	個人住宅兼店舗	鈴鹿市※	372	11	遺構あり・遺物あり	要本調査
林崎遺跡(207-1178)	鈴鹿市林崎2丁目822-3	個人住宅	鈴鹿市※	84	4	遺構・遺物なし	施工可
林崎遺跡(207-1178)	鈴鹿市林崎2丁目861-2	個人住宅	鈴鹿市※	96	7	遺構・遺物なし	施工可
包蔵地外	鈴鹿市寺家町字當郷1308外	福祉施設	鈴鹿市※	3,000	40	遺構・遺物なし	施工可
砂山遺跡(207-887)	鈴鹿市岸岡町3090-67・19	個人住宅	鈴鹿市※	245	6	遺構・遺物なし	施工可
稲生道遺跡(207-1320)	鈴鹿市末広町字稲生道1-17	個人住宅	鈴鹿市※	253	13	遺構・遺物なし	施工可
長者屋敷遺跡(207-306)	鈴鹿市広瀬町丸内2636-1・2637-1・2638-1の一部	宅地開発	鈴鹿市※	1,456	95	遺構・遺物なし	施工可
須賀遺跡(207-166)	鈴鹿市矢橋3丁目318・319・320	福祉施設	鈴鹿市※	4,500	320	遺構なし・遺物あり	慎重工事
石薬師西山遺跡(207-1002)	鈴鹿市石薬師町2355	個人住宅	鈴鹿市※	954	10	遺構・遺物なし	施工可
貝戸部遺跡(207-728)	鈴鹿市上野町字貝戸部945-3・946-2・948-3	個人住宅	鈴鹿市※	340	9	pit・溝検出、山茶椀	工法変更
池ノ下Ⅱ遺跡(207-1163)	鈴鹿市稲生町字池ノ下8246外	国道新設	国土交通省	18,000	1,300	遺構・遺物なし	施工可
浄土池遺跡(207-1188)	鈴鹿市稲生町字野田8237外	国道新設	国土交通省	2,800	330	遺構・遺物なし	施工可
野田遺跡(207-898)	鈴鹿市稲生町字野田8545外	国道新設	国土交通省	15,000	970	遺構・遺物なし	施工可
甲懸Ⅱ遺跡(207-1164)	鈴鹿市稲生町字甲懸9590外	国道新設	国土交通省	11,000	1,150	溝検出・埴輪	要本調査
天王遺跡(207-873)	鈴鹿市岸岡町字山田810-13	個人住宅	鈴鹿市※	64	5	遺構・遺物なし	施工可
宮上道遺跡(207-703)	鈴鹿市小田町581-1外	市道新設	鈴鹿市※	1,500	250	遺構あり・遺物あり	要本調査
天王屋敷遺跡(207-364)	鈴鹿市岸岡町字石塚1254-1	集合住宅	鈴鹿市※	2,695	84	遺構なし・遺物あり	慎重工事
岡田遺跡(207-385)	鈴鹿市弓削1丁目1-28	個人住宅	鈴鹿市※	408	4	遺構あり・遺物あり	工法変更
天王屋敷遺跡(207-364)	鈴鹿市岸岡町字石塚1251外	集合住宅	鈴鹿市※	2,695	65	遺構あり・遺物あり	協議中
石薬師東遺跡(207-727)	鈴鹿市石薬師町字願入坊284	個人住宅	鈴鹿市※	180	11	遺構・遺物なし	施工可
白子代官所跡(207-1283)	鈴鹿市白子1丁目6125-64	個人住宅	鈴鹿市※	258	7	遺構なし・遺物あり	慎重工事
白子代官所跡(207-1283)	鈴鹿市白子1丁目6125-18	個人住宅	鈴鹿市※	490	7	遺構・遺物なし	施工可
津賀東部遺跡(207-523)	鈴鹿市高塚町字神垣182-6	個人住宅	鈴鹿市※	170	10	遺構・遺物なし	施工可
平野遺跡(207-158)	鈴鹿市平野町字花林1168番1	個人住宅	鈴鹿市※	295	12	遺構あり・遺物あり	要本調査
須賀遺跡(207-166)	鈴鹿市須賀1丁目95番1	個人住宅	鈴鹿市※	313	7	遺構あり・遺物なし	工法変更
長者屋敷遺跡(207-306)	鈴鹿市広瀬町丸内2636-1・2637-1・2638-1	宅地開発	鈴鹿市※	2,915	95	遺構・遺物なし	施工可
平野遺跡(207-210)	鈴鹿市国府町2190-1	集合住宅	鈴鹿市※	210	12	遺構あり・遺物あり	要本調査
一ノ宮(包蔵地外)	鈴鹿市一ノ宮町字七九部縄1420・1421	集合住宅	鈴鹿市※	1,600	14	遺構・遺物なし	施工可
木下町A遺跡(210-206)	亀山市山下町	一般国道1号関バイパス建設事業	国土交通省中部地方整備局	900	32	遺構・遺物なし	施行可
関神社周辺遺跡(361-15)	鈴鹿郡関町木崎町宮ノ前	町道建設工事	関町	400	33.6	遺構・遺物なし	施工可
黒木遺跡(201-835)	津市大字藤方	診療所建設	個人	2,330	48	遺構・遺物なし	施工可
平木遺跡(201-599)	津市大字神戸・半田	ポンプ場建設	津市	4,754	128	遺構なし・遺物微量	施工可

市町村担当分 範囲確認調査

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
北浦B遺跡(384-589) 北浦C遺跡(384-590) 日野丘1号墳(384-666)	安芸郡安濃町大字東観音寺	町有地造成	安濃町	21,833	270	北浦B遺跡は、過去の開墾によって消滅。北浦C遺跡は、弥生時代末の堅穴住居・溝確認。日野丘1号墳は埋葬施設・周溝確認。	日野丘1号墳・北浦C遺跡は現状保存。北浦B遺跡は工事着手可。
久居藩武家屋敷跡(※手続き上は14年度)	久居市西鷹跡町180-1他	民間アパート建設	事業者(農協)		200	攪乱多し。近現代陶磁器片出土	施工可
久居藩武家屋敷跡	久居市西鷹跡町185-1他	民間アパート建設	事業者(農協)		250	攪乱多し。近現代陶磁器片、井戸跡?	施工可
久居藩武家屋敷跡	久居市西鷹跡町626-1他	民間アパート建設	事業者(農協)		80	最近まで建っていた建物基礎等で破壊。遺構、遺物なし。	施工可
野村古墳群	久居市野村町882-2他	民間宅地造成(三交)	事業者			伐採後に分布調査。着工未定のため未調査。	未定
北小膳田遺跡(213-193)	久居市小野辺町1334-10他	民間アパート建設	事業者		40	梨畑。遺構、遺物なし。	施工可
上野遺跡(213-132)	久居市戸木町5455-1他	市道建設	久居市		32	最近まで建っていた建物基礎等で破壊。遺構、遺物なし。	施工可
西ノ手遺跡(406-112)	一志郡美杉村奥津	住民センター建設		1,920		試掘坑2カ所。現地表より約2mの深さまで盛土を確認。	該当部分施工可
多気北島六氏遺跡〔上村地区〕(406-26-16)	一志郡美杉村下多気	災害復旧擁壁工事		約20		工事範囲内は、盛土内。室町後期南伊勢系土師器皿類出土。	該当部分施工可
小田遺跡(406-70)	一志郡美杉村八知	農業施設建設		約5,742		大洞山東斜面の尾根筋を削平し、谷部へ盛土している。遺構・遺物なし。	該当部分施工可
曾原遺跡(407-16)	一志郡三雲町大字曾原	宅地造成	事業者	2,887	40	遺構・遺物なし	施工可
南曾原遺跡(407-19)	一志郡三雲町大字曾原	宅地造成	事業者	2,982	40	遺構・遺物なし	施工可
上ノ庄宮ノ腰遺跡(407-26)	一志郡三雲町大字上ノ庄	店舗建設	事業者	2,172	9	遺構・遺物なし	施工可
市場庄遺跡(407-31)	一志郡三雲町大字市場庄	社会福祉施設用地開発	事業者	6,389	40	土坑を検出・土師器片	要保存協議
権現前遺跡(407-32)	一志郡三雲町大字市場庄	宅地造成	事業者	2,084	16	包蔵地内のみ対象遺構・遺物なし	施工可
久米南遺跡(407-36)	一志郡三雲町大字久米	道路改良工事	三雲町	720	40	遺構なし・土師器片	施工可
井之尻・長井遺跡(407-38)	一志郡三雲町大字久米	店舗建設	事業者	1,709	6	遺構なし・土師器片	施工可
(仮)八重田4号墳隣接地(登録不要)	松阪市日丘町	携帯電話アンテナ建設	近畿工業株式会社	16	2.5	遺構・遺物なし	施工可
(仮)松阪商業南遺跡(登録不要)	松阪市豊原町	市道建設	松阪市	6,600	52	遺構・遺物なし	施工可
立野東山遺跡(5A-29)	松阪市立野町	店舗増築	サークルKジャパン株式会社	143	2	遺構・遺物なし	施工可
琵琶垣内遺跡(13A-26)	松阪市豊原町	宅地造成	株式会社三重総合コンサルタント	4,619	44	一部で土坑、土師器	盛土後、慎重工事(15㎡)
堀町遺跡(15A-1)	松阪市朝田町	砂利採取	大西砂利株式会社	20,000	60	遺構・遺物なし	施工可
(仮)大宮田脇田遺跡(登録不要)	松阪市大宮田町	砂利採取	田中建材有限会社	10,121	32	遺構・遺物なし	施工可
琵琶垣内遺跡(13A-26)	松阪市豊原町	店舗建設	松阪農業協同組合	9,785	36	一部で流路遺構	盛土後、慎重工事1,200㎡
(仮)皆鍋北方遺跡(登録不要)	松阪市射和町	宅地造成	安田建築設計事務所	2,993	12	遺構・遺物なし	施工可
御堂山遺跡(15A-2)	松阪市西野々町	砂利採取	松阪興産株式会社	80,677	92	遺構・遺物なし	施工可
上出遺跡(6A-14)	松阪市駅部田町	宅地造成	株式会社岩井商事	4,741	18	遺構・遺物なし	施工可
宝塚3号墳(6B-3)	松阪市宝塚町	史跡周辺整備	国、県、市※		80	周溝、埴輪	現状保存
池の下遺跡(441-135)	多気郡多気町三足田池の下	農免道路	事業者	730	30	遺構・遺物なし	施工可
荘遺跡(462-10)	度会郡二見町大字西・荘	店舗用地の造成事業	(株)オークフ	7,834	112	調査坑12カ所で、土師器小片が出土したが、遺構は確認できなかった。	施工可
荘遺跡(462-10)	度会郡二見町大字西・荘	町道道路改良工事	二見町	1,800	18	調査坑2カ所で、遺構・遺物なし	施工可

市町村担当分 範囲確認調査

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	調査対象面積㎡	試掘面積	調査概要	保存対応
野中遺跡(462-5)	度会郡二見町大字西	住宅敷地造成事業	(株)小岸製材	1,979	123	調査坑2カ所で、堅穴住居らしき遺構を確認、炭化物、土師器小片が出土した。	盛土対応後、慎重工事
古屋敷遺跡(206-977)近接地	上野市小田町	市道改良工事	上野市	320	6	遺構なし。土師器細片少量出土。	施工可
上野城跡(206-358)	上野市丸之内	学習塾建設工事	重機は事業者提供	862	40	ピット検出。土師器片、陶器片、磁器片、瓦が少量出土。	施工可
北之谷1号墳(206-103)・北之谷2号墳(206-104)	上野市一之宮	土砂採取工事	重機及び作業員は事業者提供	135	10	遺構・遺物なし。	工事立会
古屋敷遺跡(206-977)	上野市小田町	共同住宅建設工事	重機は事業者提供	2,000	41	遺構なし。土師器片、陶器片出土。	施工可
国史跡上野城跡(206-358)	上野市丸之内	芭蕉翁記念館污水管改修工事	上野市	20	1	遺構なし。陶器片、瓦片少量出土。	施工可
(仮)赤川遺跡B(484-未登録)	大山田村平田	学校建築	大山田村	6,200	124	ピット、土師器、須恵器、弥生土器	盛土対応、一歩本調査
川上中繩手遺跡(501-251)	名賀郡青山町川上字中繩手	川上ダム建設	水資源機構川上ダム建設所	10,000	805	ピット、土坑、井戸、溝、瓦器、土師器	要本調査4地区計1,870㎡
草蒿寺跡(501-120)	名賀郡青山町種生字国見	整備事業	青山町教育委員会	385	25	溝、瓦器、土師器	盛土後、慎重工事

県(三重県埋蔵文化財センター)担当分 工事立会

※は、国・県費補助事業

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
斧研遺跡(202-459)	四日市市桜	土地改良総合整備事業(桜地区)	農林水産商工部	36	遺構・遺物なし
須賀遺跡(207-166)隣接地	鈴鹿市須賀町	土地改良総合整備事業(鈴鹿川沿岸地区)	農林水産商工部	175	遺構なし、弥生土器(中期)・土師器・須恵器(古墳時代)
替田遺跡(201-768)	津市南河路	平成15年度二級河川安濃川県単河川局部改良工事(その2)	県土整備部	400	遺構・遺物なし
高茶屋大垣内遺跡(201-264)	津市城山一丁目	合併処理施設跡地公園整備工事ほか	病院事業庁	28	古墳時代後期の土坑・ピット、土師器・須恵器
多気北畠氏遺跡小田地区(406-26-4)	一志郡美杉村下多気字小田	(一)八知多気一志線他2線道路橋梁維持修繕(側溝整備)工事	県土整備部	7	遺構・遺物なし
中林・中道遺跡(407-14)(※結果報告では小津遺跡として報告)	一志郡三雲町中林・中道	一般国道23号中勢道路建設事業(仮設道路設置工事)	国土交通省	8.1	遺構・遺物なし
中林・中道遺跡(407-14)(※結果報告では小津遺跡として報告)	一志郡三雲町中林・中道	一般国道23号中勢道路建設事業(中電ケーブル地下埋設)	国土交通省	2.56	遺構・遺物なし
中林・中道遺跡(407-14)(※結果報告では小津遺跡として報告)	一志郡三雲町中林・中道	一般国道23号中勢道路建設事業(中電ケーブル埋設工事)	国土交通省	16.8	遺構・遺物なし
脇出遺跡(470-未登録)	度会郡度会町脇出	平成15年度(主)伊勢南島線地方特定道路整備工事ほか	県土整備部	400	一之瀬の集落内に残る2基の土塁と範囲確認調査で遺物が出土した3地点を調査。土塁埋土からは湯飲み茶碗が出土し、近世後半以降の築造と考えられる。その他の地点ではすでに削平を受け、遺構は確認出来なかった。
上野城下町(206-1230)	上野市忍町	伊賀上野橋新都市線街路(補修)工事	県土整備部	40	遺構なし、陶磁器片
吉原氏砦跡(208-234)	名張市神屋字中山	自然災害防止事業(県単)	環境部	175	大部分が既に崩壊、遺物なし
岩島氏城跡(483-39)	阿山郡阿山町玉滝字城出	城出地区国補急傾斜地崩壊対策工事	県土整備部	40	土塁の断ち割りでも盛土確認、遺物なし
岩島氏城跡(483-39)	阿山郡阿山町玉滝字城出	城出地区国補急傾斜地崩壊対策工事(電柱移設)	県土整備部	0.89	時期不明の落ち込み・遺物なし
光明寺遺跡(561-13)	南牟婁郡御浜町	紀南高等学校公共下水道接続工事	県教育委員会	9	遺構・遺物なし

市町村担当分 工事立会

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市内堀52番、53番	共同住宅		256.75	遺構に影響なし
出口遺跡(205-82)	桑名市大字増田373、374-6	電力供給		1.12	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市内堀69-1	個人住宅		188	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市伊賀町23	個人住宅		36.93	遺構に影響なし
寺跡遺跡(205-130)隣接地	桑名市大字大福字寺跡404-4	個人住宅		65.62	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市元赤須賀125番、126番	個人住宅		65.63	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市風呂町22	個人住宅		12.42	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市新屋敷104、104-5	個人住宅		71.04	遺構に影響なし
古城遺跡(205-65)	桑名市大字友村字川岸1120番3	個人住宅		121.5	遺構に影響なし
江場貝戸遺跡(205-131)	桑名市大字大福字中野526-11	個人住宅		65.25	遺構に影響なし
出口遺跡(205-81)	桑名市大字増田字下惣作516-4	給油所の立替		891.17	既存建物による攪乱、遺構・遺物検出されず。
寺跡遺跡(205-130)	桑名市大字大福字寺跡432番1、432番2	共同住宅の新築		264.23	遺構に影響なし
能部貝戸遺跡(205-111,112)	桑名市東正和台8番12、大字能部字南貝戸1166番3	個人住宅		74	遺構に影響なし
桑名城下町遺跡(205-99)	桑名市新町4-9、4-10	個人住宅		92.55	遺構に影響なし
桑名城跡(205-100)	桑名市吉之丸	水門工事		270	遺構に影響なし
天王平遺跡(301-57)	桑名郡多度町小山字尾津平1725-1	個人住宅	多度町教育委員会	244.54	遺構・遺物なし
開進遺跡(202-533)	四日市市大治田二丁目	下水管布設	事業者	810	古式土師器高杯・山茶碗・中世陶器が出土。遺物包含層を確認。
古里遺跡(202-522)	四日市市日永五丁目	ガス管理設	事業者	10	遺構・遺物なし
下之宮南遺跡(202-513)	四日市市下之宮町	下水管布設	事業者	735	遺構・遺物なし
海星学園内遺跡(202-189)	四日市市追分一丁目	下水管布設	事業者	178	遺構・遺物なし
芝田遺跡(202-289)	四日市市芝田一丁目	ガス管理設	事業者	77	遺構・遺物なし
大膳寺跡(202-89)	四日市市南いかるが町	下水管布設	事業者	256	平安期の丸瓦2点、平瓦1点が出土。
間ノ田遺跡(202-68)	四日市市黄金町	下水管布設	事業者	400	遺構・遺物なし
雲天遺跡(202-71)	四日市市大矢知町	下水管布設	事業者	55	遺構・遺物なし
宮の西遺跡(202-155)	四日市市中川原二丁目	下水管布設	事業者	450	遺構・遺物なし
上畑遺跡(202-337)	四日市市尾平町	排水路改良工事	事業者	170	遺構・遺物なし
水沢中野遺跡(202-367)	四日市市水沢町	農業集落排水管布設	事業者	60	遺構・遺物なし
貝野遺跡(202-124)	四日市市坂部が丘三丁目	共同住宅	事業者	487	遺構・遺物なし
浄裕遺跡(202-154)	四日市市中川原三丁目	下水管布設	事業者	300	遺構・遺物なし
四方天遺跡(202-496)	四日市市大矢知町	下水管布設	事業者	30	遺構・遺物なし
貝野遺跡(202-124)	四日市市東坂部町	下水管布設	事業者	204	遺構・遺物なし
茂福城跡(202-253)	四日市市茂福町	側溝設置工事	事業者	50	遺構・遺物なし
北中寺遺跡(202-156)隣接地	四日市市石塚町	建物解体	事業者	330	遺構・遺物なし
北中寺遺跡(202-156)隣接地	四日市市石塚町	下水管布設	事業者	258	遺構・遺物なし
貝野遺跡(202-124)	四日市市東坂部町	共同住宅	事業者	210	遺構・遺物なし
茂福城跡(202-253)	四日市市茂福町	建物解体	事業者	240	遺構・遺物なし
東門田遺跡(202-499)	四日市市曾井町	道路改良工事	事業者	183	遺構・遺物なし
貝野遺跡(202-124)	四日市市西坂部町	下水管布設	事業者	32	遺構・遺物なし

市町村担当分 工事立会

遺跡名(遺跡番号)	所在地	調査原因	費用負担者	立会調査面積㎡	調査概要
吉祥寺遺跡(202-153)	四日市市久保田一丁目	下水管布設	事業者	80	遺構・遺物なし
八反縄遺跡(202-70)	四日市市大矢知町	下水管布設	事業者	220	遺構・遺物なし
八反田遺跡(202-181)隣接地	四日市市室山町	個人住宅	事業者	279	遺構・遺物なし
小生遺跡(202-282)	四日市市小生町	下水管布設	事業者	40	遺構・遺物なし
西川西遺跡(207-674)	鈴鹿市郡山町字土穴1345-1	個人住宅	個人	4	浄化槽立会い、遺構・遺物なし
三宅神社遺跡(207-951)	鈴鹿市国府町字中木曾3692-4外	車庫兼住宅	個人	156	遺構・遺物なし
岸岡山Ⅲ遺跡(207-889)	鈴鹿市岸岡町字見当山2606-2	鉄塔建設	事業者	180	遺構・遺物なし
西山遺跡(207-1002)	鈴鹿市石薬師町字切堤2446-5外	個人住宅	個人	1,310	遺構・遺物なし
須賀遺跡(207-166)	鈴鹿市須賀一丁目1687-2	個人住宅	個人	62	遺構・遺物なし
大久保城跡(207-603)	鈴鹿市大久保町 地内	下水道工事	鈴鹿市	50	遺構・遺物なし
飯野神社遺跡(207-1192)	鈴鹿市三日市二丁目190-1・198-1	神社	神社	241	遺構・遺物なし
平野城跡(207-376)	鈴鹿市平野町893外	橋梁拡幅	鈴鹿市	38	遺構・遺物なし
沢遺跡(207-554)	鈴鹿市西條町字澤443-1・440-1	店舗	事業者	3,000	遺構・遺物なし
奥北代遺跡(207-944)	鈴鹿市徳居町字奥北代48-4外3筆	木材置場	事業者	100	遺構・遺物なし
長者屋敷遺跡(207-306)	鈴鹿市広瀬町西野3341他	天地返し	個人	5,000	遺構・遺物なし
野村遺跡(210-59)	亀山市野村3丁目	美術工芸品防災施設設置事業※	事業者	40	遺構・遺物なし
殿山城跡(361-36)	鈴鹿郡関町加太向井	携帯電話基地局建設	NTTドコモ東海	16	遺物・遺構なし
安濃津遺跡群隣接地(登録不要)	津市柳山津興	個人住宅	個人	104	遺構・遺物なし
足入遺跡(201-820)	津市安東町	福祉施設	合資会社 三重福祉会	9	遺構・遺物なし
宮ノ裏A遺跡(384-574)	安芸郡安濃町大字内多	電柱建設	中部電力(株)	0.49	電柱建立穴の掘削時に写真撮影・図面作成
北興遺跡(384-627)	安芸郡安濃町大字野口	電柱建設	中部電力(株)	3.4	電柱建立穴の掘削時に写真撮影・図面作成
大塚西山A遺跡(384-526)	安芸郡安濃町大字大塚	電柱建設	中部電力(株)	0.5	電柱建立穴の掘削時に写真撮影・図面作成
中井・藤ヶ森遺跡(384-690)	安芸郡安濃町大字川西	集会所建設	岡南区	281.33	建物基礎掘削時に立会
多気北畠氏遺跡(馬場地区)(406-26-21)	美杉村上多気字馬場	排水路設置	美杉村	約12	平成12年度多気北畠氏遺跡(馬場地区第1次調査)隣接地で、幅60cm、深さ60cm長さ20mの側溝設置部分について工事立会を行った。盛土上で掘削は止まっており、遺物の出土も無かった。
多気北畠氏遺跡(馬場地区)(406-26-21)	美杉村上多気字馬場	電柱及び支柱設置	中部電力(株)	約2	電柱1箇所、支柱2箇所について、重機による直径0.6mの掘削後、断面観察を行う。現地表から深さ1.4mまではいずれも盛土であり、遺物の出土は無かった。
野垣外遺跡(203-118)	伊勢市上地町	アパート建設	個人	912.09	ピット、遺物少量
天神遺跡(524-120)	志摩郡阿児町国府	無線基地局建設	事業者	137.5	地下遺構に影響なし
仁木氏館跡(206-501)	上野市三田	庫裏改築工事	上野市	10	遺構・遺物なし
上野城下町遺跡(206-1230)	上野市忍町	共同住宅建築	上野市	15	遺構なし。土師器片、陶磁器片少量出土。
直井氏館跡(206-483) 清水北館跡(206-484) 婦毛遺跡(206-705)	上野市大野木	農業集落排水緊急整備事業	上野市	10	遺構・遺物なし
国史跡長楽山廃寺跡(206-140)近接地	上野市西明寺	個人住宅建築	上野市	2	遺構・遺物なし

V 行政資料

1 県内埋蔵文化財数

教育事務所	散布地	古墳	寺社跡	城館跡	古窯跡	その他	計
北勢	1,139	1,361	54	199	64	81	2,898
中勢	833	1,795	43	130	30	55	2,886
松阪	754	1,169	51	75	32	18	2,099
南伊・志摩	708	794	21	108	14	235	1,880
上野	533	1,505	266	599	28	181	3,112
尾鷲	43	4	0	19	1	7	74
熊野	99	0	1	64	0	2	166
合計	4,109	6,628	436	1,194	169	579	13,115

平成16年3月31日現在

2 県・市町村別の発掘調査件数及び面積の実績

(昭和45～63年分は『三重県埋蔵文化財センター年報4』参照)

平成 元 年度	三重県埋蔵文化財センター担当														市町村担当							合 計
	農林水産 商工部 関係	県土 整備部 関係	県関係 その他	国土 交通省 関係	道路公 団関係	国・公 団関係 その他	小計	斎宮歴史 博物館 担当	その他の 県組織 担当	土地改 良等	道路・ 河川等	ゴルフ 場	団地・ 個人住宅	工場 造成地	土取り 等	その他	小計					
																		件数	面積	件数	面積	
平成 2 年度	106	43,445	0	34,780	40,408	0	128	21	0	3	12	1	13	4	3	15	51	200				
平成 3 年度	61	43,765	15	7	10	0	95	11	0	9	9	2	20	10	5	13	68	174				
平成 4 年度	67	39,412	30	10	2	0	110	8	0	9	14	2	40	13	0	14	92	210				
平成 5 年度	50	29,210	29	15	0	0	94	9	0	6	13	4	38	17	3	28	109	212				
平成 6 年度	63	26,178	33	18	0	0	116	13	0	15	12	0	29	7	3	35	101	230				
平成 7 年度	75	32,256	45	21,384	0	0	59,505	4,760	0	10	14	0	31	3	8	37	103	253				
平成 8 年度	69	29,221	47	17	0	2	148	5	0	9	15	0	29	6	4	43	106	259				
平成 9 年度	67	15,293	70	37,783	0	2,000	89,622	3,425	0	18,191	10,717	0	5,252	2,947	1,001	18,457	56,565	149,612				
平成 10 年度	37	21,709	81	18,601	2,637	3,345	86,868	4,155	0	34,484	34,810	0	11,157	124	322	13,396	94,293	185,316				
平成 11 年度	30	19,088	72	9	13	21	150	6	1	7	27	0	114	4	5	99	256	413				
平成 12 年度	31	16,158	62	4	16	23	142	8	0	17	27	0	106	7	3	53	213	363				
平成 13 年度	21	11,775	62	10	17	11	121	11	0	10	33	0	98	6	4	120	271	403				
平成 14 年度	24	12,404	58	16,845	40,871	2,168	85,809	2,115	0	12,104	13,479	0	62,810	4,153	3,320	35,215	131,081	219,005				
平成 15 年度	26	13,836	39	4	2	2	80	23	0	3	62	0	89	5	7	41	207	310				
平成 元 年度	23	10,554.89	36	6	0	0	74	21	0	3	37	0	91	12	5	72	220	315				
平成 2 年度	23	17,701.35	667	9,527.46	0	0	38,450.70	2,586.30	0	5,070	44,399.6	0	10,323.07	4,789.17	394	27,149.68	92,125.52	133,162.52				
平成 3 年度	26	12,404	31,259.1	11,730	6,331.5	760	63,013.6	3,349.5	0	8,837	13,409.4	0	18,062.5	391	361	21,606.4	62,667.3	129,030.4				
平成 4 年度	26	13,836	20,568	1,412	9,644	534	46,064	2,007	0	7,040	48,017.2	0	13,859.5	292	407	14,431	84,046.7	132,117.7				

平成15年度

三重県埋蔵文化財年報

2004. 12

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター

印刷 (有)第一プリント社